

中井町地域公共交通総合連携計画

平成 25 年 3 月

中 井 町

【 目 次 】

	頁
序 はじめに	1
序-1 計画策定の背景と目的	1
序-2 計画策定フロー	2
1 中井町内の公共交通に関する現況整理	3
1-1 地域特性	3
1-2 既存公共交通の現状	5
1-3 上位計画における公共交通の位置付けの整理	7
2 地域公共交通アンケート調査の実施	9
2-1 町民アンケート調査	9
2-2 企業アンケート調査	15
3 生活交通を取り巻く課題の整理	17
4 連携計画の基本的な方針と目標	20
4-1 中井町の公共交通を総合的かつ一体的に推進することの基本的方針	20
4-2 中井町地域公共交通総合連携計画の区域	25
4-3 中井町地域公共交通総合連携計画の期間	25
4-4 中井町地域公共交通総合連携計画の目標	25
5 新たな公共交通システム運行計画の策定	26
5-1 新たな公共交通システムの需要想定	26
5-2 新たな公共交通システムの運行システム・サービス水準の検討	27
6 中井町オンデマンドバス実証調査の実施	40
6-1 利用実績	40
6-2 利用登録者アンケート調査	47
6-3 実証運行に対する評価・検証	55
7 目標を達成するために行う事業及び実施主体	56
7-1 事業メニュー	56
7-2 実施すべき事業	57
7-3 事業一覧	65
7-4 P D C A サイクルに基づく事業評価の実施	66
資料編 1 : 中井町地域公共交通総合連携計画の策定経緯	67
資料編 2 : 中井町地域公共交通会議設置規約・中井町地域公共交通会議財務規約及び 中井町地域公共交通会議事務局規約	68
資料編 3 : 町民意見（パブリックコメント）の概要	75
資料編 4 : 中井町オンデマンドバスの周知・P R	76
資料編 5 : 利用登録者アンケート調査の自由意見	84

序 はじめに

序－１ 計画策定の背景と目的

中井町には鉄道駅がなく、最寄り駅はＪＲ東海道線二宮駅または小田急線秦野駅となり、最寄り駅までは路線バスが運行されているが、中村上地区や中村南地区、井ノ口遠藤原地区など広範囲にわたり公共交通空白地域が点在している。また、平成 24 年度より中井町社会福祉協議会が主体となって、「福祉有償運送サービス事業」を開始している。

中井町の人口は、平成 7 年以降微減傾向で、「中井町都市マスタープラン（平成 21 年 3 月改訂）」の中で定住環境を高める公共交通の充実により人口増加（平成 40 年：12,000 人）を目指している。高齢化率は平成 25 年 3 月 1 日現在、26.36%と増加傾向で本格的な高齢社会の到来により、マイカーでの移動が困難になる人や運転免許証を返納する人の増加が見込まれる。また、町全体が丘陵地のため坂道が多く、徒歩や自転車での移動に適しておらず、高齢者や児童・生徒など自動車を運転できない人の移動に支障を来している。

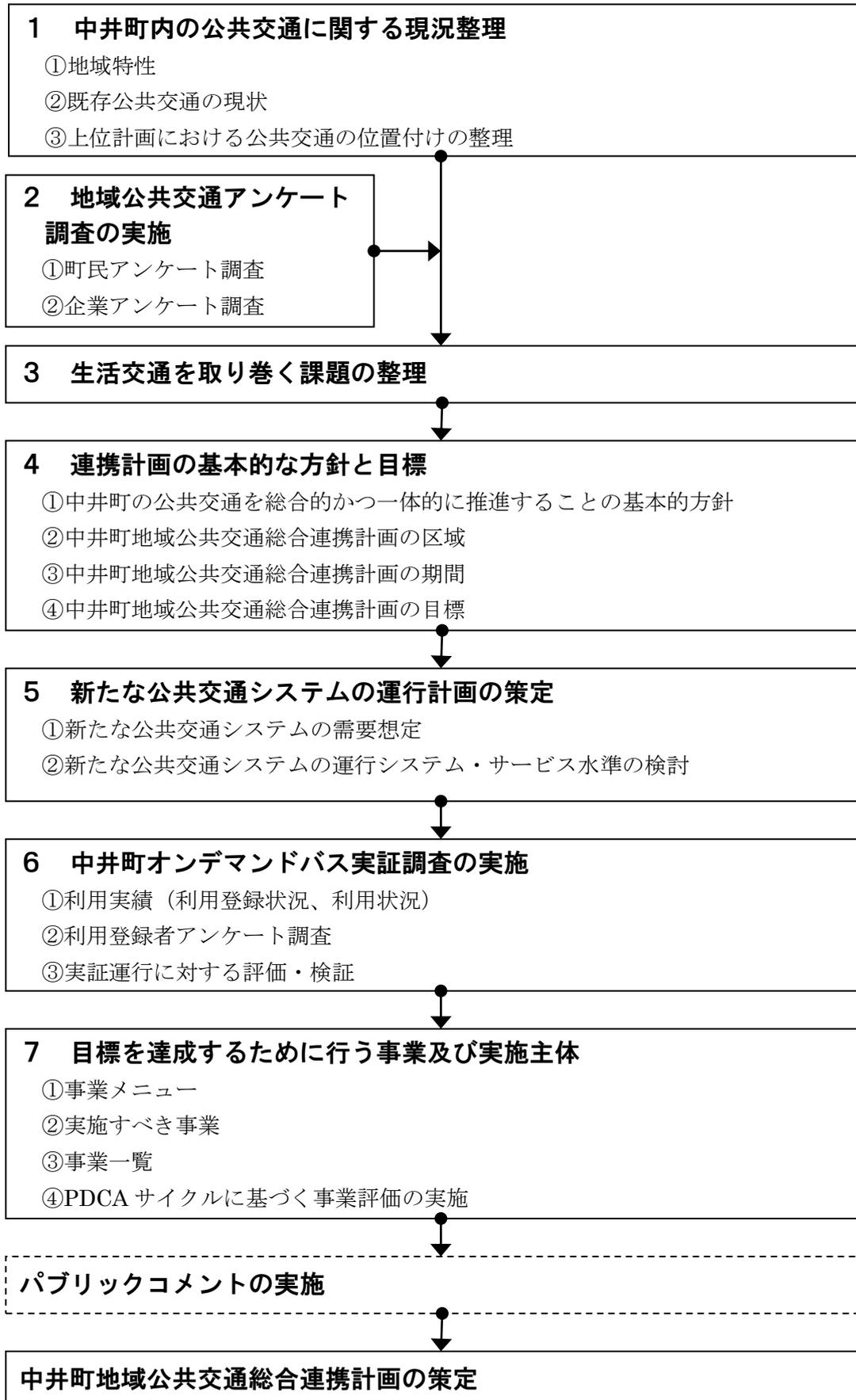
町唯一の公共交通手段として民間路線バスが担っているが、一部の路線では赤字路線となっており町が運行費補助を行っている。高齢者等の移動支援や外出先へのアクセス改善など、日常生活に必要な最低限の交通手段の確保及び住民の移動ニーズに合った交通手段を提供するため、近隣市町との連携強化といった課題解決が求められている。

公共交通の充実には、将来に向けた中井町全体の公共交通計画が必要であり、通勤・通学者、高齢者などの利用者や交通空白・不便地区など、地域のきめ細やかなニーズを把握し、既存の公共交通機関と連携して利便性の高い公共交通体系を構築することが必要である。

このため、だれもが移動しやすい持続可能な交通体系をつくるため、平成 19 年 10 月に施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、中井町における公共交通を総合的かつ一体的に推進することの基本的方針や目標、実施すべき事業などを明らかにし、将来に向けた公共交通計画「中井町地域公共交通総合連携計画」を策定する。

序-2 計画策定フロー

■計画策定フロー



1 中井町内の公共交通に関する現況整理

1-1 地域特性

(1) 人口動向 →定住環境を高める公共交通の充実により人口増加を目標

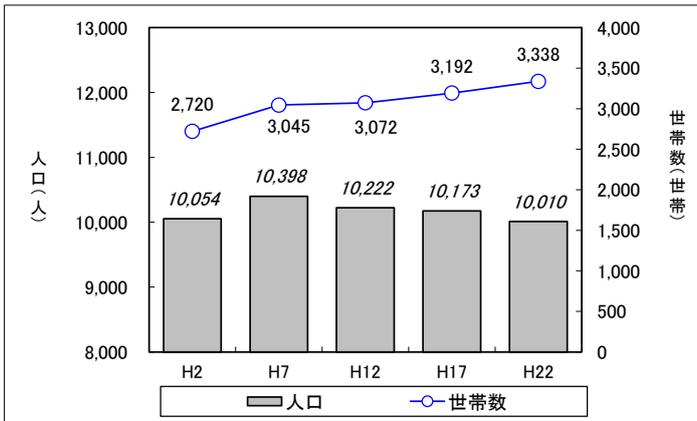
中井町の総人口は、昭和40年以降増加してきたが、平成7年以降微減傾向で、平成22年10月1日現在、10,010人となっているが、「中井町都市マスタープラン（平成21年3月改訂）」の中で目標とする人口フレームは積極的な定住人口の誘導により、12,000人（平成40年）を目指している。世帯数は、人口減少に反して少しずつ増加傾向で平成2年から平成22年にかけて20年間で22.7%増加し3,338世帯（平成22年）となっている。

(2) 年齢3区分別人口動向 →高齢化の進展

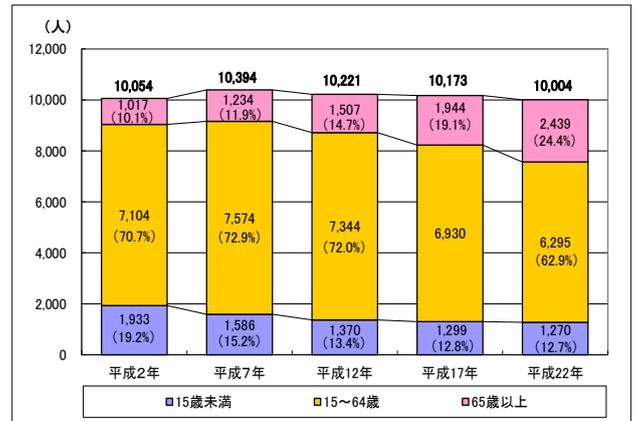
年齢3区分別人口は、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向で、高齢人口（65歳以上）は20年間で2.4倍に増加し、総人口に占める構成比も24.4%と増加傾向となっている。

本格的な高齢社会の到来により、マイカーでの移動が困難になる人や運転免許証を返納する人の増加が見込まれている。

■人口及び世帯数の推移



■年齢3区分別人口構成数（率）



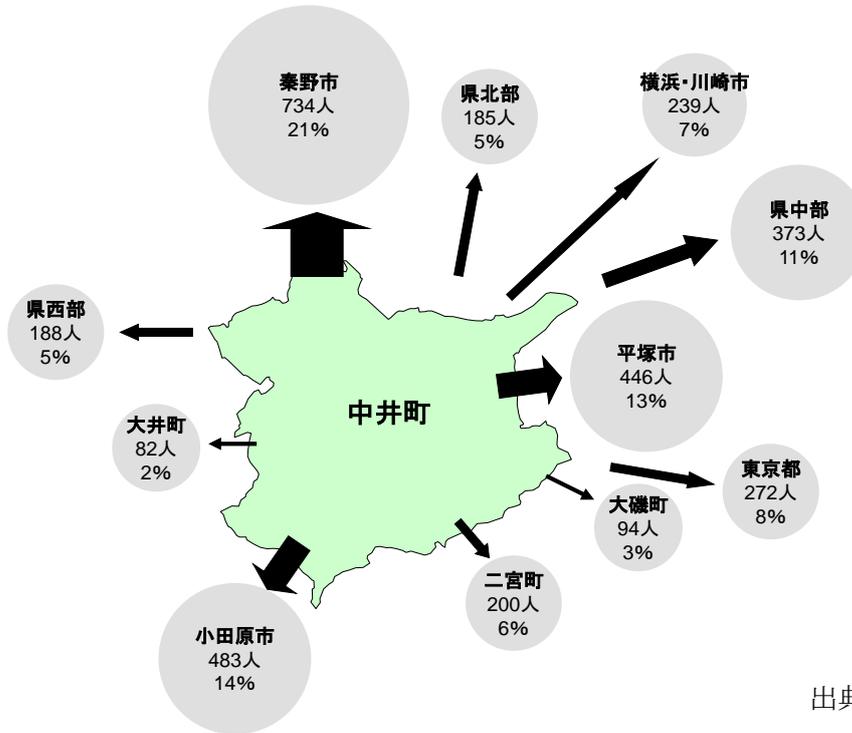
出典：国勢調査 各年10月1日現在 ※総数には「不群」を含むため、年齢3区分別人口を合計しても総数に一致しない。年齢3区分別人口の割合は、分母から不群を除いて算出している。



(3) 通勤・通学動向

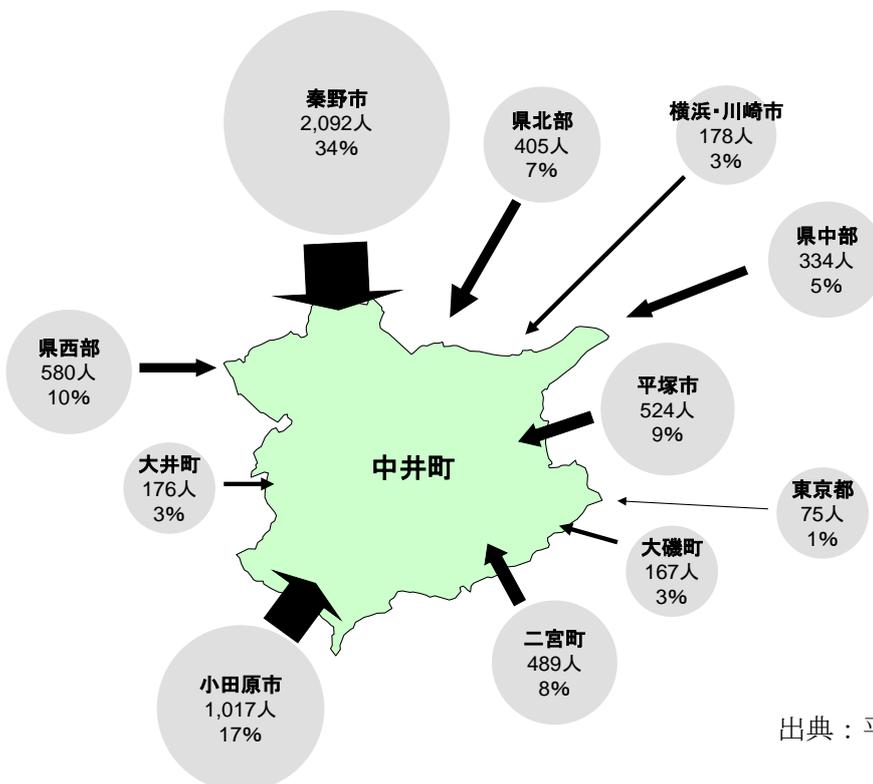
通勤・通学による人口流動は、「グリーンテクなかい」など面的整備に伴い、企業立地等による通勤者が増えたため町外への流出人口より流入人口が大きく上回っている。町外から町内に通勤・通学している人が多いのは、秦野市（34%）、小田原市（17%）であり、町内から町外へ通勤・通学している人も秦野市（21%）、小田原市（14%）が多くなっている。

■通勤・通学流出状況（平成22年）



出典：平成22年国勢調査

■通勤・通学流入状況（平成22年）



出典：平成22年国勢調査

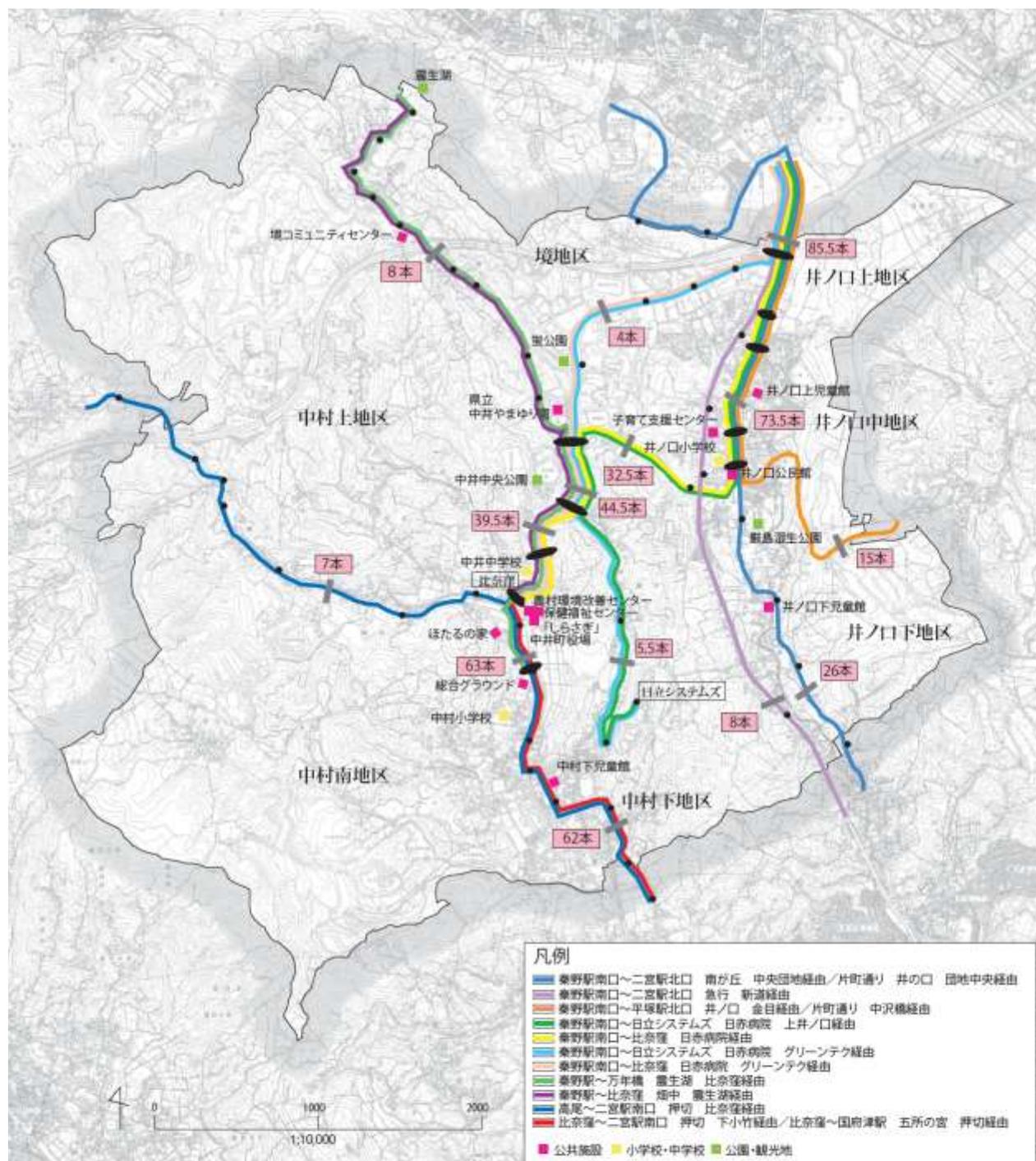
1-2 既存公共交通の現状

(1) 民間バス路線の運行

町内には鉄道駅がなく、最寄りの鉄道駅はJR東海道線二宮駅と小田急線秦野駅となっている。民間バス路線は、町の中心部である比奈窪バスターミナルと秦野駅・二宮駅や、秦野駅と平塚駅・二宮駅を連絡するように運行されている。

秦野赤十字病院と中井町を連絡している路線は36.5本/日運行されているが、中村上地区、中村下地区、井ノ口下地区から直結する路線は通っていない。

■民間バス路線図



1-3 上位計画における公共交通の位置付けの整理

上位計画である「第五次中井町総合計画後期基本計画（平成23年3月策定）」及び「中井町都市マスタープラン（平成21年3月改訂）」での公共交通の位置付けを整理する。

(1) 第五次中井町総合計画後期基本計画（平成23年3月策定）

【計画期間】 基本構想：平成18～27年度、後期基本計画：平成23～27年度

【将来像】 『水と緑、人がきらめく 住んでみたいまち』

【基本目標】

- ①環境と共生するまち
- ②安心して暮らせるまち
- ③豊かな人間性を育むまち
- ④にぎわいと活力のあるまち
- ⑤町民一人ひとりが力を発揮するまち

【施策方針】：定住環境を高める公共交通の充実

町民生活を支える公共交通の維持確保に努めます。また、定住環境を高める新たな公共交通の導入を目指します。

- ①**バス交通の充実**：地域住民の交通手段を確保するため、諸施策によりバス路線の維持を図るとともに、バス利用者拡大のため、路線の見直しやサービス向上をバス事業者に働きかけます。
- ②**公共交通サービスの拡充**：町民生活の利便性の向上を図り、定住のための環境を整備するため、福祉有償運送やデマンドタクシーの導入等、公共交通サービスの充実を図ります。また、町内循環バス等の検討や隣接市町との連携・協力による広域的な公共交通対策に取り組めます。

(2) 中井町都市マスタープラン（平成21年3月改訂）

【計画の目標年次と人口】 目標年次：平成40年（2028年）、計画人口：12,000人

【将来都市像】 『住む人が誇りを持てる 潤いと活力のあるまち』

【都市づくりの目標】

- 目標1：恵まれた自然を活かした潤いのあるまちづくり【共生】
- 目標2：快適性、利便性のあるまちづくり【快適・利便】
- 目標3：誰もが安心して、一体感をもって暮らせるまちづくり【安心・協働】
- 目標4：魅力と活気のあるまちづくり【活力】

【公共交通の整備方針】

①**路線バスの維持及び利便性の向上**

路線バスの維持と利便性の向上に向け、バス事業者と協力しながら、路線、運行本数の見直しについて検討を進めます。また、新たな運行形態としてデマンド形式によるバスの運行や、企業等と連携した企業バスの有効利用方策等、新たなバスの運行形態についても調査、研究を進めます。バス停については、ユニバーサルデザインに配慮した改善や駐輪・駐車場の設置等、機能の向上を図ります。

②**新たな公共交通システムの導入の検討**

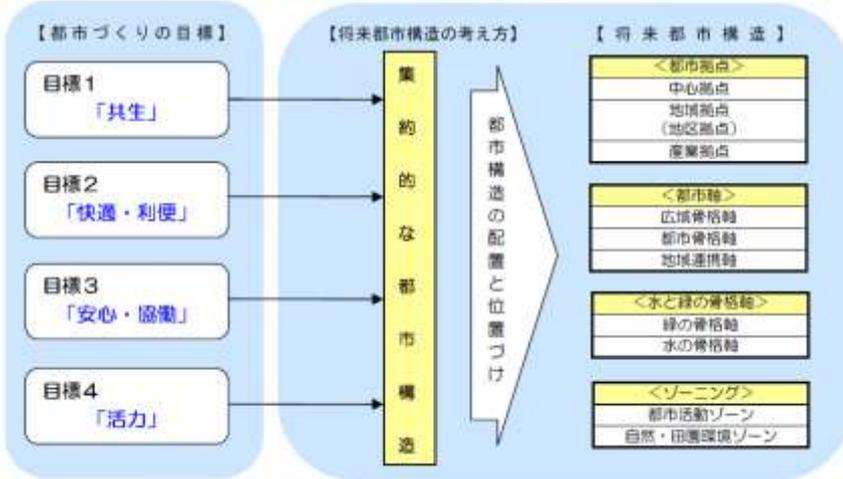
定住人口の誘導をはじめとし、都市づくりの目標を実現するための新規都市機能として、LRT（利便性を高めた路面電車システム）等、新たな公共交通システムの導入について調査・研究を周辺市町と協力し進めます。

【将来都市構造の展開】

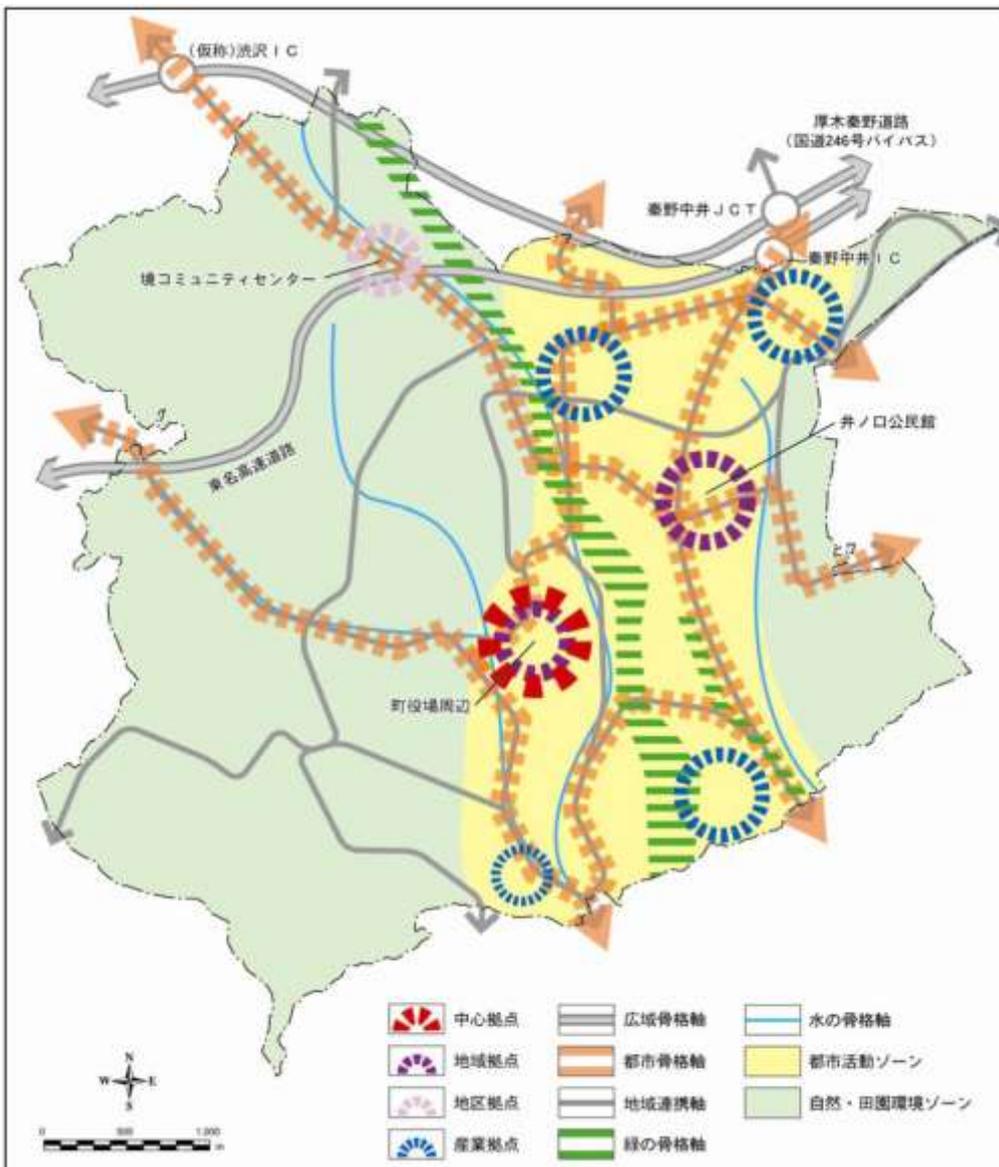
【将来都市像】

住む人が誇りを持てる 潤いと活力あるまち

将来都市像の実現に向けた展開



■将来都市構造図



2 地域公共交通アンケート調査の実施

2-1 町民アンケート調査

中井町民を対象に日常的な交通行動、公共交通の利用状況や改善ニーズ、新しい交通システムの利用意向などを把握することを目的にアンケート調査を行った。

■町民アンケート調査概要

調査方法	調査対象者：住民基本台帳から無作為抽出 15歳以上の町民 1,000人対象 調査方法：郵送配布、郵送回収 調査期間：平成23年9月中旬～9月下旬
回収状況	配布数：1,000票、回収数：539票（回収率：53.9%） ※中村上地区69票、中村南地区59票、中村下地区104票、境地区44票、井ノ口上地区77票、井ノ口中地区118票、井ノ口下地区：66票、地区名無回答2票
調査項目	<input type="checkbox"/> 回答者の属性（住まいの地区、性別、年齢、職業、運転免許証の有無） <input type="checkbox"/> 生活環境（所有または専用で使える乗り物、世帯の自動車保有台数、家族で自動車を運転できる人の有無） <input type="checkbox"/> 外出行動（主な外出目的、外出頻度、外出先・所在地、交通手段、鉄道利用、外出・帰宅時間、交通行動の不便さの程度） <input type="checkbox"/> 路線バスの利用状況及び満足度（自宅から最寄のバス停までの距離、利用しやすくするための施策、利用頻度、利用目的、バスを利用する理由、運行サービスに対する満足度、今よりも便利になった場合の利用意向） <input type="checkbox"/> 新しい交通システムの利用意向（デマンド型交通を導入する場合の運行エリアと利用意向、行きたい場所と利用目的） <input type="checkbox"/> 自由意見

■地区区分図

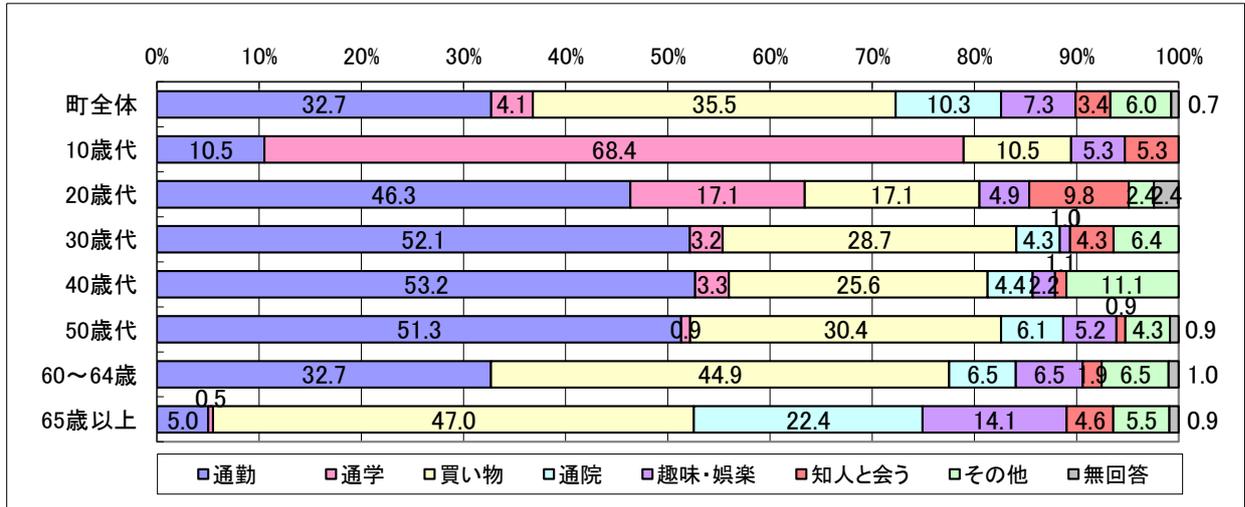


(1) 外出行動

① 主な外出目的

外出目的は、「買い物」が 35.5%と最も多く、次いで「通勤」が 32.7%、「通院」が 10.3%の順となっている。外出目的は、年齢別で見ると 10 歳代は「通学」、20～50 歳代は「通勤」、60 歳以上は「買い物」が多くなっている。

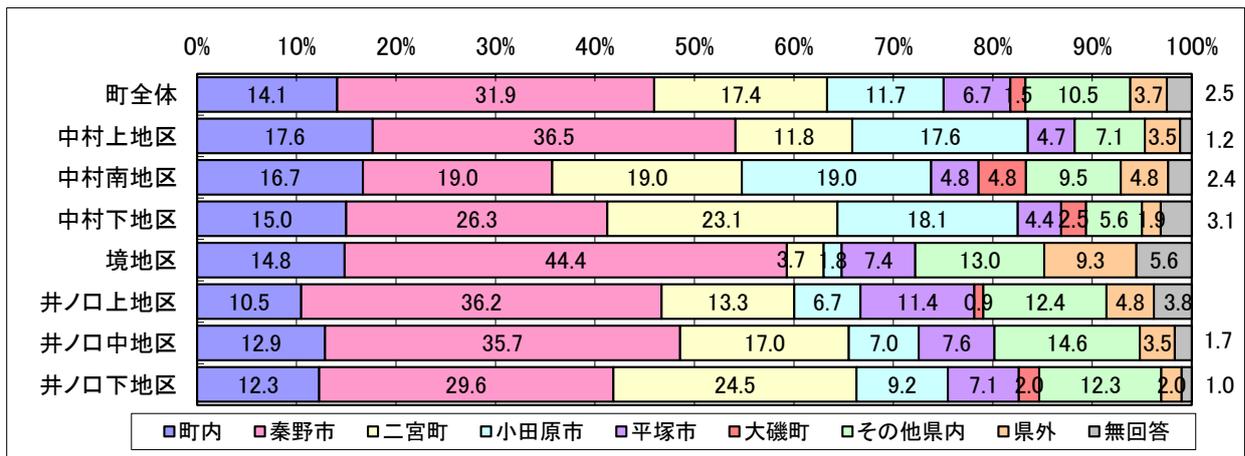
■ 年齢×外出目的



② 主な外出先と施設の所在地

町内には、スーパーや病院が少ないため、主な外出先の施設所在地については、「秦野市」が 31.9%と最も多く、次いで「二宮町」17.4%、「町内」14.1%となっている。地区別にみると、中村地区では「小田原市」、井ノ口地区では「平塚市」への外出が他の地区に比べ多くなっている。

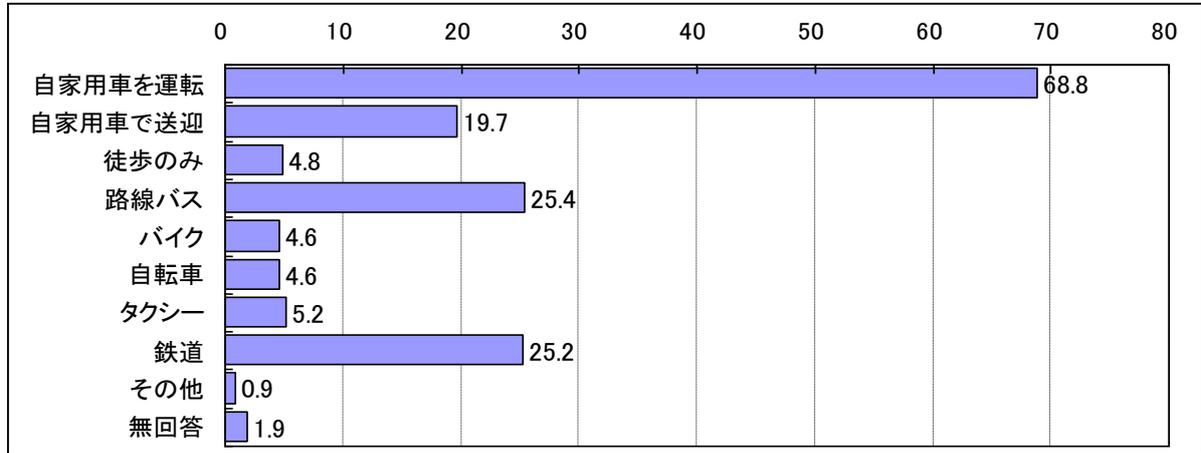
■ 地区×外出先の施設所在地



③利用交通手段

外出時の利用交通手段は、「自家用車を運転」が68.8%と最も多く、次いで「路線バス」25.4%、「鉄道」25.2%となっている。地区別にみると、井ノ口中地区と井ノ口下地区で「路線バス」の利用が多い。年齢別では10歳代及び65歳以上の「路線バス」の割合が高くなっている。

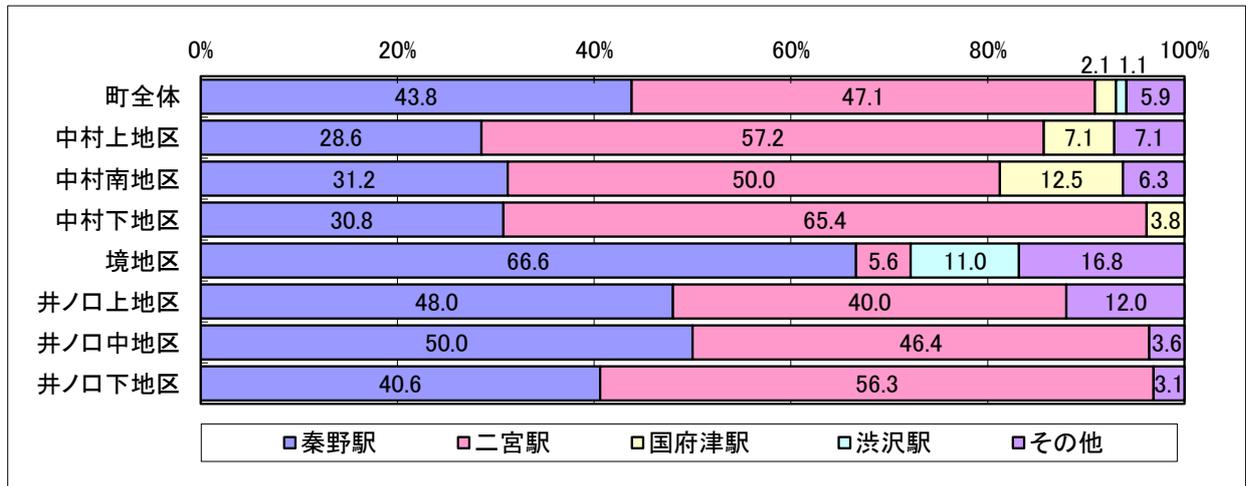
■外出する際の利用交通手段



④鉄道利用

鉄道の利用駅については、「二宮駅」が47.1%と最も多く、次いで「秦野駅」43.8%となっている。境地区においては秦野市に隣接していることから秦野駅に次いで、「渋沢駅」が11.0%となっている。小田原市に隣接する中村地区では「国府津駅」の利用もみられる。

■地区×鉄道利用駅

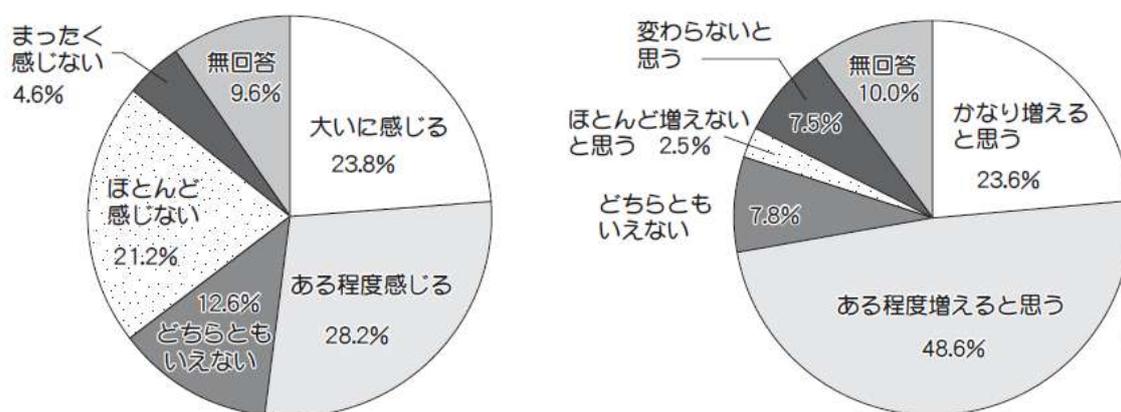


⑤ 日常の交通行動の不便さ

日常の交通行動における不便さは、全体の 52.0%が「大いに感じる (23.8%)」、「ある程度感じる (28.2%)」と回答しており、不便と感じている方が半数以上となっている。

日常の交通行動の不便さで「大いに感じる」「ある程度感じる」と回答した方の不便を感じる場所は、「駅」が 78.2%と最も多く、不便さが解消された場合の外出機会の変化については、該当者の 72.2%が「かなり増えると思う (23.6%)」、「ある程度増えると思う (48.6%)」と回答しており、不便が解消された際の外出機会の増加が見込まれる。

■ 日常の交通行動における不便さの程度 ■ 地区×不便さが解消された場合の外出機会の変化
(不便さで「①大いに感じる」「②ある程度感じる」と回答した方のみ)

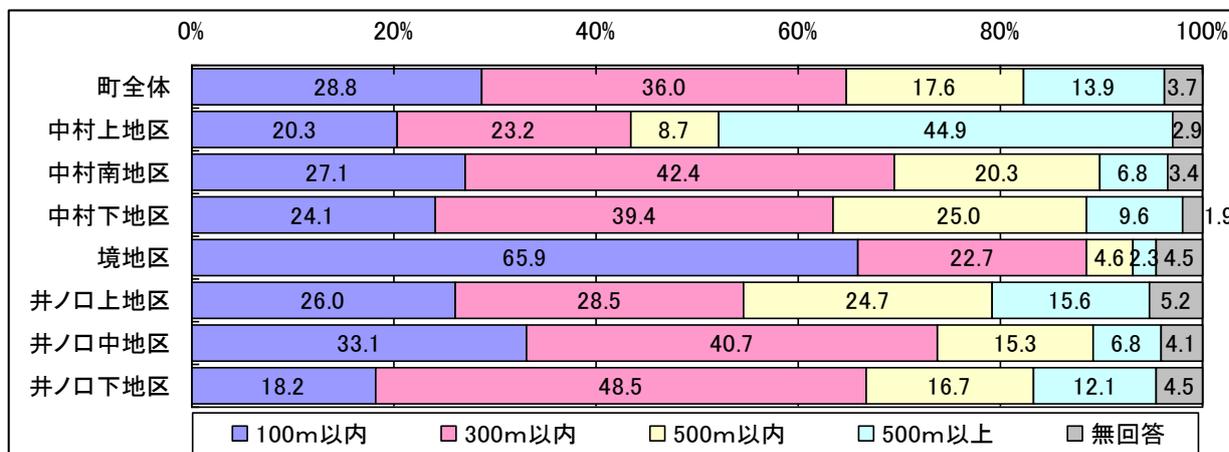


(2) 路線バスの利用状況及び満足度

① 自宅から最寄のバス停までの距離

自宅から最寄のバス停までの距離は、「300m以内」が 36.0%と最も多く、次いで「100m以内」が 28.8%となっている。地区別にみると、公共交通空白地域が広く存在する中村上地区では、「500m以上」の割合が 44.9%と多く、井ノ口上地区でも「500m以内 (24.7%)」、「500m以上 (15.6%)」が多くなっている。

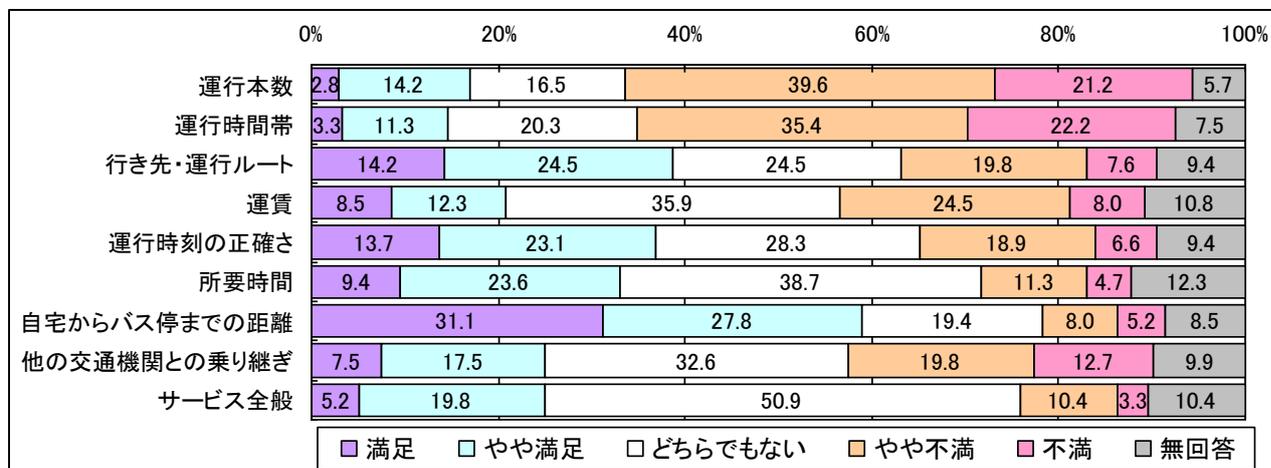
■ 地区×自宅から最寄のバス停までの距離



②路線バスの運行サービスに対する満足度

路線バスの運行サービスに対する満足度は、運行本数及び運行時間帯で「不満」「やや不満」と感じている方がそれぞれ60.8%、57.6%と「満足」「やや満足」よりも多い。

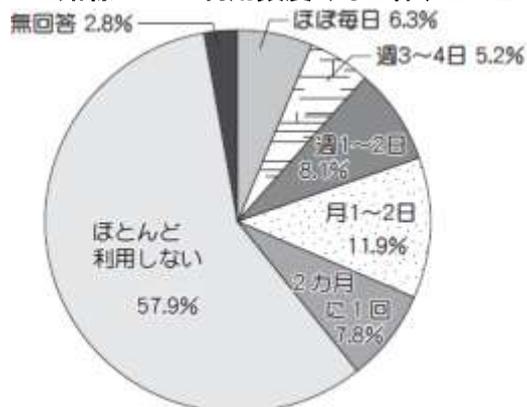
■路線バスの運行サービスに対する満足度（町全体、n=212）



③路線バスの利用頻度

路線バスの利用頻度は、「ほとんど利用しない」が57.9%と最も多くなっている。

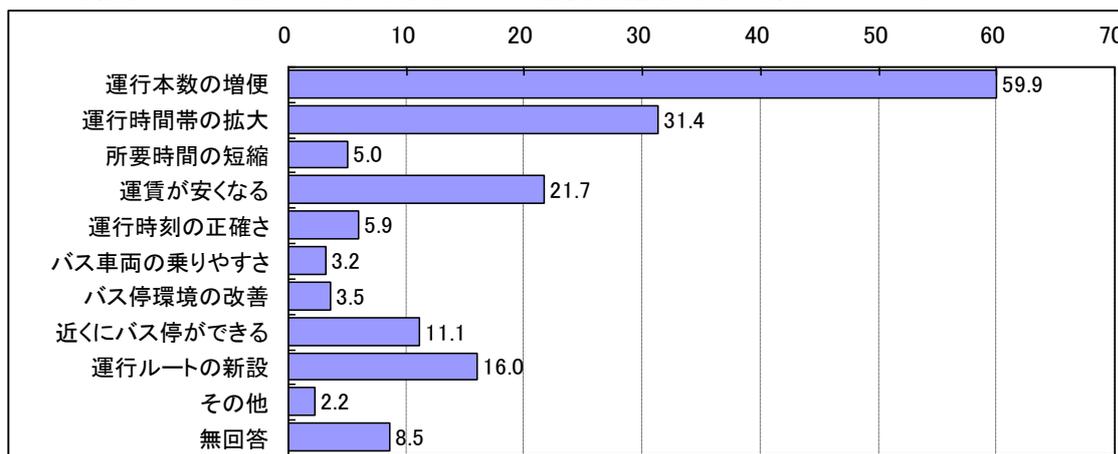
■路線バスの利用頻度（町全体、n=212）



④町内の路線バスを利用しやすくするために必要な施策

路線バスが利用しやすくなるために必要な施策としては、「運行本数の増便」が59.9%と最も多く、次いで「運行時間帯の拡大」31.4%、「運賃が安くなる」21.7%となっている。

■路線バスが利用しやすくなるために必要な施策（町全体、n=212）

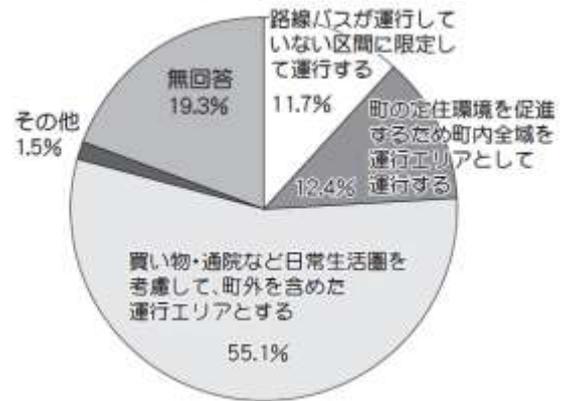


(3) 新しい交通システム（デマンド型交通）の利用意向

①デマンド型交通を導入する場合の運行エリア

デマンド型交通を導入する場合の運行エリアとしては、「買い物・通院など日常生活圏を考慮して、町外を含めた運行エリアとする」が全地区で過半数を占めている。

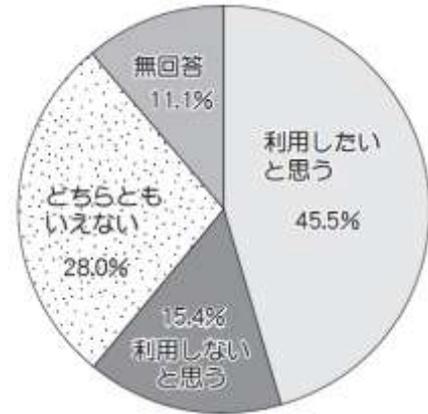
■デマンド型交通を導入する場合の運行エリア



②デマンド型交通が導入された場合の利用意向

デマンド型交通システムが導入された場合の利用意向は、「利用したいと思う」が45.5%と最も多く、特に公共交通空白地域が点在する中村上地区は56.5%と半数以上の割合を占めている。

■デマンド型交通が導入された場合の利用意向

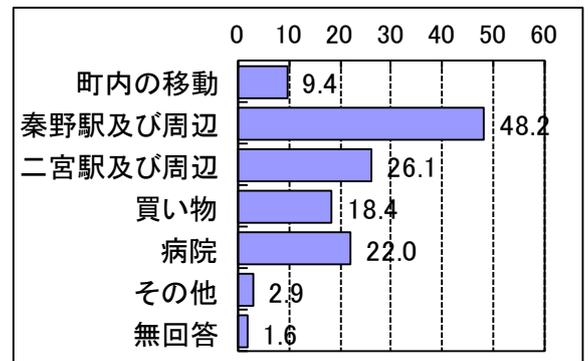


年齢別にみると、10歳代や65歳代以上のいわゆる交通弱者と呼ばれる世代を中心に幅広い世代からデマンド型交通の利用意向がみられる。

③デマンド型交通を利用して行きたい場所

デマンド型交通を利用して行きたい場所としては、「秦野駅及び周辺（48.2%）」、「二宮駅及び周辺（26.1%）」、「病院（22.0%）」、「買い物（18.4%）」の順で、町内の移動よりも広域利用へのニーズが高い。

■デマンド型交通を利用して行きたい場所



20代 女性（中村南）

二宮駅～秦野駅の直通便があると便利。直通便が難しいのであれば、乗り継ぎを良くしてほしい。また、最終バスの時間が早すぎるため、帰りの時間帯での利用ができない。もう少し遅い時間帯のバスを増便してほしい。

30代 女性（中村上）

子どもの通学に送迎が必要のため、通勤時間にも影響が出ます。せめて子どもの帰宅時間だけでもスクールバスのようなものがあればと思います。

40代 女性（境）

バス路線の所々に無料の駐車場を設置して、町民に無料バスを発行して駐車できるようにしてください。バス停まで自由に行けるようになれば、もっと利用したいと思います。

60代 女性（中村上）

今は車で出かけたり、家族に送ってもらったりしています。いずれ歳をとって運転ができなくなったとき、今のままのバスの運行状態では外出もままならなくなり不安です。安心・便利に利用できるシステムがあればと思います。

町民アンケート
からの自由意見

2-2 企業アンケート調査

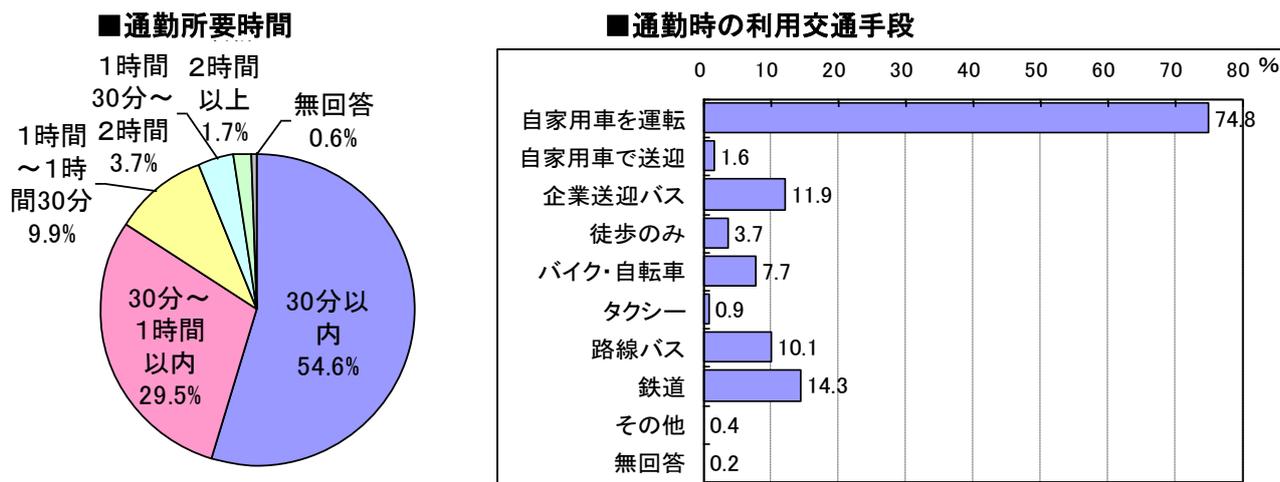
町内企業を対象に、就業者の動向や企業の対応状況を把握することを目的に企業アンケート調査を行った。

■通勤者アンケート調査概要

調査期間	平成23年9月中旬～9月下旬
調査方法	総務課など窓口へ直接依頼し郵送配布、郵送回収
調査対象者及び調査票数	町内の企業12社従業員（1社あたり10～100票程度）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ○属性（性別、年齢、居住地） ○通勤の状況（通勤所要時間、通勤時の利用交通手段とその理由、路線バスの運行サービスに対する満足度） ○公共交通の利用（自動車やバイク等から公共交通へ変更する可能性、公共交通を充実するために必要な施策）

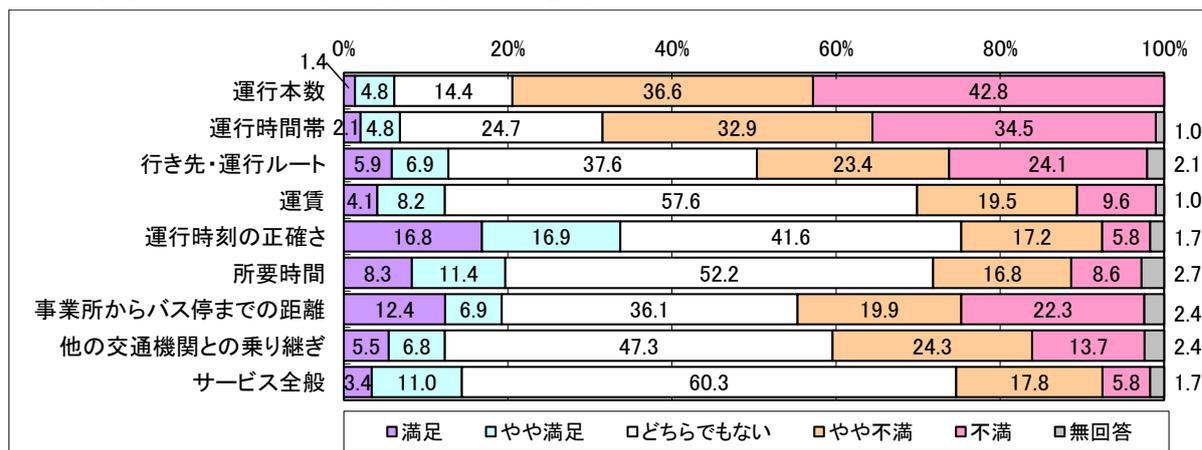
①通勤の状況

通勤の所要時間は近隣市町からの通勤者が多いため、「30分以内」が54.6%と最も多く、次いで「30分～1時間以内」が29.5%と、1時間以内の通勤者が約8割となっている。通勤時の交通手段は「自家用車を運転」が74.8%と最も多く、路線バス利用者は10.1%にとどまっている。



路線バスに対する満足度は、運行時刻の正確さで「満足」「やや満足」が33.7%と「やや不満」「不満」の23.0%を上回っているものの、各項目で不満度（やや不満、不満）が高く、特に運行本数で79.4%、運行時間帯で67.4%と多くなっている。

■路線バスに対する満足度（路線バスを利用したことのある方のみ）

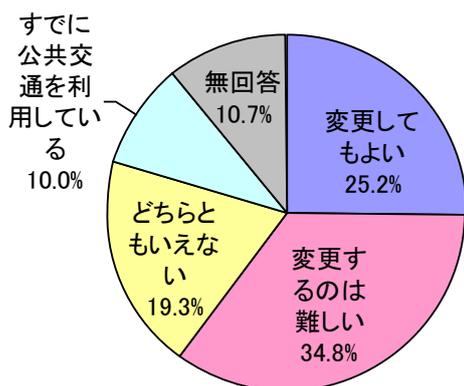


②公共交通の利用意向

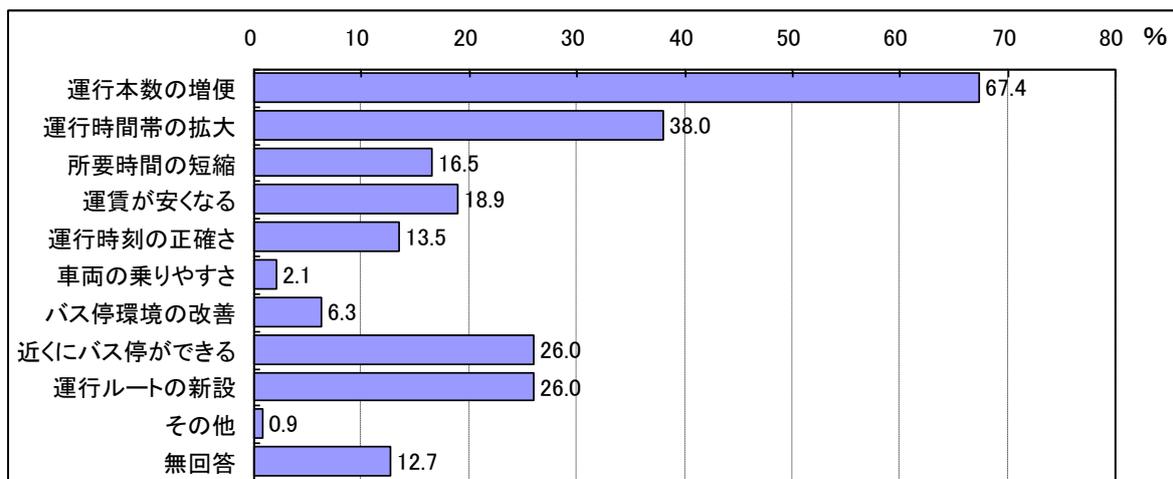
公共交通が充実して通勤に利用することができるようになった場合、公共交通への変更の可能性は、「変更するのは難しい」が34.8%と最も多いものの、「変更してもよい」が25.2%と全体の4分の1を占めている。

公共交通を充実させるために必要な施策としては、「運行本数の増便」が67.4%と最も多く、次いで「運行時間帯の拡大」38.0%となっており、現行の路線バスに対する満足度が低いことがうかがえる。

■自動車等から公共交通への変更の可能性



■公共交通を充実させるために必要な施策



3 生活交通を取り巻く課題の整理

中井町の公共交通に関する現況や上位計画における公共交通の位置付け及び地域公共交通アンケート調査結果（町民アンケート、企業アンケート）などを踏まえ、生活交通を取り巻く課題を整理する。

①公共交通空白地域の解消による町民の足の確保

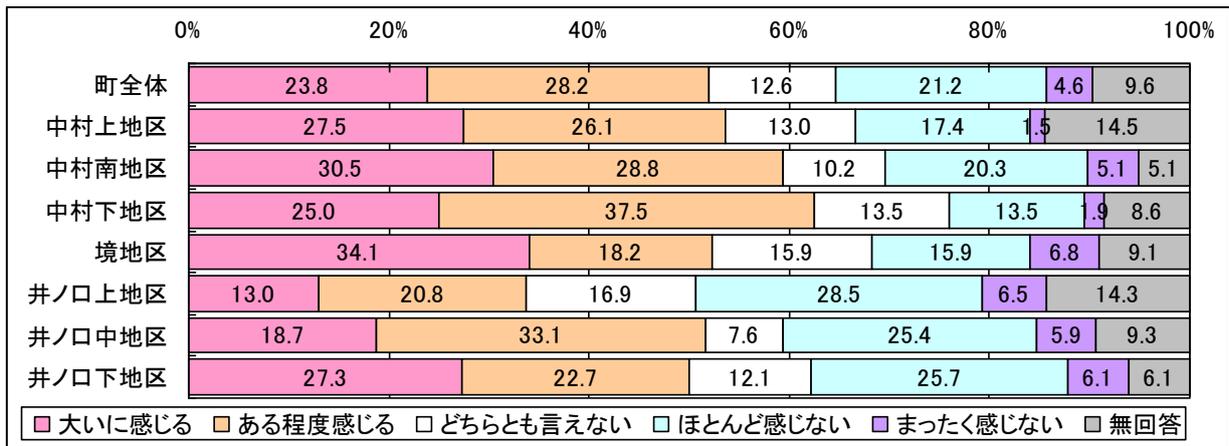
中井町は鉄道がなく、民間バス路線が幹線道路を中心に運行しているが、中村地区を中心に公共交通空白地域（バス停より半径300m以遠のエリア）が広く存在している。

町民アンケート調査によると、日常の生活交通における不便さの程度では、「大いに感じる」「ある程度感じる」と不便を感じている方が、中村上地区（53.6%）、中村南地区（59.3%）、中村下地区（62.5%）及び境地区（52.3%）で町全体（52.0%）を上回っている。

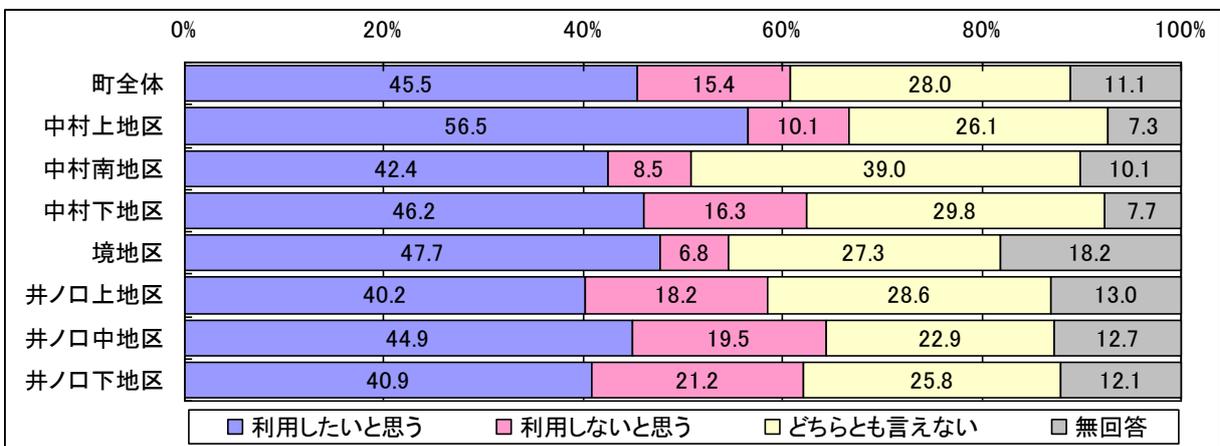
また、デマンド型交通が導入された場合の利用意向をみると、町全体では「利用したいと思う」と回答した方（45.5%）が「利用しないと思う」と回答した方（15.4%）を大きく上回り、特に中村上地区、境地区及び中村下地区で利用意向が多くなっている。

このため、これら公共交通空白地域を主対象に、デマンド型交通など新たな交通システムの導入により地域住民の生活交通を確保していくことが必要である。

■日常の生活交通における不便さの程度（町民アンケート）



■デマンド型交通が導入された場合の利用意向（町民アンケート）



②民間バス路線の維持と利便性の向上

民間バス路線は、最寄りの鉄道駅である JR 東海道線二宮駅と小田急線秦野駅などを連絡しているものの、近年、利用者数は年々減少傾向にあり、町西部（中村地区）を運行する路線（二宮駅～高尾など）で運行本数が少なくなっている。

町民アンケート調査によると、路線バスは買物、通院、通勤など多様な目的で利用されており、路線バスを利用する理由では「他に交通手段がない（42.0%）」、「自家用車が利用できない（30.7%）」といった回答が多く、路線バスは町民生活を送る上で欠かせない交通手段である。

路線バスの運行サービスに対する満足度は、特に運行本数での「不満」「やや不満」が 60.8%、運行時間帯では 57.6%と不満度が高く、また、路線バスが利用しやすくなるために必要な施策でも両施策が上位に挙がっている。第五次中井町総合計画後期基本計画策定に向けた就業者アンケート調査（平成 21 年 9 月）によると、町が行う支援策として重要と思うことについては、「公共交通機関の充実」が圧倒的に多くなっている。

さらに、路線バスをほとんど利用しない方を対象にした町民アンケートの質問では、バスが今よりも便利になった場合、利用すると回答した人も多く、就業者アンケート調査でも通勤時の利用交通手段は、自家用車が 74.8%と大半を占めているものの、公共交通が充実して通勤に利用することができるようになった場合、約 4 人に 1 人が「変更してもよい」と回答していることから潜在的な利用ニーズが高い。

このため、路線バスの維持と利便性の向上に向けて、これら町民ニーズ、就業者ニーズ等を踏まえつつ、路線の見直しやサービス向上をバス事業者に働きかけていくことが必要である。

③路線バスや新たな交通システムとの連携による隣接市町との連携強化

買い物や通院など町民の主な日常生活圏は、町内に駅や日常生活に必要な施設（商店、医療施設など）が少ないため、秦野市や二宮町など隣接する市町への移動が多くなっている。

町民アンケート調査結果によると、外出先は町内が 14.1%で、秦野市、二宮町、小田原市など町外への移動が 83.4%と大半を占めている。

このため、町民生活を支え利便性の高い公共交通ネットワークを構築するためには、町内だけでなく、町域を跨ぐ広域的な公共交通に取り組むことが重要で、路線バス同士の接続や路線バスと新たな交通システムと連携を図りながら検討することが必要である。

④企業と連携した企業送迎バスの有効活用

中井町内の企業を対象とした事業者アンケート調査（配布：15 事業所）によると、回答があった 11 事業者のうち 6 事業者で従業員用送迎バスを運行している。運行理由としては「路線バスのダイヤが通勤時間帯にない（少ない）」から」と回答された事業者が多くなっている。

また、今後の従業員の通勤のあり方としては、「複数の企業が協力して共同で運行することが望ましい」と回答された事業者が 11 事業者のうち 9 事業者あり、さらに、「路線バス等の公共交通が充実し、従業員用送迎バスを運行しなくても通勤できるようになることが望ましい」と回答された事業者が 11 事業者のうち 7 事業者と多く、企業送迎バスの効率的な運用や公共交通の充実が求められている。

このため、企業送迎バスの共同運行や企業等と連携した地域住民の足の確保（混乗化）など企業送迎バスの有効活用について検討することが必要である。

■従業員用送迎バスの運行状況

	料金・台数	運行理由※	運行方法	運行時間帯	送迎区間
富士ゼロックス(株)	無料	①・③・④	バス車両、 運転手とも外注(運行委託)している	7:30~21:30	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間
日立コンピュータ機器(株)	無料 複数台	①・②・③・⑤		出勤時間・退勤時間・日中1本/時	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間
(株)日立ハイテクノロジーズ	無料	①・③・④・⑤		7:35~22:55	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間
(株)日立情報システムズ(現在:日立システムズ)	無料	①・②・③		7:35~23:00	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間
ピースハウス病院	無料 2台	①・⑥(徒歩だと危険なため)	自社で、バス車両・運転手とも確保し運行している	7:40~20:10 17:30~20:00	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間 ・井ノ口小学校~事業所間
レインボーカントリー倶楽部	無料 2台	⑥(お客様用送迎車両に同乗)		7:10~8:45 14:55~18:00	・秦野駅~事業所間 ・二宮駅~事業所間

※①路線バスのダイヤが通勤時間帯にない（少ない）から

②路線バスではピーク時の従業員利用に対応できないから

③路線バスよりも駅などからの所要時間を短縮できるから

④自社で運行したほうが従業員の移動にあわせて弾力的に運行できるから

⑤従業員の就労条件向上のため

⑥その他（ ）



▲レインボーカントリー倶楽部送迎バス



▲日立情報システムズ（現在：日立システムズ）送迎バス

4 連携計画の基本的な方針と目標

4-1 中井町の公共交通を総合的かつ一体的に推進することの基本的方針

(1) 公共交通の果たすべき役割・位置付け

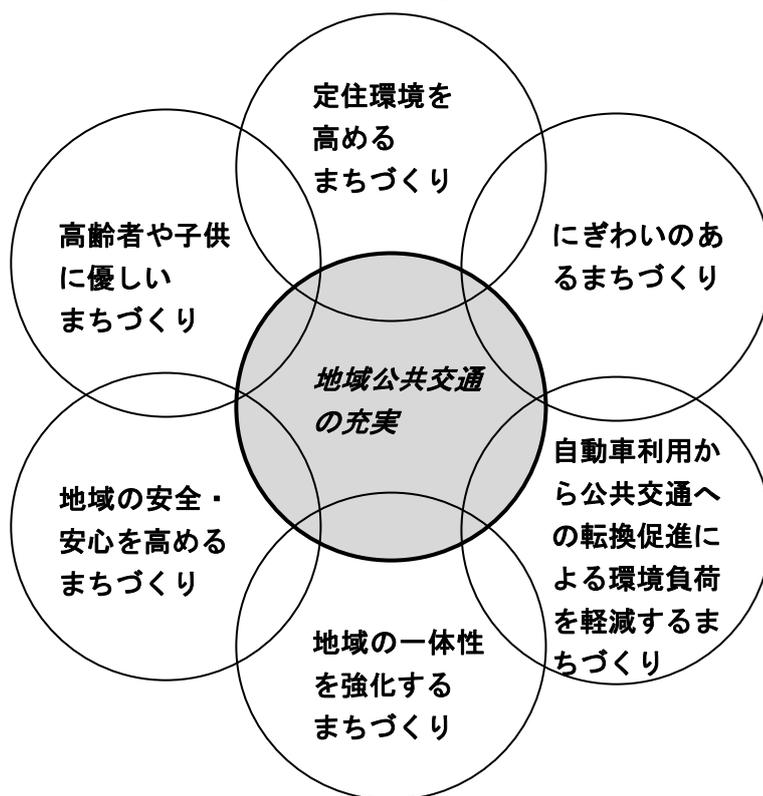
中井町の身近な公共交通である路線バスは、車社会の進展や少子高齢社会の進行など社会情勢の変化により利用者は減少し存続が危ぶまれている中で、「町民の生活交通手段の確保や高齢者や児童・生徒等の外出を支援するための必要不可欠な社会基盤の一つ」であることを位置付け、公共交通の果たすべき役割を明確化することが重要である。

公共交通の役割は、町の最上位計画である「第五次中井町総合計画後期基本計画（平成23年3月策定）」や「中井町都市マスタープラン（平成21年3月改訂）」における公共交通の位置付けを踏まえ、公共交通の現状や町民ニーズへの対応等から次の役割を果たすことが期待される。

<p>第五次中井町総合計画後期基本計画（平成23年3月策定）</p>	<p>【将来像】 水と緑、人がきらめく 住んでみたいまち 【基本目標】 にぎわいと活力のあるまち 【施策方針】 定住環境を高める公共交通の充実 ①バス交通の充実 ②公共交通サービスの拡充</p>
<p>中井町都市マスタープラン（平成21年3月改訂）</p>	<p>【将来都市像】 住む人が誇りを持てる 潤いと活力のあるまち 【都市づくりの目標】 快適性、利便性のあるまちづくり 誰もが安心して、一体感をもって暮らせるまちづくり 【公共交通の整備方針】 ①路線バスの維持及び利便性の向上 ②新たな公共交通システムの導入の検討</p>



【地域公共交通の充実とまちづくりとの関係】



(2) 生活交通に関する基本方針の検討

生活交通を取り巻く課題や公共交通の果たすべき役割を踏まえ、次の観点から持続可能な生活交通の実現を進めていく。

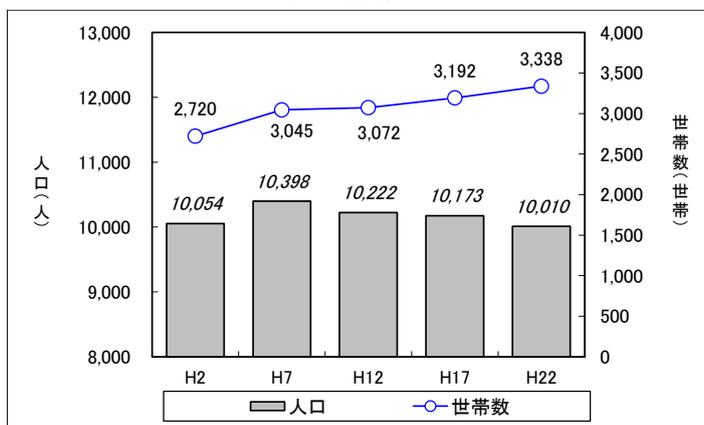
①高齢者等交通弱者に対する移動手段の確保

中井町の総人口は平成22年10月1日現在、10,010人で、中井町都市マスタープランで目標とする人口フレームでは定住環境を高める公共交通の充実により、平成40年に計画人口12,000人を目標に掲げている。

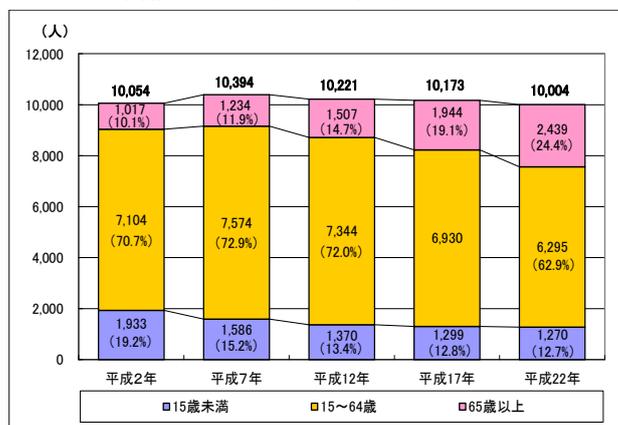
一方、年齢3区分別人口は年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15～64歳）が減少傾向で、高齢人口（65歳以上）は20年間で2.4倍増加し、総人口に占める構成比も24.4%と増加傾向となっている。

今後、本格的な高齢社会の到来によりマイカーでの移動が困難になる人や運転免許証を返納する人の増加が見込まれる中で、高齢者等交通弱者に対する移動手段の確保を目指す。

■人口及び世帯数の推移



■年齢3区分別人口構成数（率）



出典：国勢調査(各年10月1日現在) ※図1の人口は「不詳」を含むため、図1と図2の人口の総数は一致しない。

②新たな公共交通システムの導入による町全体の公共交通の充実

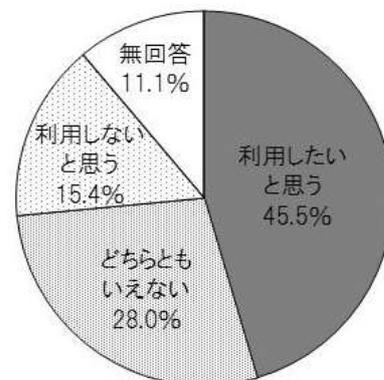
中井町内の公共交通は、民間の路線バスによって支えられているが、公共交通空白地域は広範囲にわたり点在している。

町内には鉄道駅がなく、病院やスーパーなど日常生活に必要な施設も少ない。また、町全体が丘陵地のため山坂道が多く、徒歩や自転車での移動に適さないなど自家用車を利用できない人にとっては移動に支障を来している。

町民アンケート調査では、デマンド型交通システムが導入された場合の利用意向は、「利用したいと思う」が45.5%と最も多く、年代別にみると10歳代や65歳代以上のいわゆる交通弱者と呼ばれる世代を中心に幅広い世代からデマンド型交通の利用意向がみられる。

このため、公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして新たな公共交通システムを導入し、町全体の公共交通の充実を目指す。

■デマンド型交通が導入された場合の利用意向



■年齢×デマンド型交通が導入された場合の利用意向



③民間バス路線の利便性向上と新たな公共交通システムとの連携強化

バス路線は、最寄駅であるJR東海道線二宮駅と小田急線秦野駅を主な起終点としている。近年、バス利用者は減少傾向にあり、なかでも秦野駅～震生湖～比奈窪線は赤字路線のため、町が運行費補助を行っている。また、二宮駅～比奈窪～高尾線は運行本数が1日に7本で利用者も少ないため不採算路線となっており、民間バス事業者の自主努力により路線が確保されている。

また、中村上・下地区から秦野駅を直通で結ぶバス路線がなく、町内唯一のバスターミナルである比奈窪バス停で乗り換えが必要であるが、周辺に集客施設がないため便益性が低く、乗り換え拠点として十分な機能を発揮していない。

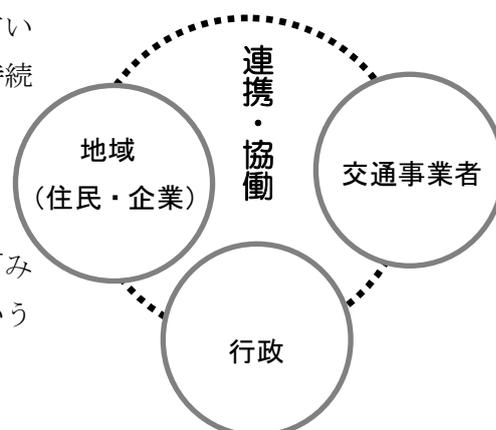
このため、民間バス路線と新たな公共交通システムとの機能・役割の棲み分けにより、相乗的な公共交通の利便性向上を図るとともに、住民・利用者ニーズに合致した乗継拠点の整備、既存ストック（バス停など）を最大限に活用して公共交通相互の連携・強化を目指す。

④「みんなで創り、守り、育てる」地域公共交通の実現

新たな公共交通システムを魅力ある、使いやすいものとしていくためには、利用者のニーズを的確に反映し、安定的かつ持続的に提供され続けることが重要である。

住民（地域）、交通事業者、行政等がそれぞれの役割分担のもと、連携・協働し取り組む必要がある。

そのためには、住民（地域）が地域の公共交通について、「みんなで創り、守り、育てる」という主体者の一員であるという意識を持って関わっていく必要がある。



(3) 町全体の公共交通網の基本的な考え方

中井町の公共交通は、民間バス路線と新たに導入を検討している交通手段により構成されるが、これら各交通手段の機能を最大限に発揮するために、公共交通機関相互の連携強化を図りながら、効率的で利便性の高い生活交通ネットワークの実現を目指すことが重要である。

このため生活交通システムは、現状の運行サービスや役割等を踏まえ、幹線システム、支線システムに機能分類することで階層的なネットワークの形成を目指す。

各生活交通システムの性格は以下に示すとおりである。

■生活交通システムの機能分類及び性格

機能分類	性格	対象
幹線システム	・幹線システムとは、町内及び周辺市町の拠点施設を連絡する町の骨格を形成するために重要な機能を担う路線。	路線バス（神奈川中央交通㈱、㈱湘南神奈交バス）
支線システム	・地域内の移動サービスを担うことを基本に、幹線システムや拠点施設まで連絡する路線。	新たな公共交通システム
乗継拠点	・乗継拠点とは、幹線システムと支線システムを連絡するバス停で快適に待てる空間機能（上屋、ベンチ等）や、スムーズな乗換機能（乗継時刻の連携等）、地域の案内情報といった機能を備えた拠点。	町役場周辺（比奈窪バスターミナル）、井ノ口公民館、五所宮周辺 ※町外：秦野駅、二宮駅、東名秦野バス停

(参考) 乗継拠点の導入機能イメージ例



4-2 中井町地域公共交通総合連携計画の区域

連携計画の区域は、民間路線バス、中井町オンデマンドバス及びタクシー相互の連携を図りつつ、買物や通院など町民の日常生活圏域を考慮し、中井町全域と町外の総合病院や商業施設など町民の移動ニーズに対応した区域とする。

4-3 中井町地域公共交通総合連携計画の期間

連携計画の期間は、平成 25～29 年度までの 5 年間とする。

4-4 中井町地域公共交通総合連携計画の目標

連携計画の目標は、本連携計画を着実に推進することで、計画期間である平成 29 年度までに次の目標達成を目指す。

●目標 1：公共交通に対する満足度向上

……現状：18.8%→平成 29 年度：25%

町民アンケート調査（平成 20 年 1 月）の中で、公共交通に満足（満足、やや満足）と回答した方の割合を高めていくことを目指す。

●目標 2：オンデマンドバスの利用者数及び登録者数の増加

○1日当り利用者数…現状（実績）：約 10.6 人/日→平成 29 年度：40 人/日以上

地域公共交通アンケート調査（平成 23 年 9 月）等に基づく需要やデマンド型交通システム（区域運行型）を導入している他自治体の利用者数を参考に運行サービスの見直し・改善により平成 29 年度までには 40 人/日以上を目指す。

○登録者数……現状（H25.2 末現在）1,429 人→平成 29 年度：約 3,000 人以上

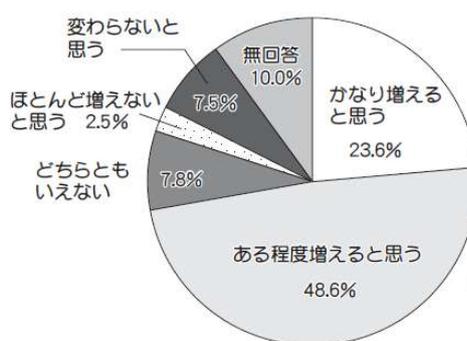
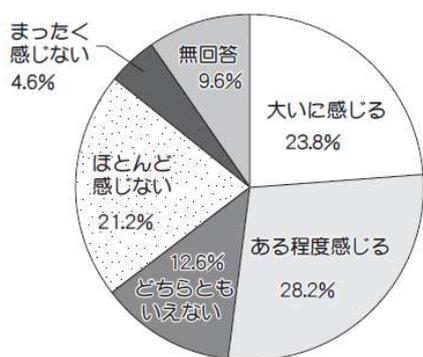
当面は総人口（10,010 人）の 2 割（65 歳以上人口 2,439 人の 8 割）となる 2,000 人を目標にしつつ、平成 29 年度までに現登録者数の 2 倍の 3,000 人以上を目指す。

●目標 3：日常の交通行動の不便さの解消

……現状：52.0%→平成 29 年度：40%

地域公共交通アンケート調査（平成 23 年 9 月）の中で、日常の交通行動の不便さで不便（大いに感じる、ある程度感じる）と回答した方の割合を下げて、外出機会の増加に寄与することを目指す。

■日常の交通行動における不便さの程度 ■地区×不便さが解消された場合の外出機会の変化 (不便さで「①大いに感じる」「②ある程度感じる」と回答した方のみ)



5 新たな公共交通システム運行計画の策定

本運行計画は、平成25年1～2月（約2か月間）の実証運行に係る計画であり、平成25年度以降の実証運行及びその後の本格運行については、本運行計画をベースに利用実績や利用者ニーズ等を踏まえ修正・見直しを図っていく。

5-1 新たな公共交通システムの需要想定

新たな公共交通システムの運行計画策定にあたっては、本システムの需要を予測し、需要に応じた運行システム・サービス内容を検討する。

中井町オンデマンドバスの1日当たり利用者数は、町民アンケート調査による外出が困難な町民をベースにオンデマンドバスの利用意向や利用目的等を考慮して算出した結果、概ね40人/日と想定される。

なお、デマンド型交通システム（区域運行型）を導入している他自治体の利用者数を見ると、1日当たり約20～160人程度で、1台の1日当たり利用者数は10～26人/日・台で、平均17.6人/日・台となっている。本実証実験では、導入車両数を2台で運行するため、約40人/日（=20人/日・台×2台）と想定され、アンケート調査と同程度となっている。

□ オンデマンドバスの1日当たり利用者数

＝居住人口×運転免許証を持っていない方の割合×日常の交通行動で不便と感じている方の割合（大いに感じる＋ある程度感じる）×外出頻度※×自宅から最寄のバス停までの距離（500m以上）×オンデマンドバスが導入された場合の利用意向（利用したいと思う）×オンデマンドバスの利用目的（買物＋通院＋趣味・娯楽＋知人と会う＋その他）×2（往復）

■ オンデマンドバスの1日当たり利用者数推計

地区区分	① 居住人口	② て運 転 な 免 許 証 を 持 合 つ	③ 方不 日 の 便 常 割 と の 合 感 交 通 じ 通 て 行 い 動 る で	④ 外 出 頻 度	⑤ mで最 以の寄 上距離 ～離の （バス 5ス 0停 0ま	⑥ のオ 利 用 デ マ ン ド バ ス	⑦ 勤のオ ・利 用 デ マ ン ド 学目 除的 く（ 通 バ ス	⑧ 日 利 用 需 要
中村上地区	1,229	8.7%	53.6%	0.525	44.9%	56.5%	77.4%	11.8
中村下地区	3,044	14.7%	61.3%	0.532	8.6%	44.8%	85.4%	9.6
境地区	761	20.5%	52.3%	0.544	2.3%	47.7%	69.6%	0.7
井ノ口地区	5,139	18.0%	46.0%	0.543	10.7%	42.5%	87.9%	18.5
町全体	10,173	16.9%	51.9%	0.538	13.9%	45.5%	84.4%	41

※ 外出頻度による日数補正換算

地区	中村上地区	中村下地区	境地区	井ノ口地区	町全体
週5日以上	56.5%	51.5%	52.3%	52.9%	52.9%
週3～4回	14.5%	25.2%	27.3%	26.1%	24.5%
週1～2回	21.7%	16.6%	15.8%	15.7%	16.7%
月に1～2回	5.8%	4.3%	0.0%	3.1%	3.5%
2ヶ月に1日	0.0%	0.0%	2.3%	0.4%	0.4%
日数補正換算	0.525	0.532	0.544	0.543	0.538

注) 日数補正換算 = 5/7 × 週に5日以上割合 + 3.5/7 × 週に3～4回割合 + 1.5/7 × 週に1～2回割合 + 1.5/30 × 月に1～2回割合 + 1/60 × 2ヶ月に1日

5-2 新たな公共交通システムの運行システム・サービス水準の検討

(1) 運行システム

運行システムは、人口規模、面積要件、地域独立性など総合的に判断し、「デマンド型交通システム（区域運行型）」とする。

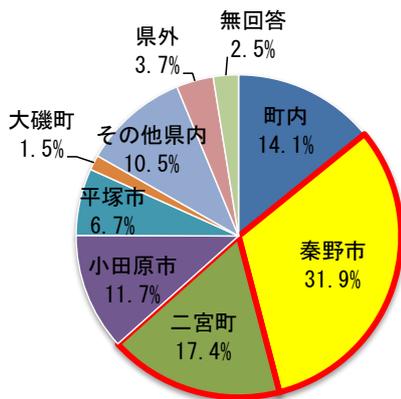
※デマンド型交通とは、複数の利用者の移動に関する要望（時刻、行き先）に応じ、その都度運行経路や時刻表を決定して運行する乗合型の交通手段である。区域運行型は運行ルートを定めず、乗降ポイントと目的地を連絡するシステムである。

(2) 運行エリア

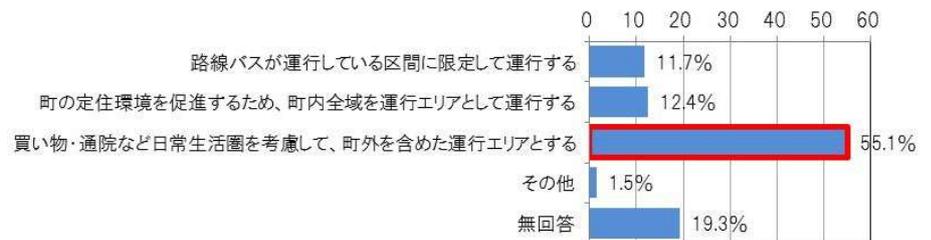
運行エリアは、買い物、通院など住民の生活行動を考慮して、町内全域と町外の総合病院、商業施設等へ直接アクセス可能なものとする。

町外の目的地は、秦野市及び二宮町内に立地する病院・スーパーに限定して秦野赤十字病院、ヨークマート、マックスバリュ、西友の4カ所とする。

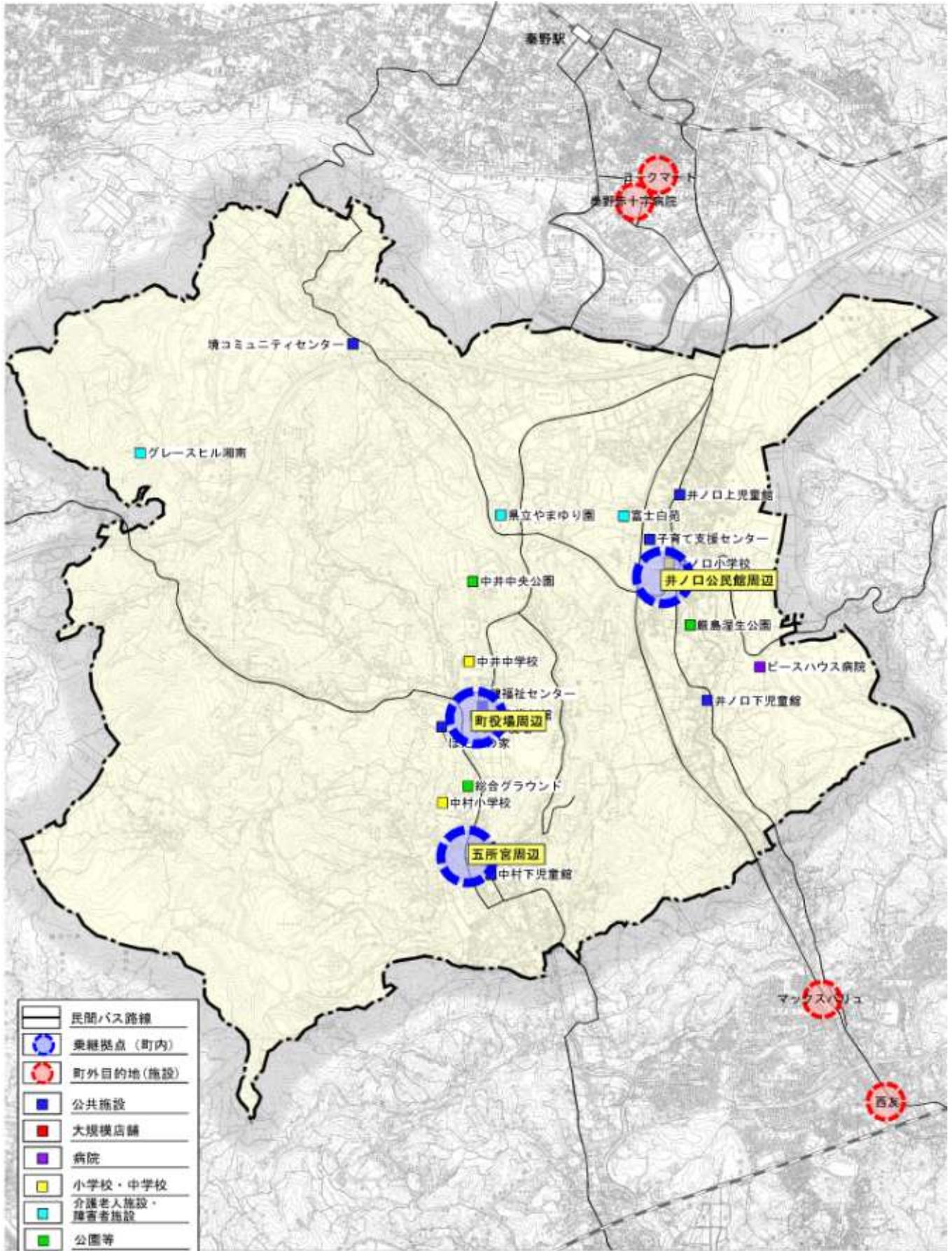
■主な外出先（施設所在地）



■デマンド型交通を導入する場合の運行エリア



■運行エリア



(3) オンデマンドバスの配車システムの選定

オンデマンドバスの配車システムは、運行エリアが町内全域及び町外の主要施設へのアクセスと広範囲かつ需要が広く分散していることを踏まえ、また、利用状況に関するデータを詳細に把握することができ、実証運行後の見直し（運行エリアや乗降ポイントの見直し等）などに活用することが可能となることなどから I T 型システムとする。

システムは、到達時刻保証による利便性向上（路線バスとの乗り継ぎ可能）が図られることや導入費用が低廉で実証実験に適していることなどから東大オンデマンド交通システム（コンビニクル）を採用する。

(4) 運行方式

運行方式は、利用者の利便性向上や運転者の負担軽減、タクシーとの差別化などの観点から乗降ポイントを設定する方式とする。

■中井町オンデマンドバス乗降ポイント

		乗降ポイント	箇所数
町内エリア	公共施設	中井町役場、保健福祉センター、井ノ口公民館、境コミュニティセンター、足柄消防中井分遣所、中井美化センター、児童館（中村下、井ノ口上）、自治会館・公民館（松本、岩倉、古怒田、半分形、大久保、久所、下井ノ口、砂口、遠藤原、五分一）	18 箇所
	介護施設等	グレースヒル湘南、富士白苑、ほたるの家、ふれあい作業所、ピースハウス病院	5 箇所
	教育施設等	中村小学校、井ノ口小学校、中村保育園、井ノ口保育園（子育て支援センター）、木之花保育園	5 箇所
	公園等	中井中央公園野球場、なかい里やま直売所、総合グラウンドテニスコート、ふれあい農園（富士見台、境）、巖島湿生公園、境グリーンテックパークほか 8 公園	15 箇所
	路線バス停	比奈窪バスターミナル、五所宮、井ノ口小学校前等	41 箇所
	ごみ収集所	上記のほか、ごみ収集場所など概ね徒歩で 300 メートル以内の場所に乗降ポイント設定	36 箇所
	小 計		
町外目的地	病院	秦野赤十字病院（秦野市）	1 箇所
	スーパー	ヨークマート西大竹店（秦野市） 西友二宮店（二宮町）、マックスバリュ二宮店（二宮町）	3 箇所
	小 計		4 箇所
合 計			124 箇所

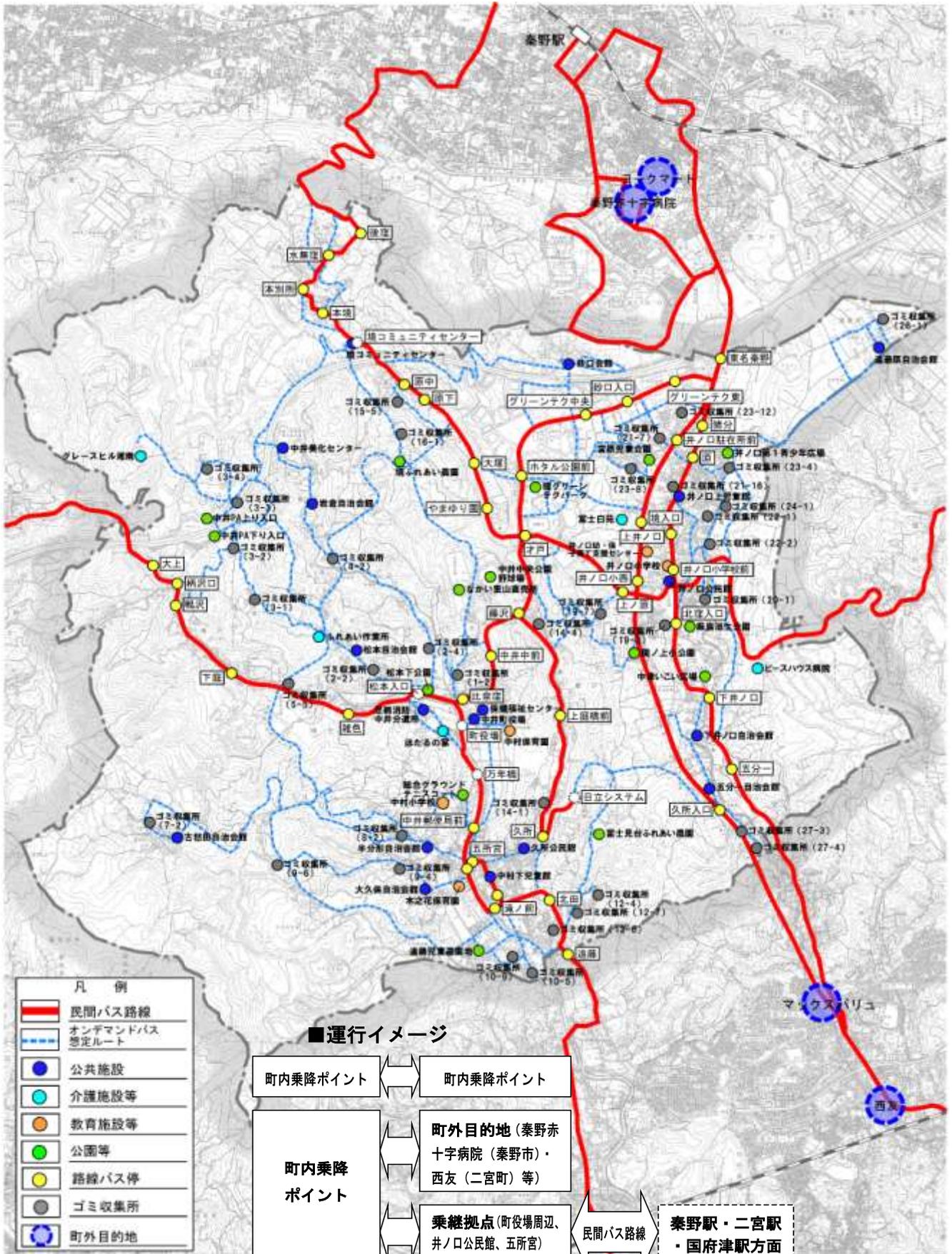


▲比奈窪バスターミナル



▲秦野赤十字病院

中井町オンデマンドバス乗降ポイント



※乗降ポイントは、利用者が利用しやすいポイントを設定できるように今後地域説明会や実証実験等のニーズ等を踏まえ、追加・変更を行っていく。

(5) 運行日

運行日は、おもな利用者である 60 歳以上の外出頻度が、「ほぼ毎日」や「週に 3～4 日」といった回答が多く、幹線システムの補完・連携方策等を勘案して毎日運行とする。

(6) 運行時間帯

運行時間帯は、買物、通院、公共施設等の利用に対応することを基本とし、午前 7 時から午後 8 時までとする。

(7) 運行ダイヤ

運行ダイヤは、基本ダイヤを持たず、利用者にとって利便性の高い利用者の予約に合わせて運行する方式とする。

(8) 利用料金（運賃）

運賃は、受益者負担や民間バス利用者との負担の公平性、運賃の対価としての利用者意見を把握するため有料とする。

運賃形態は、町内と町外と 2 ゾーンに区分し、利用者・運転者双方にわかりやすいゾーン運賃とする。

具体的な運賃としては路線バスよりも高くタクシーよりも安い、かつ分かりやすく利用しやすいシンプルな料金設定が望ましく、以下のように設定する。

■利用料金（運賃）

	町内～町内	町内～町外
大人（12 歳以上）	200 円	300 円
小児（6 歳以上 12 歳未満）	100 円	150 円

※未就学児は 2 名まで無料（保護者同伴）

（参考）比奈窪～日赤病院前の路線バス運賃：230 円（大人）

※基本運賃は、実証運行期間における料金であり、今後、利用者実態等を踏まえ検討する。

(9) 利用方法

1) 利用対象者

利用対象者は、公共交通としての公益性や定住・交流の増加などの観点から制限なしとする。

2) 利用者登録

利用者登録は、利用者データと運行データを結び付けてサービスの改善に反映できるほか、利用者登録によりオペレーターが予約と同時に乗車場所を把握でき配車作業を効率的に行える。また、路線バスやタクシーとの差別化を図る観点から登録ありとする。

【利用者登録の手順】

- **Step 1** : 「中井町オンデマンドバス利用者登録申請書」に必要事項を記入のうえ、中井町企画課へ申請する。申込方法は直接持参、郵送、ファックスまたは電子メールでの申込みとする。

※中井町オンデマンドバス利用者登録申請書は、町広報、自治会組回覧、公共施設（町役場、保健福祉センター、農村環境改善センター、井ノ口公民館、境コミュニティセンター）に留置き、また町ホームページからもダウンロード可能とし、周知、配布に努める。

- **Step 2** : 申請書受付後、1週間以内に利用者登録証及び利用案内を申請者へ郵送する。



▲中井町オンデマンドバス利用者登録証

3) 予約受付・予約期限

- 予約受付は、電話またはインターネットとする。
- 受付期間は、利用予定の2週間前から当日60分前までとする。
- 電話による予約受付は、平日午前8時30分から午後5時までとする。
- インターネットによる予約受付は、24時間受付可能とする。
- 平日午前7時から8時30分と午後5時から8時まで及び土・日・祝日の利用に関しては、前日までの電話予約またはインターネット予約の受付とする。
- 予約は最多10乗車分までできるものとする。



中井町オンデマンドバス利用者登録票

申込日 平成 年 月 日

住所					登録番号 (町処理欄)
フリガナ 氏名	性別 男・女	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
自宅電話番号	緊急時連絡先 (携帯電話番号等)				

【上記以外の利用者】 この登録票でご家族5名様まで登録することができます。

上記の方との 続柄	フリガナ 氏名	性別	生年月日	緊急時連絡先 (携帯電話番号等)	登録番号 (町処理欄)
	フリガナ 氏名	男・女	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
	フリガナ 氏名	男・女	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
	フリガナ 氏名	男・女	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
	フリガナ 氏名	男・女	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		

【備考】

(注)

- 利用する可能性のある方の登録をお願いします。(未就学児は登録不要)
- この用紙に書ききれない場合は、コピーまたは別の登録票をご利用ください。
- 緊急時連絡先は、運行の中止や大幅な変更が生じる場合に利用させていただきます。
- 登録された個人情報、オンデマンドバスに関する以外に使用しません。
- 会員登録及び運行に関するお問い合わせは、企画課政策班までお願いします。

<お申込み方法>

次の窓口に提出していただくか、郵送またはファックスでお申込みください。

〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪56 (中井町役場2階)
 中井町企画課政策班 宛て
 TEL0465-81-1112 FAX0465-81-1443

※受付印 (町処理欄)

★『オンデマンドバス』にすてきな愛称をつけてください。(詳しくは広報をご覧ください)

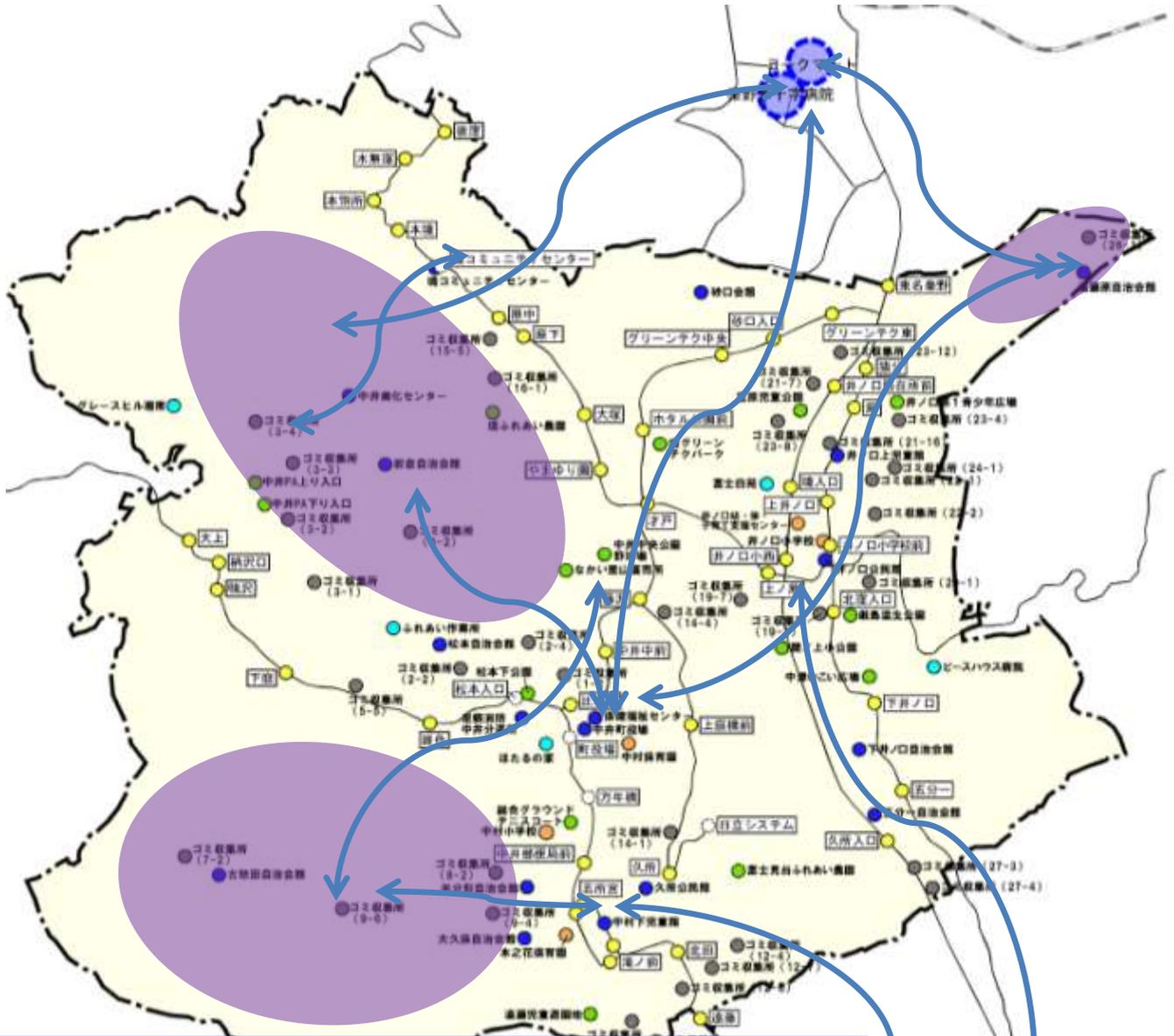


中井町「オンデマンドバス」愛称応募用紙

- ☆愛称名(ふりがな) _____
- ☆愛称の理由 _____
- ☆住所 _____
- ☆氏名(ふりがな) _____
- ☆電話番号 _____

■利用イメージ

○ : 主な公共交通空白地域



出かけるとき

- 電話・インターネットでの予約(登録番号、氏名、予約時間、乗車・降車ポイント等)
 明日、10時に秦野赤十字病院までお願いします。
- 予約センター(予約受付)
 ○○さんですね。10時、秦野赤十字病院到着の予約受付けました。○○バス停で待っていて下さい。
- 順番に乗車ポイントへ
 止まり場指示
- それぞれの目的地へ
 ○町内エリア：120箇所
 ○町外目的地：4箇所
 スーパーへ
 病院へ

帰るとき

- 電話・インターネットでの予約(登録番号、氏名、予約時間、乗車・降車ポイント等)
 今日、13時に秦野赤十字病院から○○バス停まで予約をお願いします。
- 予約センター(予約受付)
 ○○さんですね。13時の予約受付けました。秦野赤十字病院で待っていて下さい。
- 順番に乗車ポイントへ
 ドライバーに指示
- それぞれの目的地へ
 ○町内エリア：120箇所
 ○町外目的地：4箇所

(10) 運行車両

運行車両は、ピーク時の輸送人員や道路状況などを考慮してワンボックス型車両（車種：ハイエース、13人ワゴン車（利用定員12人まで））とする。



(11) 車両台数

導入車両数は、需要面や採算性を考慮して2台（プラス予備車両1台）とする。

(12) 待機場所

運転者及び車両の待機場所は、運行車両の駐車スペースや運転者の休息環境及び配車までの移動時間を考慮して中村下児童館とする。

(13) 運営主体

運営主体は、地域の実情やニーズに合わせた地域公共交通の実現のため、地域住民と協働による取組みを推進することから中井町とする。

(14) 予約受付センター（オペレーター）

予約受付センターは、運営主体同様、利用者にとって身近な組織体である中井町役場（企画課・町職員兼務）とする。

(15) 運行事業者

運行事業者は、地域住民、行政とともに地域公共交通の協働経営者となってまちづくりに参加できる事業者であること、また、適切な役割分担のもと事業を永続的に遂行できるかが重要であるため、運行事業者については町内のバス運行事業者とする。

(16) オンデマンドバスの愛称

中井町では、平成25年1月10日（木）から実証実験運行を開始する「オンデマンドバス」について、愛称募集を行った。

- 募集方法 広報なかい（11/1号）と町ホームページへの掲載
- 募集期間 11月1日（木）～11月30日（金）
- 応募件数 207件

募集された愛称について、中井町地域公共交通会議の各委員に選定（合計点数の最も高い愛称）して頂き、「中井ふれあいバス」に決定した。



平成25年1月10日実証実験運行開始！

中井町「オンデマンドバス」の愛称を募集します！

町では、平成25年1月10日（木）から実証実験運行を開始する『オンデマンドバス』の愛称を募集します。この新しい交通システムが、呼びやすく親しみのあるものとなるような愛称を付けてください。たくさんのご応募お待ちしております。

- 募集期間 11月1日（木）～11月30日（金） ※必着
- 募集内容 中井町『オンデマンドバス』の愛称
- 応募方法 下記にご留意のうえご応募ください。
 - ・応募資格 どなたでも応募できます。
 - ・応募数 一人何点でも応募できます。
 - ・提出方法 応募用紙を、持参、郵送、ファックス、インターネットのいずれかで、提出先まで提出してください。「オンデマンドバス利用者登録票」でも応募できます。（インターネットの場合は、町ホームページの「中井町の公共交通」のページから応募してください）
- 審査基準
 - ・町内を走るオンデマンドバスにふさわしいもの。
 - ・呼びやすく、覚えやすい、親しみのあるもの。
 - ・他の名称や商標などに使用・類似していないもの。
- 審査発表 愛称と採用者は実証実験運行開始時に発表させていただくほか、町広報紙などでお知らせします。
- その他 採用された愛称は、運行する車両に使用するほか、広告媒体などで広く活用します。また、愛称名の一切の著作権は中井町に帰属するものとします。ご記入いただいた個人情報は、オンデマンドバス愛称募集に関すること以外には使用しません。
- 問合せ・提出先 企画課政策班 ☎(81)1112 ファックス番号(81)1443



切り取り

中井町『オンデマンドバス』愛称応募用紙

ふりがな		
愛称名		
愛称の説明		
ふりがな	電話番号	
氏名		
住所		

■中井町ホームページによる愛称募集

中井町オンデマンドバス 愛称を募集します！

町では、平成25年1月10日から実証実験運行を開始する『オンデマンドバス』の愛称を募集します。この新しい交通システムが、呼びやすく親しみのあるものとなるような愛称を付けてください。たくさんのご応募をお待ちしています。

募集期間

平成24年11月1日(木)～平成24年11月30日(金) ※必着

→募集は終了しました。ご応募ありがとうございました。

募集内容

中井町『オンデマンドバス』の愛称

応募方法

- 【応募資格】 どなたでも応募できます。
- 【応募数】 お一人何点でも応募できます。
- 【提出方法】 下記の応募フォームに必要事項を記入してください。

↓↓↓ 愛称募集 応募フォームはこのマークをクリックしてください ↓↓↓



なお、インターネットからの応募のほか、応募用紙により、直接窓口へ持参、郵送、ファックスでも応募できます。

下記の「中井町『オンデマンドバス』愛称応募用紙」を印刷して、ご応募ください。

審査基準

- ・町内を走るオンデマンドバスにふさわしいもの
- ・呼びやすく、覚えやすい、親しみのあるもの
- ・ほかの名称や商標などに使用・類似していないもの

審査発表

愛称と採用者は、実証実験運行開始時に発表させていただくほか、町広報紙などでお知らせします。

その他

- ・採用させていただいた愛称に応募された方には記念品を進呈いたします。
(採用した愛称に複数応募があった場合は、抽選によりお一人に記念品を贈らせていただきます。)
- ・採用された愛称は、運行する車両に使用するほか、広告媒体などで広く活用します。
- ・また、愛称名の一切の著作権は中井町に帰属するものとします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、オンデマンドバス愛称募集に関すること以外には使用しません。

提出先(郵送・ファックス・直接持参の場合)

郵送先 〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪56
中井町役場 企画課政策班 あ
て

ファックス番号 0465-81-1443



■ 郵送・ファックス、持参で応募される方はこちら

☐ 中井町『オンデマンドバス』愛称 応募用紙(印刷用)
(aisyououboyoushi.pdf. 279k)

郵送、ファックス、直接窓口へ持参で応募される方は、こちらをダウンロードして印刷し、必要事項をご記入の上、ご応募ください。

■新たな公共交通システムの運行システム・サービスの検討項目

検討項目	運行システム・サービスの選択	検討のポイント
(1) 運行システム	デマンド型交通システム (区域運行型)	人口規模、面積要件、地域独立性
(2) 運行エリア	町内全域＋町外施設(4カ所)	秦野赤十字病院、ヨークマート西大竹店 西友二宮店、マックスバリュ二宮店
(3) 配車システム	IT型システム、東大オンデマンド交通システム	導入・維持管理コスト低廉、運行管理が簡単、 利用状況把握
(4) 運行方式	乗降ポイント方式(124カ所)	利便性の向上、運転者の負担軽減、タクシーとの差別化
(5) 運行日	毎日運行	主たる利用者の外出頻度、幹線システムの補完機能、連携方策
(6) 運行時間帯	午前7時から午後8時まで	買い物、通院、公共施設利用を主目的
(7) 運行ダイヤ	基本ダイヤを持たず利用者の予約に合わせて運行	コンビニクルの利点を最大限発揮、利用者が乗降場所と時間を指定
(8) 利用料金	有料	受益者負担原則、民間バス利用者との公平性、 運賃の対価として意見集約
運賃形態	ゾーン運賃	町内to町内、町内to町外による2ゾーン制
基本運賃	町内200円、町外300円	分かりやすく利用しやすいシンプルな運賃、路線バスよりも高く、タクシーより安い運賃設定
(9) 利用対象者	制限なし	4条許可による公共性、定住・交流対策など収益性・効率性を高める
利用者登録	利用者登録あり	配車作業の効率化、運行計画見直しの情報蓄積、バス、タクシーとの差別化
受付方法	電話またはインターネット	ネット環境に不慣れな方に対応するため電話予約併設
受付期間	利用予定の2週間前から当日 60分前まで	利便性と確実性の双方を考慮し予約に対応
電話受付時間	平日午前8時30分から午後5時まで	運営主体組織の開庁時間と同調
WEB受付時間	24時間365日受付	いつでも、どこからでもかんたんに予約が可能
(10) 運行車両	ワンボックス型車両	ピーク輸送人員、道路状況
(11) 車両台数	2台(プラス予備車両1台)	運行エリア、需要・採算性
(12) 待機場所	中村下児童館	運行車両の駐車スペース、運転者の休息環境、配車までの移動時間
(13) 運営主体	中井町	地域住民と協働による取組みを推進
(14) 予約受付(オペレーター)	中井町役場(企画課・町職員兼務)	利用者にとって身近で便利な存在
(15) 運行事業者	町内バス運行事業者	事業持続性、公共交通の協働経営者
(16) 愛称	中井ふれあいバス	呼びやすく親しみやすさ

6 中井町オンデマンドバス実証調査の実施

6-1 利用実績

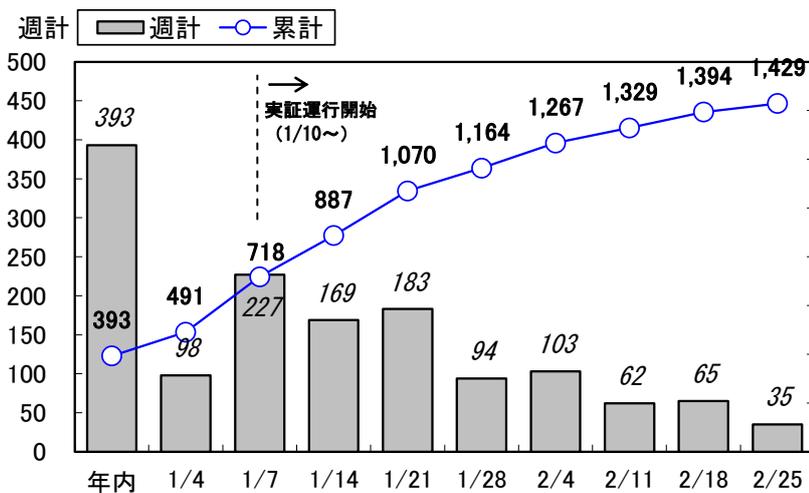
(1) 利用登録状況

中井町オンデマンドバス利用者登録数は、1,429人（539世帯・企業等）で、広報なかい（平成24年11月1日号）や平成25年1月1日号に合わせた全戸配布、及び町ホームページ等で周知を行い、1月中は加速的に増加したが、それ以降は減少傾向にある。

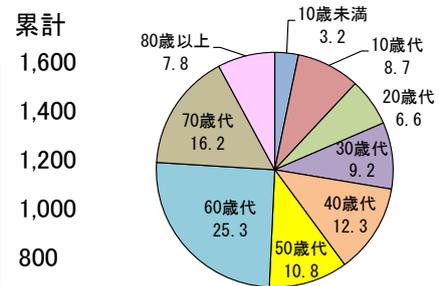
年齢層別にみると、60歳代が25.3%と最も多く、60歳以上は約5割を占めている。

地区別にみると、町内の中でも人口が多い井ノ口で35.1%と最も多い。地区別の登録世帯率は、古怒田で38.7%と最も多く、全体では13.5%となっている。

■利用登録者数の推移



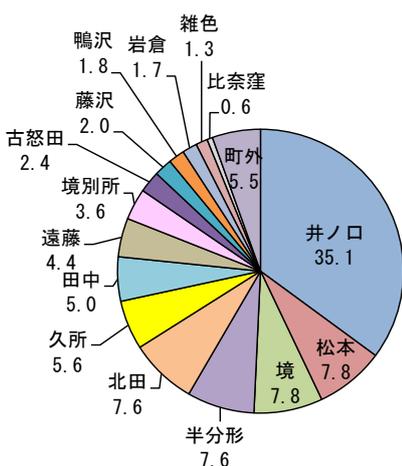
■年齢層別登録者数



■登録率（町内のみ）

年齢層	人口	登録者数	登録率
10歳未満	721	45	6.2%
10歳代	910	120	13.2%
20歳代	878	82	9.3%
30歳代	1,242	110	8.9%
40歳代	1,290	159	12.3%
50歳代	1,172	148	12.6%
60歳代	1,851	353	19.1%
70歳代	1,072	227	21.2%
80歳以上	626	107	17.1%
町内全体	9,762	1,351	13.8%

■地区別登録者数（n=1,429）



地区	件数	構成比
町内		
井ノ口	502	35.1
松本	112	7.8
境	111	7.8
半分形	109	7.6
北田	109	7.6
久所	80	5.6
田中	72	5.0
遠藤	63	4.4
境別所	51	3.6
古怒田	35	2.4
藤沢	29	2.0
鴨沢	26	1.8
岩倉	24	1.7
雑色	19	1.3
比奈窪	9	0.6
町外		
秦野市	25	1.7
平塚市	14	1.0
二宮町	10	0.7
小田原市	6	0.4
横浜市	5	0.3
大磯町	3	0.2
厚木市	2	0.1
相模原市	2	0.1
藤沢市	2	0.1
海老名市	1	0.1
茅ヶ崎市	1	0.1
県外	7	0.5
合計	1,429	100.0

※地区の判別は、登録住所により判別

※登録率の地区分母（世帯数、人口）は自治会登録数を活用

■登録率（町内のみ）

地区	世帯数	登録世帯数	登録世帯率
井ノ口	1,851	184	9.9%
遠藤	195	24	12.3%
鴨沢	51	9	17.6%
岩倉	35	9	25.7%
久所	194	34	17.5%
境	185	33	17.8%
境別所	79	19	24.1%
古怒田	31	12	38.7%
雑色	48	7	14.6%
松本	132	30	22.7%
田中	254	31	12.2%
藤沢	77	13	16.9%
半分形	155	32	20.6%
比奈窪	56	2	3.6%
北田	237	44	18.6%
町内全体	3,580	483	13.5%
	人口	登録者数	登録率
井ノ口	4,991	502	10.1%
遠藤	488	63	12.9%
鴨沢	157	26	16.6%
岩倉	129	24	18.6%
久所	496	80	16.1%
境	422	111	26.3%
境別所	260	51	19.6%
古怒田	101	35	34.7%
雑色	147	19	12.9%
松本	425	112	26.4%
田中	668	72	10.8%
藤沢	222	29	13.1%
半分形	452	109	24.1%
比奈窪	152	9	5.9%
北田	652	109	16.7%
町内全体	9,762	1,351	13.8%

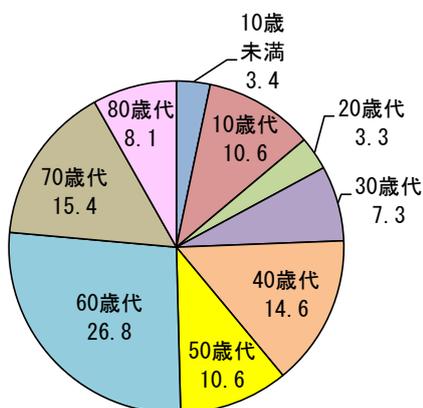
※世帯数・人口は平成25年2月末現在

③年齢層別利用者数

年齢層別利用者数（利用予約者ベース）は、60歳代が26.8%と最も多く、60歳代以上が約5割を占めている。

利用者登録者（n=1,429人）のうち、実証実験期間中にオンデマンドバスを利用した方は8.6%に当たる123人で、年齢層別にみると概ね同程度の傾向となっている。

■年齢層別利用者数（n=123）



■利用登録者の年齢層別利用割合



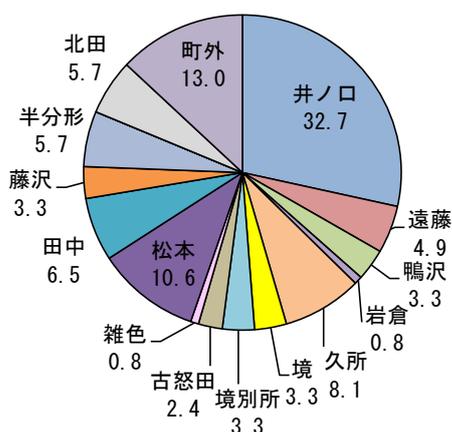
※町内利用予約者ベース（n=107）

年齢層	人口	利用者数	利用率
10歳未満	721	4	0.6%
10歳代	910	12	1.3%
20歳代	878	2	0.2%
30歳代	1,242	5	0.4%
40歳代	1,290	13	1.0%
50歳代	1,172	12	1.0%
60歳代	1,851	31	1.7%
70歳代	1,072	19	1.8%
80歳以上	626	9	1.4%
町内全体	9,762	107	1.1%

④地区別利用者数

利用者が最も多い地区（利用予約者ベース）は、利用登録者が多い井ノ口で32.7%となっている。次いで町外が13.0%と町内も合わせて2番目に多くなっている。地区ごとの人口に対する利用率は、松本で3.1%と最も高くなっている。町全体では1.1%となっている。

■地区別利用者数



(町内地区別利用率)

地区	人口	利用者数	利用率
井ノ口	4,991	35	0.7%
遠藤	488	6	1.2%
鴨沢	157	4	2.5%
岩倉	129	1	0.8%
久所	496	10	2.0%
境	422	4	0.9%
境別所	260	4	1.5%
古怒田	101	3	3.0%
雑色	147	1	0.7%
松本	425	13	3.1%
田中	668	8	1.2%
藤沢	222	4	1.8%
半分形	452	7	1.5%
比奈窪	152	0	0.0%
北田	652	7	1.1%
町内全体	9,762	107	1.1%

※地区の判別は、登録住所により判別
 ※登録率の地区分母（人口）は自治会登録数を活用

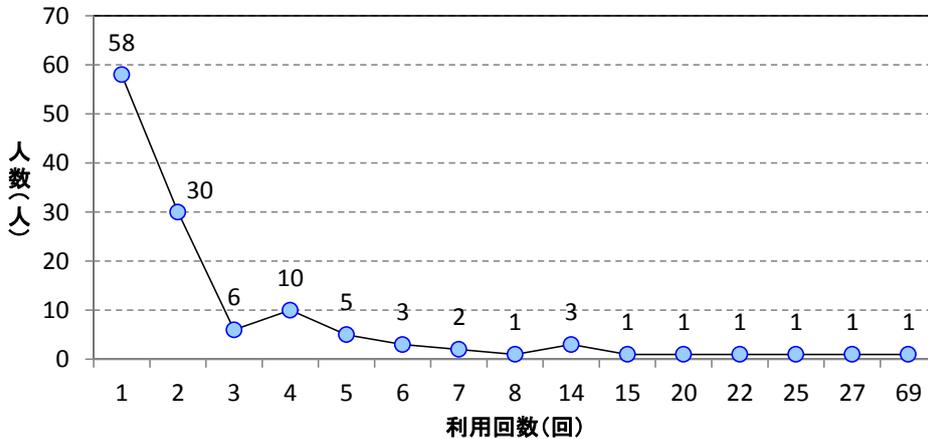
※人口は平成25年2月末現在

⑤利用頻度

平均利用頻度は3.7回で、利用頻度は1～2回の利用が大半を占めている。

利用頻度が多い方（10回以上）は全体利用者数の約5割弱を占め、路線バスのバス停から300m以遠の方が中心に利用されている。

■利用頻度分布



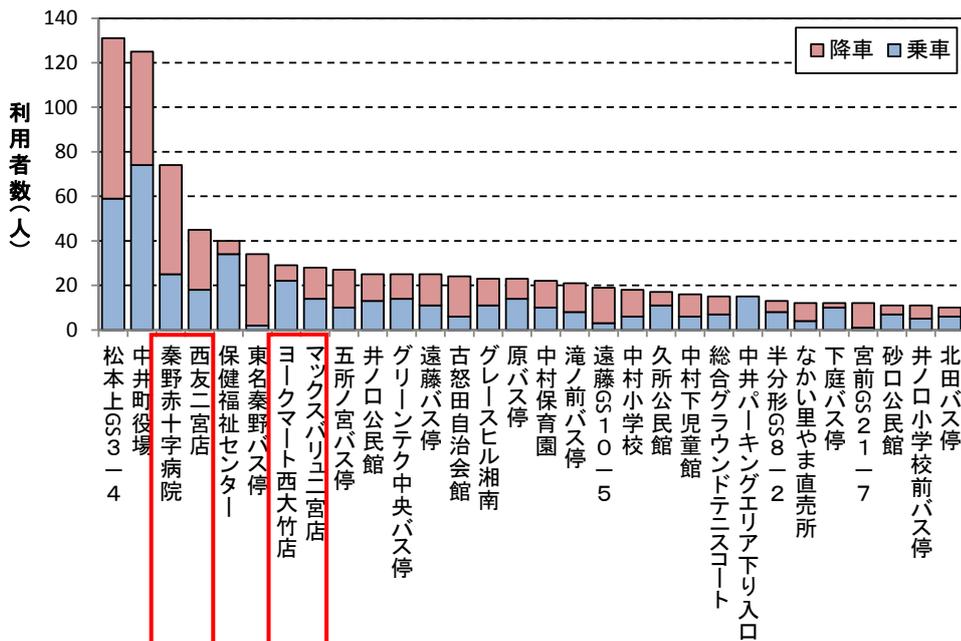
⑥乗降ポイント

最も利用が多かった乗降ポイントは、乗降番号91（松本上GS3-4）のゴミ収集所で、路線バスが運行されていない方の利用が最も多く、次いで中井町役場、秦野赤十字病院、西友二宮店の順となっており、利用の多い乗降場所上位10カ所のうち、町外ポイント4カ所が全て入っている。

各乗降ポイントでの乗降者数をみると、中井町役場で降車51回に対して乗車が74回、秦野赤十字病院で乗車25回に対して降車49回と、乗車数と降車数で偏りが見受けられ、片道のみでの利用が多いことがうかがえる。

■利用の多い乗降場所（上位30位）

□：町外乗降ポイントを示す



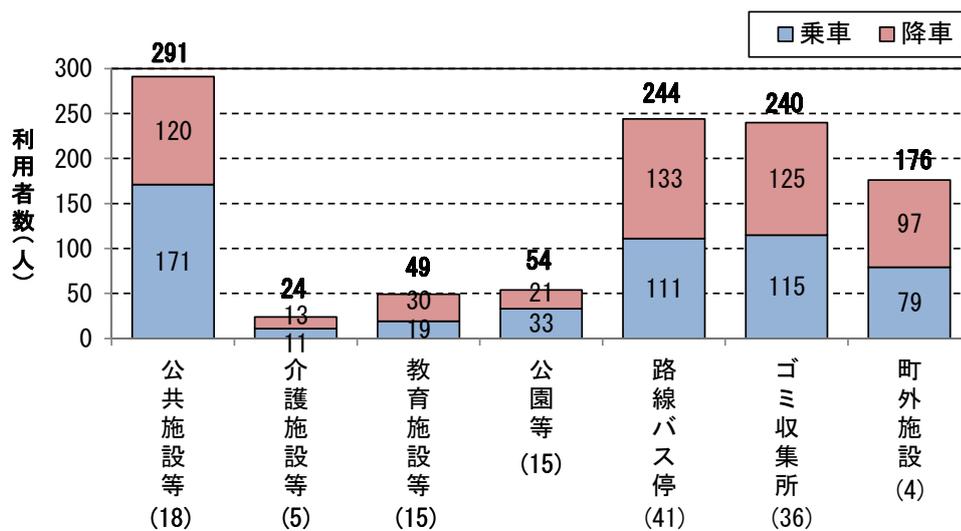
番号	乗降場所	乗車	降車	合計
91	松本上GS3-4	59	72	131
1	中井町役場	74	51	125
121	秦野赤十字病院	25	49	74
124	西友二宮店	18	27	45
2	保健福祉センター	34	6	40
44	東名秦野バス停	2	32	34
122	ヨークマート西大竹店	22	7	29
123	マックスバリュ二宮店	14	14	28
81	五所ノ宮バス停	10	17	27
3	井ノ口公民館	13	12	25
58	グリーンテック中央バス停	14	11	25
84	遠藤バス停	11	14	25
11	古怒田自治会館	6	18	24
19	グレースヒル湘南	11	12	23
46	原バス停	14	9	23
26	中村保育園	10	12	22
82	滝ノ前バス停	8	13	21
98	遠藤GS10-5	3	16	19
24	中村小学校	6	12	18
14	久所公民館	11	6	17
7	中村下児童館	6	10	16
31	総合グラウンドテニスコート	7	8	15
34	中井パーキングエリア下り入口	15	0	15
95	半分形GS8-2	8	5	13
30	なかい里やま直売所	4	8	12
78	下庭バス停	10	2	12
110	宮前GS21-7	1	11	12
16	砂口公民館	7	4	11
48	井ノ口小学校前バス停	5	6	11
83	北田バス停	6	4	10

⑦カテゴリー別乗降ポイント

カテゴリー別利用者数は公共施設等、路線バス停、ゴミ収集所及び町外施設で多くなっている。

路線バス停で乗降された方のうち、路線バス停から路線バスへ移動された方は 25 人で約 1 割を占め、路線バスが運行しているバス停間を利用された方は 2 人（藤沢バス停→東名秦野バス停、水無窪バス停→藤沢バス停）のみで全体利用者数の 0.4%となっている。バス停間を利用された方の路線バスは概ね 1 時間に 1 本程度運行されているが、路線バスが運行されていない時間帯で利用されている。

■カテゴリー別乗降ポイントの利用状況 () は施設箇所数



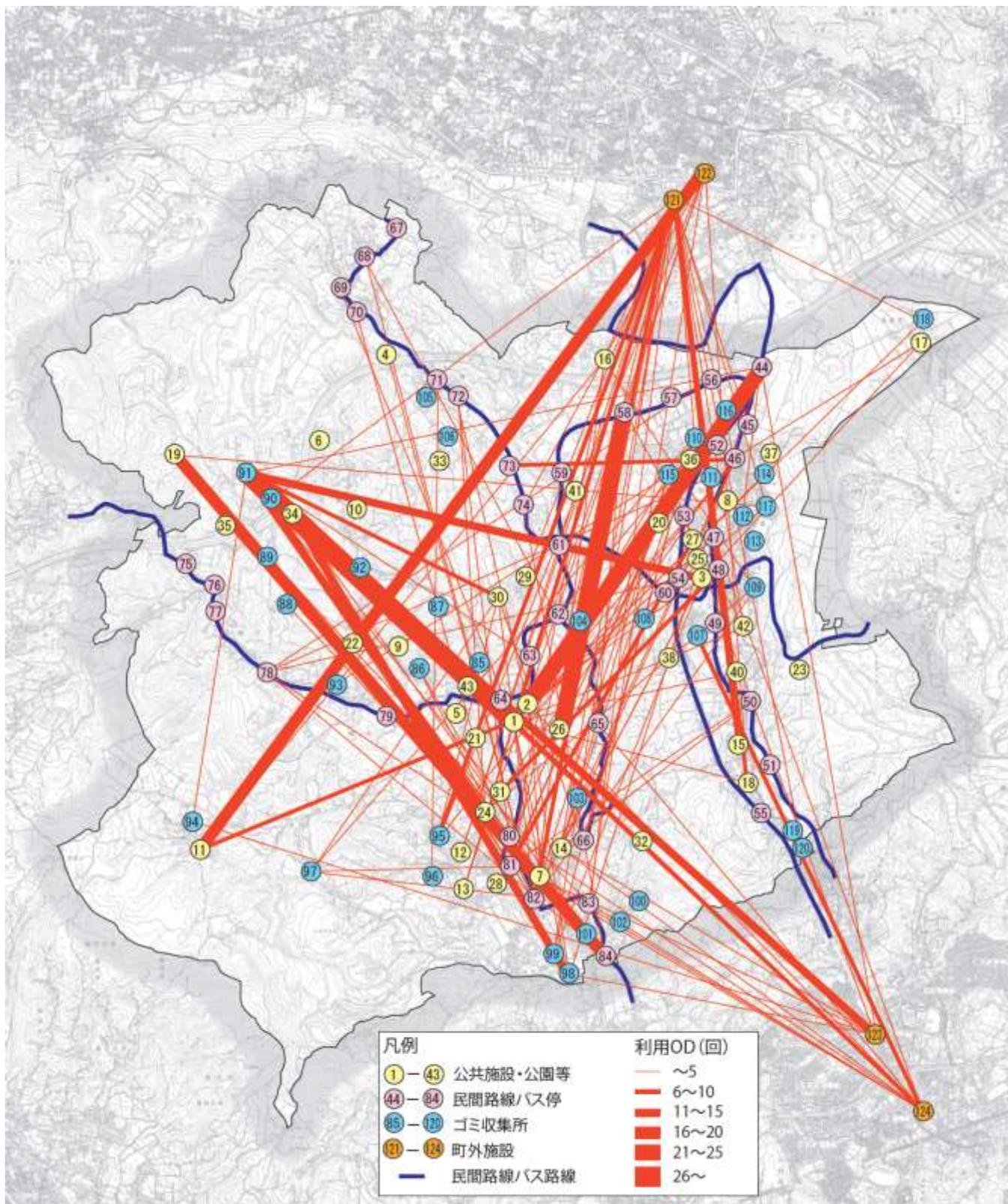
※路線バス停→路線バス停利用状況

	乗車番号	乗車場所名	降車番号	降車場所名	人数
民間バス 系統有	62	藤沢バス停	44	東名秦野バス停	1
	68	水無窪バス停	62	藤沢バス停	1
民間バス 系統無	46	原バス停	73	大塚バス停	5
	46	原バス停	81	五所ノ宮バス停	3
	50	下井ノロバス停	81	五所ノ宮バス停	2
	56	グリーンテク東バス停	78	下庭バス停	1
	68	水無窪バス停	82	滝ノ前バス停	1
	70	本境バス停	81	五所ノ宮バス停	1
	72	原下バス停	81	五所ノ宮バス停	1
	73	大塚バス停	76	柄沢口バス停	4
	74	中井やまゆり園前バス停	84	遠藤バス停	1
	74	中井やまゆり園前バス停	48	井ノ口小学校前バス停	1
	78	下庭バス停	56	グリーンテク東バス停	2
	84	遠藤バス停	78	下庭バス停	1

⑧利用OD

利用ODは、乗降番号 91⇔1（中井町役場）、乗降番号 11⇔122（ヨークマート西大竹店）、乗降番号 44（東名秦野バス停）⇔2（保健福祉センター）など特定の区間で利用が多く、特に町外施設4か所へは町内の各乗降ポイントから利用が集中している。

■利用OD



※OD：OはOrigin（出発地）DはDestination（目的地）を表し、ODデータとは発地と着地の組み合わせごとの利用者数を表すデータを示す。

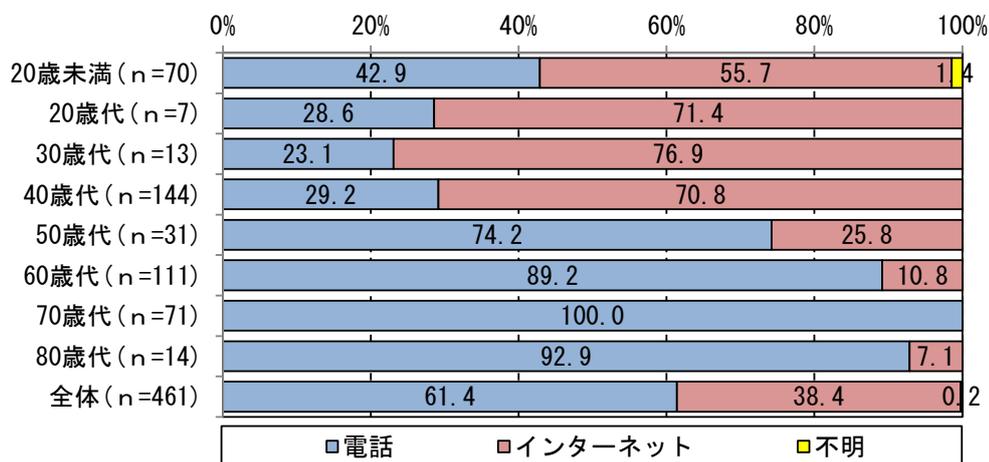
(3) 予約状況

総検索数は1,530件、総予約数は596件となっている。

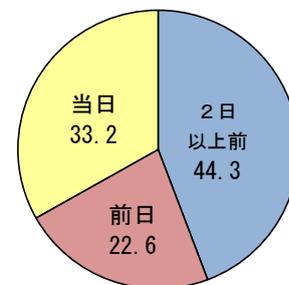
予約方法は、電話予約が約6割、インターネット予約が約4割となっている。年齢層別にみると40歳代未満はインターネットが多く、50歳代以上は電話予約が多くなっている。

予約時期は2日以上前が44.3%、当日が33.2%、前日が22.6%となっている。

■年齢層別予約方法（利用予約者ベース）



■予約時期



※利用予約者ベース
(n=461)

6-2 利用登録者アンケート調査

「中井ふれあいバス」の利用登録者を対象に、利用状況や利用しなかった理由、中井ふれあいバスサービスの満足度、改善が必要なサービス等を把握し、今後の運行に反映させるためアンケート調査を行った。

○調査対象者：利用登録者全員（平成25年2月8日現在）※世帯代表者に配布

○調査方法：郵送配布、郵送回収

○調査期間：平成25年2月下旬～3月上旬

○回収状況：配布数1,085票、回収数487票（回収率：44.9%）

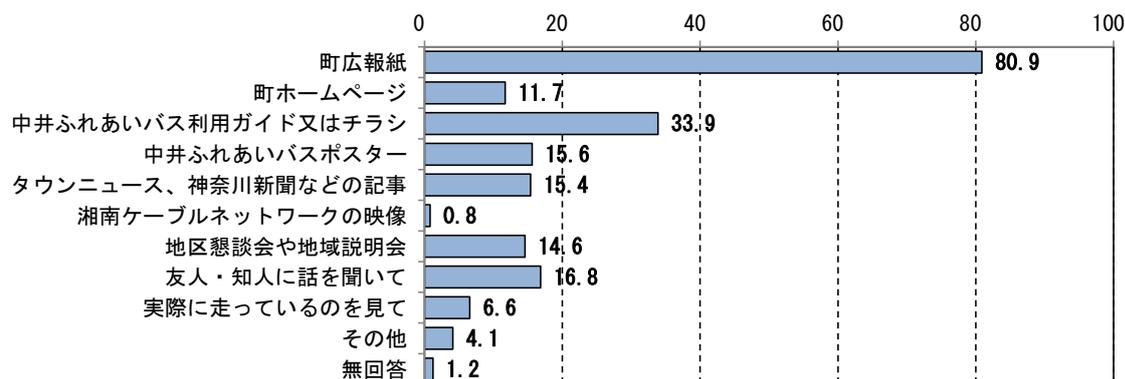
※1世帯当り最多3調査票を同封

(1) 認知した情報媒体と利用登録をした理由

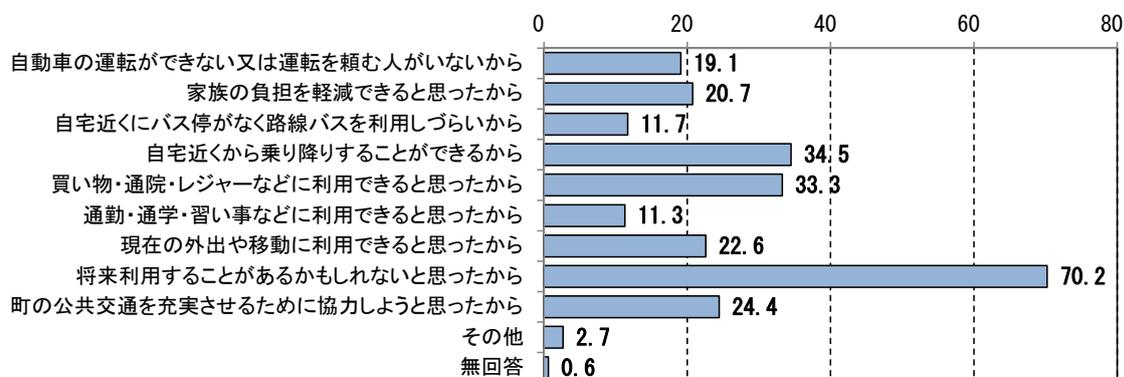
中井ふれあいバスを知った情報媒体は、「町広報紙」が80.9%と最も多く、次いで「中井ふれあいバス利用ガイド又はチラシ」が33.9%となっている。

利用登録した理由は、「将来利用することがあるかもしれないと思ったから」が70.2%と特に多く、次いで「自宅近くから乗り降りすることができるから」（34.5%）、「買い物・通院・レジャーなどに利用できると思ったから」（33.3%）となっている。

■認知した情報媒体



■利用登録をした理由

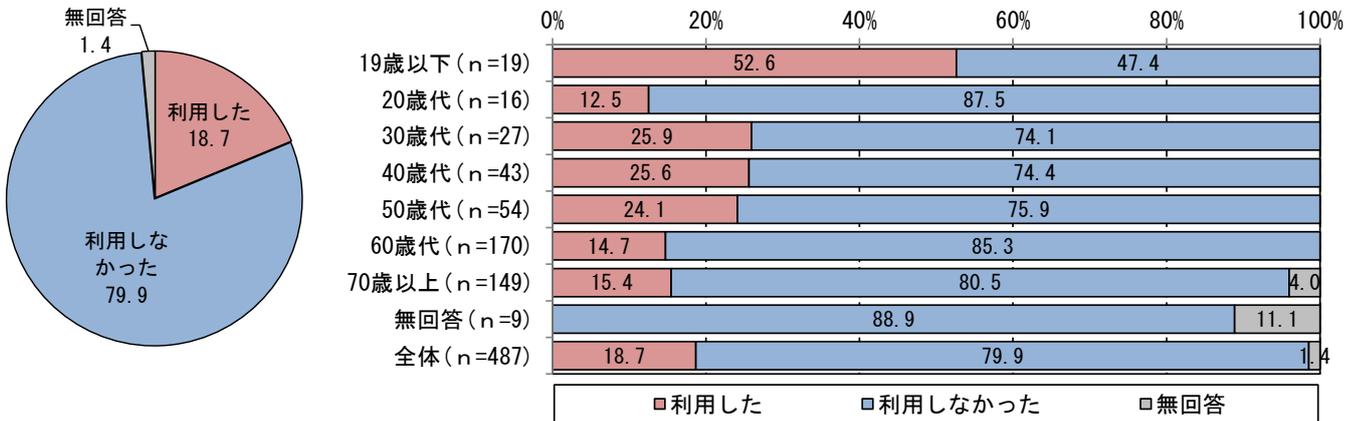


(2) 実証実験期間中の利用状況

①利用有無

アンケート回答者の中井ふれあいバスの利用有無は、「利用した」が18.7%であり、「利用しなかった」割合が8割程度を占めており、年齢別では「利用した」と回答した方は19歳以下や30～50歳代で平均より高くなっている。

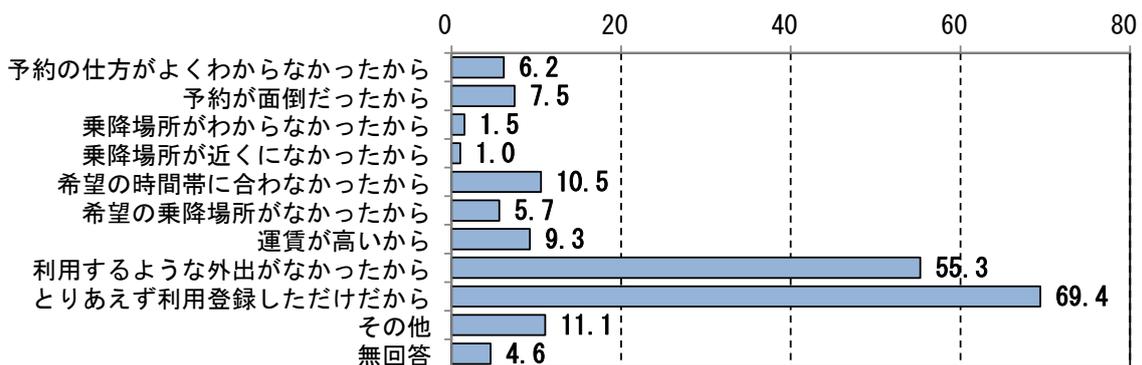
■中井ふれあいバスの利用有無



②利用しなかった理由

利用しなかった理由は、「とりあえず利用登録しただけだから (69.4%)」と「利用するような外出がなかったから (55.3%)」が顕著に多く、「希望の時間帯に合わなかったから」「運賃が高いから」と回答した方も1割程度占めている。また、「予約の仕方がよくわからなかったから」と回答した方も6.2%を占めている。

■利用しなかった理由 (利用しなかった方 (n=389) のみ)

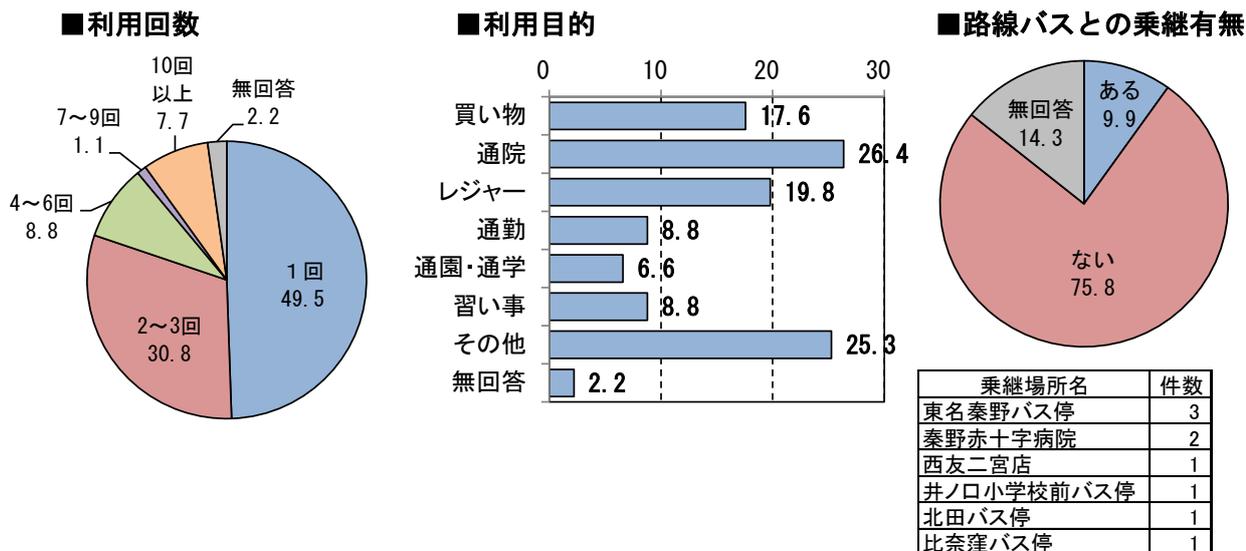


③利用状況（利用した方（n=91）のみ）

中井ふれあいバスを利用した方について、利用回数は1回が半数程度と最も多く、次いで2～3回が30.8%となっており、10回以上利用した方も7.7%いる。

利用目的は、通院が26.4%と最も多く、次いで、その他、レジャーとなっている。その他の内容は、飲み会、パーティー、懇親会、新年会、今後の為、子どもの習い事に利用できるか確認、日赤病院退院、グレースヒル面会、学校行事、路線バス乗継、趣味、町内施設利用となっている。

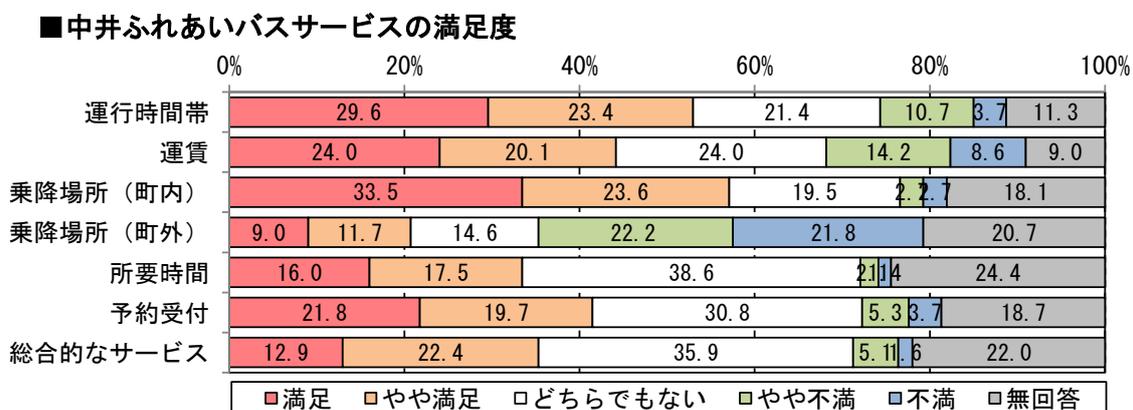
路線バスとの乗継有無については、乗継したことがある割合は9.9%で、その場所は、東名秦野バス停3件、秦野赤十字病院2件となっている。



(3) 中井ふれあいバスサービスの満足度と改善点

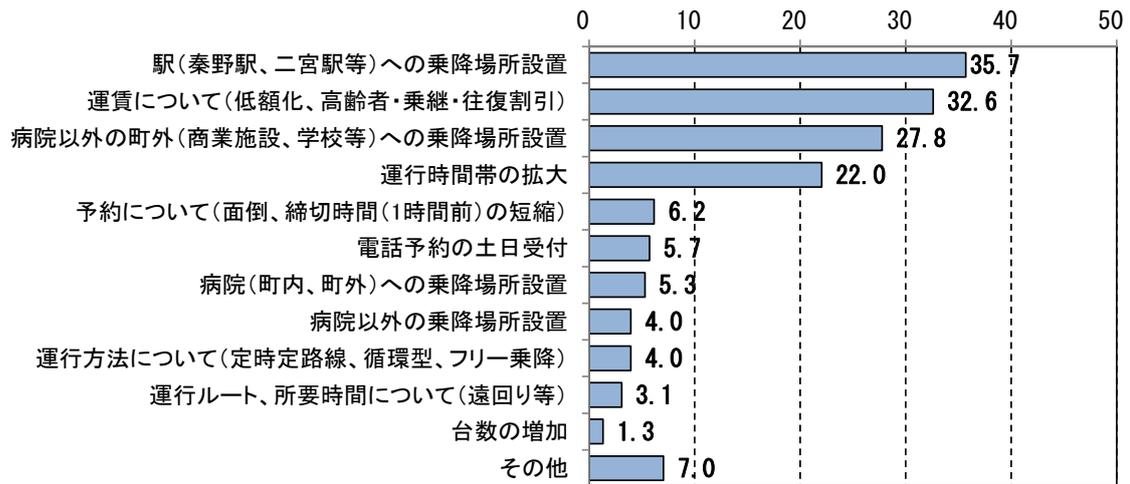
中井ふれあいバスサービスに対する満足度は、総合的なサービスとして満足と回答した方は35.3%に対し、不満と回答した方は6.7%と満足度が高い割合となっている。「乗降場所（町内）」と「運行時間帯」において満足した方の割合が50%以上と高く、「乗降場所（町外）」において不満と回答した方の割合が43.2%と満足した方の割合を上回っている。

満足度で、「やや不満」「不満」と回答した方で具体的な改善方法については、駅（秦野駅、二宮駅等）や商業施設など町外施設への乗降場所設置に関する回答が最も多く、次に運賃の低額化や割引、運行時間帯の拡大などの回答が多くなっている。



■改善点（やや不満、不満と回答した方）

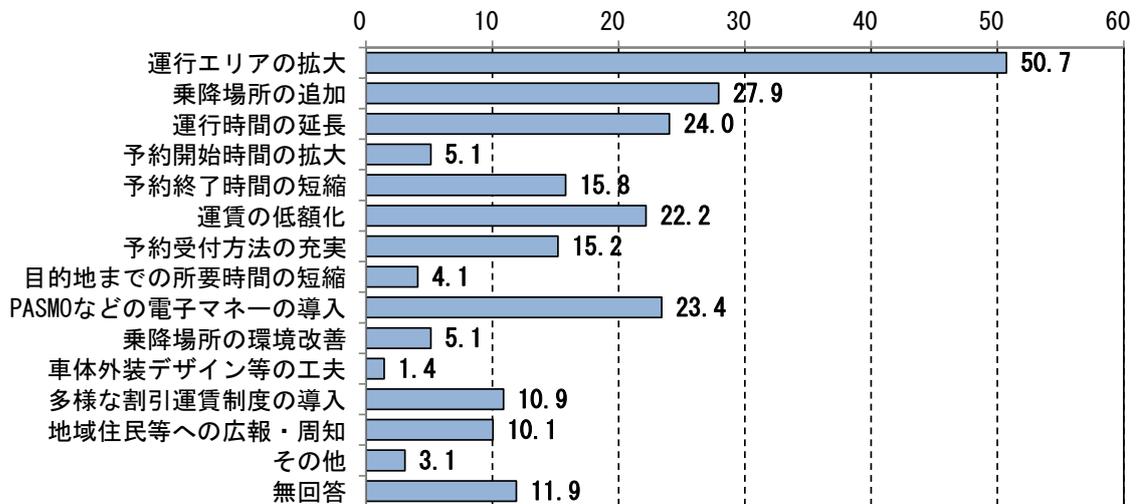
(n=227)



(4) もっと使いやすくするために必要なサービス

もっと使いやすくなるために必要なサービスは、「運行エリアの拡大」が 50.7%と特に多く、次いで、「乗降場所の追加 (27.9%)」、「運行時間の延長 (24.0%)」、「PASMO などの電子マネーの導入 (23.4%)」、「運賃の低額化 (22.2%)」の順となっている。

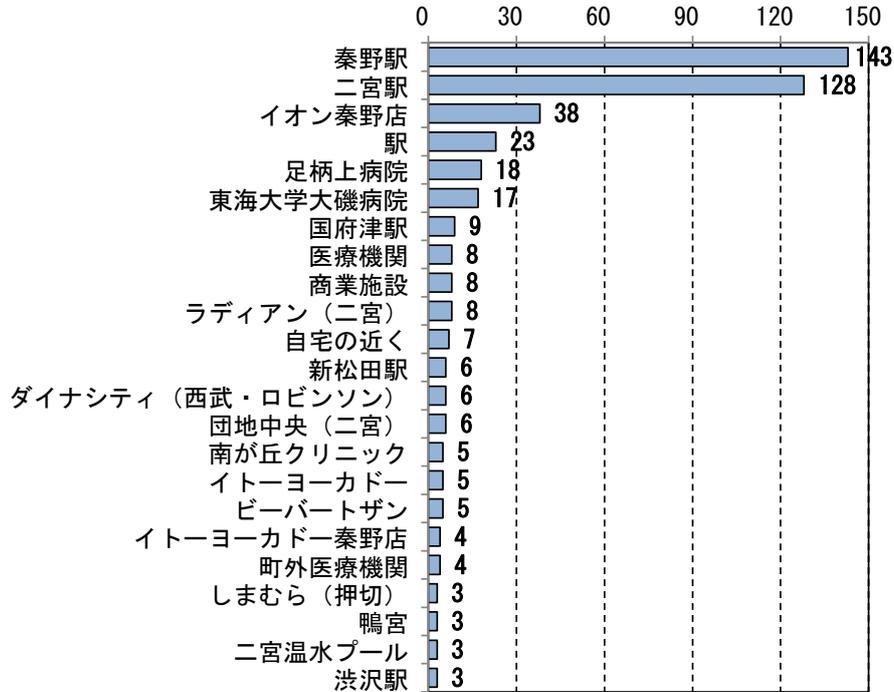
■もっと使いやすくなるために必要なサービス



(5) 他にあれば便利だと思う乗降場所

他にあれば便利だと思う乗降場所は、秦野駅や二宮駅といった鉄道駅が多く、次いでイオン秦野店や足柄上病院、東海大学大磯病院など町外の商業施設・医療機関が多くなっている。町内では、「自宅の近く」や（現在乗降場所になっていない）最寄りの路線バス停やゴミ収集所などが挙げられている。

■他にあれば便利だと思う乗降場所（1～3番目の合算）



場所	1番目	2番目	3番目	合計	場所	1番目	2番目	3番目	合計
秦野駅	113	25	5	143	平塚駅	1			1
二宮駅	67	48	13	128	松田警察署	1			1
イオン秦野店	14	13	11	38	橋団地バス停	1			1
駅	18	4	1	23	高尾バス停	1			1
足柄上病院	7	10	1	18	橋バス停	1			1
東海大学大磯病院	10	5	2	17	五分二ごみ置場近く	1			1
国府津駅	5	2	2	9	清岩寺入口	1			1
医療機関	3	3	2	8	お寺	1			1
商業施設	2		6	8	近隣の保養施設	1			1
ラディアン（二宮）	5	1	2	8	20と59の間	1			1
自宅の近く	4		3	7	藤沢	1			1
新松田駅	1	2	3	6	緑が丘住宅地内	1			1
ダイナシティ（西武・ロビンソン）	1	2	3	6	大磯方面	1			1
団地中央（二宮）	1	2	3	6	町外	1			1
南が丘クリニック	4		1	5	安全に待つ事の出来る所	1			1
イトーヨーカドー	3	1	1	5	上大井駅		1		1
ビーバートザン	1	4		5	伊勢原東海大病院		1		1
イトーヨーカドー秦野店	3		1	4	ピースハウス		1		1
町外医療機関	1	3		4	シオン診療所		1		1
しまむら（押切）	2		1	3	あしがらいこいの村		1		1
鴨宮	1	1	1	3	ハローワーク松田		1		1
二宮温水プール		3		3	エスポット		1		1
渋沢駅		2	1	3	カインズホーム		1		1
山近記念総合病院	2			2	旧イトーヨーカドー	2	1		3
南が丘センター	2			2	整形外科		1		1
加藤歯科クリニック	2			2	総合グラウンド		1		1
平石整形外科	2			2	大井町や松田町のバスのないところ		1		1
じばさんず	2			2	二宮町の医療機関		1		1
雑色トンネル付近	2			2	ふれあいの森			1	1
梅の木バス停	2			2	伊勢原東海大学病院			1	1
相鉄ローゼン	1		1	2	たごさん公園（秦野）			1	1
松田駅		2		2	行政が相互利用している町外施設			1	1
松田方面		2		2	高尾バス停			1	1
松田町図書館		2		2	秦野D2			1	1
シティーモール（鴨宮）		2		2	秦野運動公園			1	1
りゅう医院		2		2	秦野市立図書館			1	1
ユータカラヤ（二宮）		1	1	2	中央公園			1	1
合計					合計	296	155	74	525

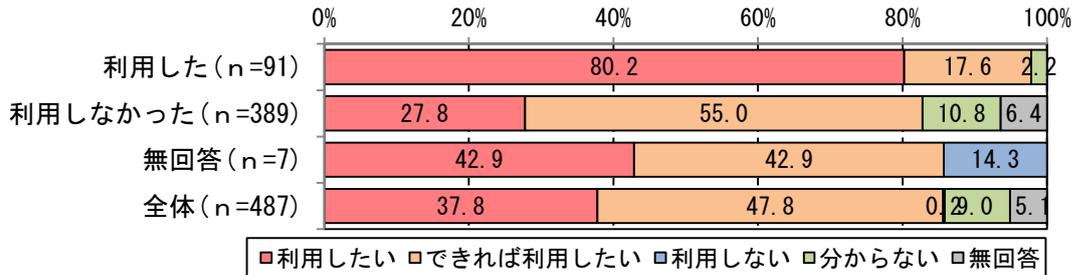
(6) 今後の利用意向

今後の利用意向は、全体で 85.6%が「利用したい」「できれば利用したい」と高い利用意向を示しており、その割合は今回利用したことのある人の方が、利用しなかった人に比べ高くなっている。

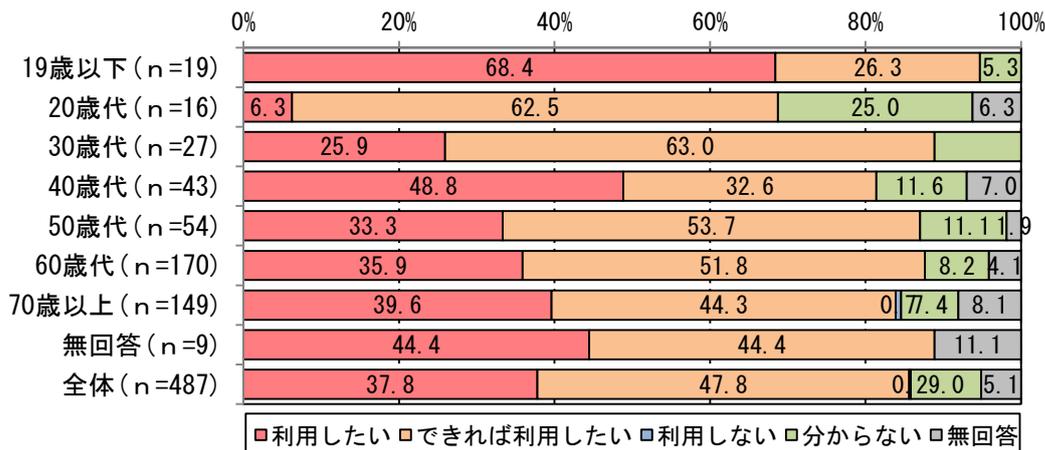
年齢別にみると、各年代で高い利用意向で、「利用したい」と回答した方は 19 歳以下や 40 歳代、70 歳以上で高くなっている。

職業別にみると、「利用したい」と回答した方は学生、パートアルバイト、無職で高く、会社員・公務員は 26.6%とやや低くなっている。

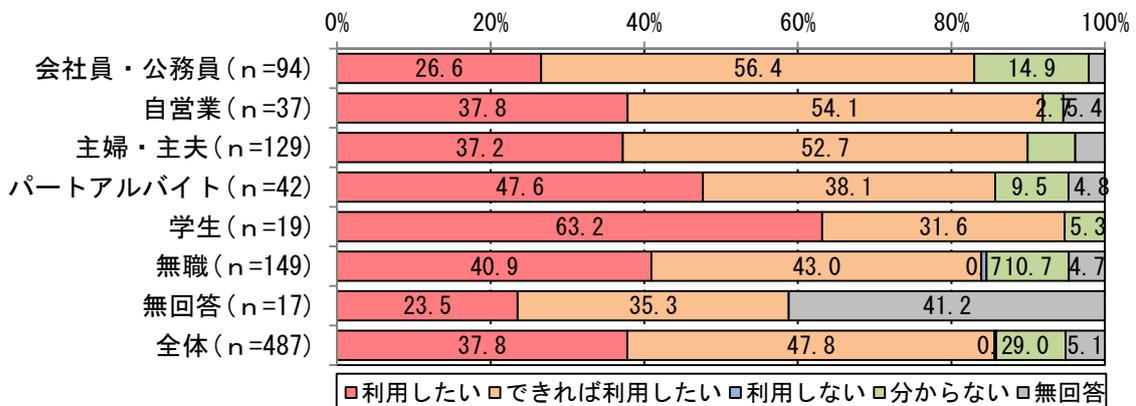
■利用有無別今後の利用意向



■年齢別今後の利用意向



■職業別今後の利用意向



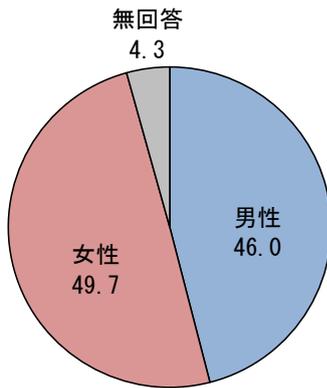
(7) 回答者の属性

回答者の属性としては、男女ほぼ同数で、年齢は60歳以上から多くの回答を得られた。

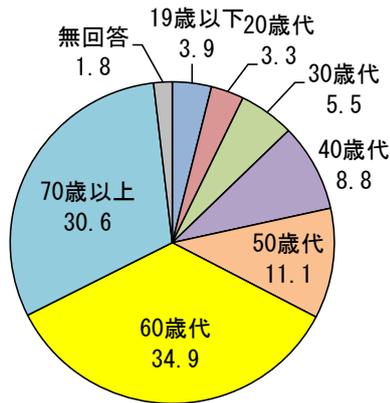
職業は、無職が30.6%と最も多く、次いで主婦・主夫が26.5%、会社員・公務員が19.3%となっている。

住まいは、町内では北田、宮原、松本上が多くなっている。町外は、秦野市や二宮町、小田原市、平塚市と近隣市町が多くなっている。

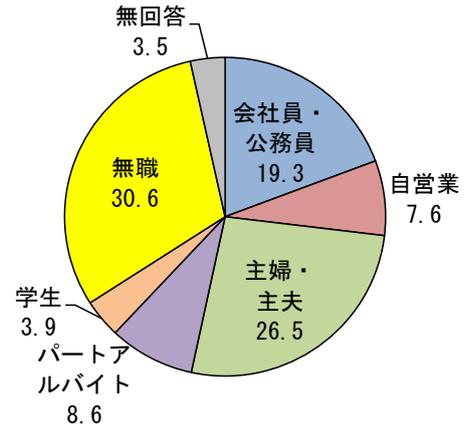
■性別



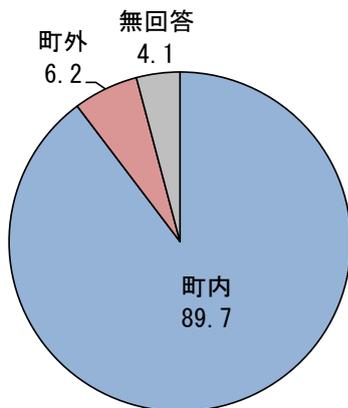
■年齢



■職業



■住まい



■住まいの内訳

	町内				町外			
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
比奈窪	1	0.2	境原	21	4.8	秦野市	9	30.0
松本下	9	2.1	本境	10	2.3	二宮町	6	20.0
松本上	26	5.9	境別所	20	4.6	小田原市	4	13.3
岩倉	5	1.1	下井ノ口	12	2.7	平塚市	2	6.7
雑色	6	1.4	北窪	18	4.1	その他	9	30.0
鴨沢	14	3.2	宮向	24	5.5	合計	30	100.0
古怒田	18	4.1	宮前	15	3.4			
半分形	19	4.3	宮上	21	4.8			
大久保	19	4.3	宮原	27	6.2			
遠藤	24	5.5	葛川	10	2.3			
五所宮	20	4.6	砂口	11	2.5			
北田	27	6.2	遠藤原	12	2.7			
久所	22	5.0	五分一	12	2.7			
藤沢	14	3.2	合計	437	100.0			

(参考) 広報なかい (平成 25 年 3 月 1 日号)

オンデマンドバス 地域の公共交通を考える⑤



中井ふれあいバス 利用者インタビュー

1月10日(木)に実証運行を開始した町の新しい公共交通「中井ふれあいバス」。約2カ月の間で実際に利用した方の生の声をお届けします。

問合せ 企画課 政策班 番(81)1112

早野 美里 さん (中村上地区在住)

オンデマンドバスを高校への通学に利用しています。路線バスのバス停から遠いところに住んでいるので、今まではお母さんに送迎してもらっていましたが、オンデマンドバスを使えるようになって、お母さんも「助かっている」と言っています。

授業が終わってすぐの時間に予約がとれないことがあるので、**予約がとりやすくなる**といいと思います。高校のそばにバス停ができたうれしいです。



通学に利用



地域に利用

田中 広子 さん (中村上地区在住)

日本舞踊とカラオケのお稽古をしています。車の運転ができないので、オンデマンドバスが始まるまでは、家族に送迎を頼っていました。オンデマンドバスはお稽古ごとの行き帰りに利用しています。交通が不便な地域に住んでいるので、このバスができて本当に便利です。自宅のすぐそばまで来てくれるので、とても助かっています。ずっと続けてほしいです。一人で乗ることが多いので、もったいないなと思っています。

薬野駅や二宮駅にバスが行ってくればもっといいのと思っています。

清水 真由美 さん (井ノ口下地区在住)

目が悪くなって車の運転が心配なので、通院にオンデマンドバスを利用しています。自宅からバス停が近いので便利ですし、安全に送迎してもらえるので、このバスが始まってよかったです。

病院からの帰りの時間は分からないので、**予約できる時間が使いたい時間の1時間前までではなく、30分前になるともっと使いやすくなる**と思います。できれば薬野駅や二宮駅にも行ってほしいです。お年寄りの割引もあれば、お年寄りの外出も増えると思います。



通院に利用



習いごとに利用

酒井 規夫 さん (中村下地区在住)

サッカーを習っていて、送迎バスの集合場所までオンデマンドバスを利用しています。オンデマンドバスができるまでは、自転車で行っていましたが、暗いし帰りは疲れるので、バスができてよかったです。オンデマンドバスは乗りやすいし、目的地もいろいろあっていいと思います。バスの中で、ビデオが見られると楽しいと思います。

(お母さんの声) 自転車で行かせるのは少し心配だったので、バスが利用できてよかったです。駅や薬野赤十字病院以外の町外の医療機関にもバス停ができるといいと思います。部活動のことを考えると、**もっと朝早い時間や夜遅い時間にも運行してもらえるといいです。**

滝沢 君枝 さん (中村下地区在住)

オンデマンドバスは、町内の職場からの帰りに利用しています。オンデマンドバスが始まるまでは、車の運転ができないので、職場までは家族に送ってもらって、帰りは40分歩いて路線バスのバス停に行き、路線バスに乗っていました。オンデマンドバスの乗降場所が職場の近くでできたので、早く帰ることができるようになりました。

コンビニエンスストアの近くや、薬野駅・洗沢駅にも乗降場所ができるといいと思います。予約はできれば1カ月分とれるといいです。



運動に利用

6-3 実証運行に対する評価・検証

平成 25 年 1 月 10 日から 2 月 28 日まで実施した中井町オンデマンドバスの実証運行について、利用実績や利用登録者アンケート調査等を踏まえ、次のように評価・検証する。

① 想定していた需要（約 40 人/日）との乖離

1 日あたり利用者数は町民アンケート調査による日常の外出頻度やオンデマンドバスが導入された場合の利用意向等をベースに概ね 40 人/日と想定したが、利用実績は 10.6 人/日と大きく想定需要と乖離している状況である。

その要因としては、日常の交通行動の不便さについて「大いに感じる」「ある程度感じる」と回答した 52%の人のうち、不便と感じる場所として「駅」と 78%の人が回答しているものの、具体的な方策が示せなかったことや、利用意向で「利用したいと思う」と回答した方が 45.5%に対し、実際は利用登録をした方のうち、「利用した」方は 8.6%となっていること、また、買物・通院等の外出頻度に対して実際は 1～2 回程度しか利用されなかったこと、さらには希望する時間帯や乗降場所（町外）と合わなかったこと等が考えられる。

② 特定の利用者だけでなく、複数の方々に利用して頂くことが必要

利用目的は想定していた買物、通院、公共施設等と合致していたが利用回数は 1～2 回の利用が大半を占め、お試し程度の利用に留まり日常の足として定着するまでに至らなかった。

持続可能な交通システムとするためには特定の利用者だけでなく、より多くの利用者によって支えることが必要であるため、利用者ニーズを踏まえた運行サービスの提供が求められる。

③ 利用者数を増やすための周知 PR の充実

利用登録者数は 1,429 人で、町の総人口と比して約 14%にまで達したが、実際に利用した人は 2 割弱と少なく、「将来利用することがあるかもしれないと思ったから」という理由で登録されている方が 7 割を占めている。

持続可能な交通システムとして将来利用するためにも、みんなで創り、守り、育てていく主体者の一員であるという意識を町民・利用者に根付かせ、日常生活行動の一部に公共交通利用を取り込むための工夫・提案を様々な情報媒体を活用して継続的に行っていくことが必要である。

④ 運行サービスの改善・見直し

運行サービスについては、特に次の点について改善・見直しが必要である。

○運行エリア及び乗降場所…利用登録者アンケート調査において、サービスに対する満足度は乗降場所（町外）で不満と回答された方が多く、必要なサービスとして運行エリアの拡大や乗降場所の追加に対する回答が多いため、周辺市町と連携しつつ民間バス路線の運行状況等を踏まえながら改善・見直しが必要である。

○運行日…利用者数において、平日 13.3 人/日に対し休日 4.6 人/日で、特に日・祝日は 3.4 人/日と少なく、休日運行について改善・見直し（予約方法含む）が必要である。

⑤ 予約受付日、時間帯、予約方法等に対する改善・見直し

約 5 割の利用者が 60 歳以上で占めるなか、年齢層別の予約方法をみると 60 歳以上は 9 割以上が電話予約となっている。インターネット予約は 24 時間予約可能となっているが、電話予約は平日のみで、休日の利用が少ない要因とも考えられるため、予約受付日・時間帯、予約方法、受付時間（60 分前まで）に対する改善・見直しが必要である。

7 目標を達成するために行う事業及び実施主体

7-1 事業メニュー

前項で設定した基本方針の実現に向けて、中井町においては次の事業を実施する。

【生活交通に関する基本方針】

- ①高齢者等交通弱者に対する移動手段の確保
- ②新たな公共交通システムの導入による町全体の公共交通の充実
- ③民間バス路線の利便性向上と新たな公共交通システムとの連携強化
- ④「みんなで創り、守り、育てる」地域公共交通の実現

【事業展開メニュー】

事業1：中井町オンデマンドバスの実証運行及び検証

事業2：中井町オンデマンドバスの利用促進方策及び収入確保策の検討

- 継続的な地域住民等への広報・周知
- 車体の外装デザイン等の工夫
- 多様な割引運賃制度の導入検討
- オンデマンドバスと路線バスが一体となった公共交通マップの作成・配布
- 地元企業等のホームページへの掲載
- 運賃収入以外の収入確保策の検討

事業3：民間バス路線・オンデマンドバス等の公共交通機関相互が連携するための環境整備

- 乗継拠点の整備（ベンチ・上屋、駐輪・駐車場の設置等）
- 乗継運賃割引の導入検討

事業4：モビリティ・マネジメントの実施

- 企業と連携したエコ通勤の推進

事業5：公共交通対策の充実

- 福祉有償運送サービスとの連携方策の検討
- 不採算路線の今後のあり方検討
- バスターミナル等の整備のあり方検討
- 地域連携方策の検討

【町全体の公共交通網の基本的な考え方】

幹線システム、支線システムとの機能分類による階層的なネットワークの形成を目指す

幹線システム	路線バス（神奈川中央交通(株)、(株)湘南神奈交バス）
支線システム	新たな公共交通システム
乗継拠点	町役場周辺（比奈窪バスターミナル）、井ノ口公民館、五所宮周辺

7-2 実施すべき事業

【事業1】中井町オンデマンドバスの実証運行及び検証【中井町、バス事業者、町民】

平成25年1月10日から2月28日まで実証実験を行った中井町オンデマンドバスについて、平成25年度以降も引き続き実証運行を実施する。

実証運行中は、利用実績（登録者、利用者の推移、利用の多い乗降ポイント等）や利用者登録者へのアンケート調査、地区懇談会等による利用意向等を把握した上で、評価・検証し、適時運行サービスの見直しを行っていく。

なお、当面は平成24年度に実施した実証実験での結果等を踏まえ、次の点についてバス事業者等と協議・調整を図りながら検討を行っていく。

- 利用登録者数の増加（広報等による継続的な周知等）
- 運行エリア及び乗降場所の拡大（鉄道駅への乗入、町外の商業施設・医療機関など）
- 予約受付・予約期限（予約受付日・時間帯等の見直し）
- 運行日（休日）・運行時間帯の改善・見直し

■中井町オンデマンドバスの運行概要（現行）

利用条件	利用者登録すれば誰でも利用可能（但し、ご自身で乗降可能な方に限定）
運行地域	町内全域（乗降ポイント120箇所） 町外4箇所（秦野赤十字病院、ヨークマート西大竹店、マックスバリュ二宮店、西友二宮店）
運行日	毎日運行
時間帯	午前7時から午後8時まで
利用料金	大人（12歳以上）……………町内200円/町外300円 小人（6歳～12歳未満）…町内100円/町外150円 ※未就学児は2人まで無料（保護者同伴）
予約受付	電話予約……………午前8時30分から午後5時（土日祝日と年末年始は休み） インターネット…24時間予約可能

【計画期間】

	H25	H26	H27	H28	H29
事業1：中井町オンデマンドバスの実証運行及び検証					

■中井町オンデマンドバスの評価・検証項目例

検証項目		評価方法
利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数、地区別登録率 ・利用者数（1日平均、曜日別、1便平均など） ・利用の多い乗降ポイント など 	システム等によるデータ収集
利用者の視点（利便性・改善点）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度（運行時間帯、運賃、予約方法（予約時間、オペレーター対応等）、乗降ポイント等） ・利用して良かった点 ・利用しなかった理由、改善点 	利用者登録者へのアンケート調査など
路線バスへの影響度の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の利用交通手段（路線バス等からの転換有無） 	利用者登録者へのアンケート調査など
運行面の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・電話予約時で改善すべき点、オペレーターへの負担度 ・運行上の問題点、利用者の声 	オペレーターヒアリング 運行事業者ヒアリング

事業2：中井町オンデマンドバスの利用促進方策及び収入確保策の検討

●事業2-1：継続的な地域住民等への広報・周知【中井町、バス事業者】

町では、広報なかいによる継続的な特集（みんなで守る、みんなで育てる公共交通）や民間の広報媒体を活用してオンデマンドバスを始め公共交通の周知を行ってきたが、実証運行期間中も利用状況等を継続的に掲載し周知を行っていく。同時に周知用チラシの鉄道駅等での配布や、新聞折り込み等についても検討する。

さらに、美・緑なかいフェスティバル（中井中央公園）の開催時に「(仮称) 公共交通利用促進ブース」を設置するなど、中井町オンデマンドバスの周知や利用者登録の推奨、車両展示等を行い、普及啓発に努める。



【事例】富士宮市・のりもの祭でのイベント等の開催

富士宮市では、産業フェア時にのりもの祭を開催し、車両展示や、写真入りカレンダーの作製、公共交通にちなんだクイズ（宮バスの回数券などを景品）、スタンプラリー等を実施。



●事業2-2：車体の外装デザイン等の工夫【中井町、バス事業者】

車体の外装デザインについては、見た人が好奇心をいだき、乗ってみたいと思わせ、オンデマンドバスが走る広告となって遠くから見ても容易に識別できるような車体の外装デザイン等についても工夫・検討をする。



【事例】車体外装デザインの工夫



▲瀬戸内市デマンドバス（地元高等学校美術部の学生によるデザイン）



▲有田市デマンドバス（子供にも人気のデザイン）



▲ニセコ町デマンドバス（町と商工会のキャラクター配置したデザイン）

●事業2-3：多様な割引運賃制度の導入検討【中井町、バス事業者】

平成25年1月10日から開始した実証実験の利用料金は、基本運賃のみで行ったが、利用登録者アンケート調査において、「PASMOなどの電子マネーの導入（23.4%）」「多様な割引運賃制度の導入（10.9%）」に対するニーズが求められている。

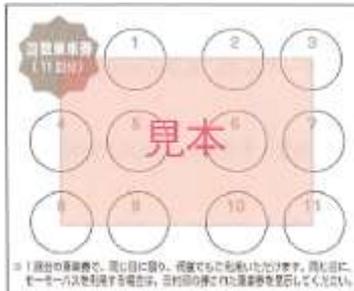
平成25年度以降の利用者実態等を踏まえ、障がい者割引、1日券やPASMO、定期乗車券（通勤・通学）、回数乗車券等の導入に向けて検討する。

【事例】瀬戸内市デマンドバス・回数券及び1日券

回数乗車券及び1日乗車券は車内、バス事業者事務所にて購入。



▲回数乗車券



▲1日乗車券

【事例】安曇野市・運転免許自主返納者へのデマンド交通回数券の交付

高齢者等の交通事故防止対策のひとつとして、自主的に運転免許のすべてを返納した場合、デマンド交通「あずみん」の乗車回数券9,000円分を交付（支援は1回限り）。



【事例】福井県あわら市・デマンド交通を利用した場合の特典

あわら市では、デマンド交通（エリア型、町内を3ブロックに分割）を利用し、特定の店舗で買物した場合の特典サービス（全商品5%割引、〇〇円以上買物した方に粗品進展、ポイント2倍進展など）を進展。



●事業2-4：オンデマンドバスと路線バスが一体となった公共交通マップの作成・配布【中井町、バス事業者】

オンデマンドバスは、町民、利用登録者に対して「利用ガイド」、「ポケットガイド」の配布により、オンデマンドバスに特化した情報提供となっている。

オンデマンドバスの利便性をより一層高めるためには、路線バスと一体となった運行情報（乗継拠点等での路線バスの運行ダイヤなど）を提供するなど、公共交通全体の利用者の底上げをすることが必要であり、オンデマンドバスと路線バスが一体となった公共交通マップの作成・配布について検討する。

●事業2-5：地元企業等のホームページへの掲載【中井町、企業等】

オンデマンドバスの利用登録者数や利用者数を増やすためには、数多くの広報媒体を通じて周知することが重要であるため、ピースハウス病院、グレースヒル湘南、県立中井やまゆり園や社会福祉協議会など、地元企業等へのホームページにオンデマンドバスの運行概要等を掲載できるよう協議を進めていく。

●事業2-6：運賃収入以外の収入確保方策の検討【中井町、バス事業者、町民等】

中井町オンデマンドバスの持続可能な運営のためには、利用者を安定的に確保するとともに、運賃以外の収入確保についても工夫していくことが必要である。車両への広告掲載や乗降場所である企業・店舗等からの協賛金やオーナー制度（ネーミングライツ）など様々な方法により安定した収入を得ることを検討する。

【事例】富士宮市（宮バス）・バス停オーナー制度及びサポーター制度

○バス停オーナー制度

富士宮市では、安定的な運賃と地域と共に公共交通を守り育てることを目的に、バス停オーナー制度を設置。市はバス停オーナーに対し、バス停への掲出や市が発行するチラシ・ポスター等への名前の掲出、ホームページへの掲載、車内放送での名称アナウンス及びPR放送を実施。協力金はバス停一基当たり年額60,000～180,000円（公益事業所は19,200～60,000円）。



4ルートで41事業者が支援。

○宮バスサポーター制度

市内の事業者や団体から、回数券の印刷やのりもの祭の際の景品提供など様々な形で協力を募り、宮バスを支える仕組みを導入（12事業者が参画）。

【計画期間】

	H25	H26	H27	H28	H29
事業2-1：継続的な地域住民等への広報・周知			継続的実施		
事業2-2：車体の外装デザイン等の工夫	協議・調整			検討・実施	
事業2-3：多様な割引運賃制度の導入検討	協議・調整	検討・実施		継続的実施	
事業2-4：オンデマンドバスと路線バスが一体となった公共交通マップの作成・配布	協議・調整	作成・配布		継続的実施	
事業2-5：地元企業等のホームページへの掲載	協議・調整			検討・実施	
事業2-6：運賃収入以外の収入確保方策の検討		協議・調整		検討・実施	

事業3：民間バス路線・オンデマンドバス等の公共交通機関相互が連携するための環境整備

●事業3-1：乗継拠点の整備【中井町、バス事業者】

民間バス路線と中井町オンデマンドバスを連絡する乗継拠点は、バス事業者と協議・調整を図りながら、ユニバーサルデザインに配慮した改善（上屋やベンチの設置など）や駐輪・駐車場の設置など、バス待ちにおける利用者の利便性・快適性の向上を図る。



▲比奈窪バスターミナル



▲井ノ口公民館



▲五所宮バス停周辺

【事例】ハイグレードバス停（広告掲載や路線バス運行情報等）



▲福岡市・天神中央郵便局前



▲横浜市・本町4丁目



▲盛岡市・県庁市役所前

●事業3-2：乗継運賃割引の導入検討【中井町、バス事業者】

民間バス路線との競合の観点から検討課題となっている秦野駅及び二宮駅へのアクセスについては、利用登録者アンケート調査においても追加して欲しい乗降場所として上位を占めている。

オンデマンドバスから路線バスへの乗継については利用者のうち1割と少ないものの、路線バスが運行していない地域の乗継による利便性の向上を図るため、乗降場所の改善・見直しと合わせて、オンデマンドバスから民間バス路線への乗継運賃割引制度の導入について検討する。

【事例】富士市・乗継割引券の導入

富士市では、バスをより利用しやすくするために、コミュニティ交通（コミュニティバス、デマンドタクシー）⇄路線バス、コミュニティ交通⇄コミュニティ交通の乗継割引券（1回当たり50円割引（小学生・障害者手帳所持者は30円割引）を導入（通常1乗車200～500円）。販売場所は車内及び各事業者の営業所窓口。



【計画期間】

	H25	H26	H27	H28	H29
事業3-1：乗継拠点の整備		協議・調整		順次整備	
事業3-2：乗継運賃割引の導入検討	協議・調整		検討・実施		

【事業4】モビリティ・マネジメントの実施

●事業4-1：企業と連携したエコ通勤の推進【中井町、バス事業者、企業】

町内には東名秦野中井インター周辺に多くの企業や工場が集積し、従業員は自家用車や二宮駅、秦野駅から運行する企業送迎バス等で通勤している。

二宮町では、二宮駅北口駅前広場の整備が進められ、一般車の駅前広場への進入規制や企業送迎バスの駐車規制など公共交通に関する状況が大きく変化している。

このため、周辺市町と連携して公共交通機関に関する情報提供やノーカーデーの推奨、フォーラム開催等による普及啓発活動により町民や従業員等の意識改革を図り、過度な自家用車利用から公共交通利用への転換、エコ通勤を推進する。



▲レインボーカントリー倶楽部送迎バス



▲日立システムズ送迎バス



▲二宮駅北口駅前広場完成予想図

(出典：広報にのみや（平成24年11月号）)

【計画期間】

	H25	H26	H27	H28	H29
事業4-1：企業と連携したエコ通勤の推進			協議・調整		

【事業5】公共交通対策の充実

●事業5-1：福祉有償運送サービスとの連携方策の検討【中井町、社会福祉協議会、バス事業者】

中井町では、町民誰もが安心して円滑に移動できるよう、公共的施設や道路環境などのバリアフリーの推進や社会福祉協議会による福祉有償運送サービスを実施しており、オンデマンドバスとの連携の可能性について検討する。

■福祉有償運送「しらさぎ」のサービス概要

①利用対象者	○介護保険の要支援または要介護の方 ○身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の手帳の交付を受けている方 ○歩行困難な方
②利用目的	○病院治療等による通院または入退院 ○福祉施設への入退所 ○買い物、公共機関等での諸手続き
③利用回数	○原則1回につき2時間以内、月2回の利用を限度
④利用料金	○町内一律500円、町外片道500円（利用人数により異なる）
⑤利用の範囲	○足柄上郡、南足柄市、小田原市、秦野市、厚木市、伊勢原市、平塚市、中郡
⑥運行日及び時間	○月曜日から金曜日（ただし、祝日および12月29日から1月3日までを除く） ○午前8時30分から午後5時まで
⑦登録・予約窓口	○中井町社会福祉協議会
⑧その他	○車いす利用者や介助が必要な方は1名の同乗が必要 ○利用日の3日前までに電話予約

●事業5-2：不採算路線の今後のあり方の検討【中井町、バス事業者】

町内のバス路線の利用者数は減少傾向にあり、なかでも秦野駅～震生湖～比奈窪線は赤字路線のため、町が運行費補助を行っている。また、二宮駅～比奈窪～高尾線は運行本数が1日7本で利用者も少なく不採算路線となっており、民間バス事業者の自主努力により路線が確保されている。

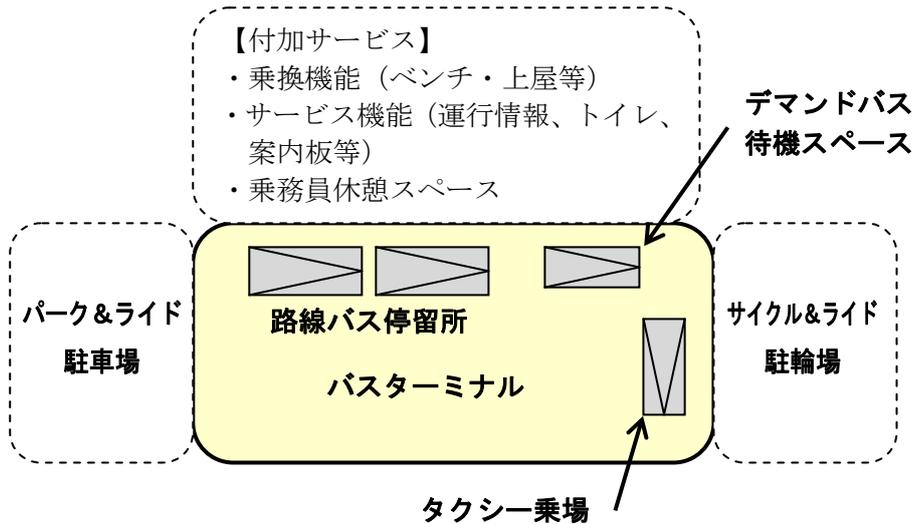
これら路線は中井町オンデマンドバスとも競合するため、実証実験期間中の検証結果を踏まえ、今後バス事業者や周辺市町（秦野市、大井町）と協議・調整を図りながら、今後のあり方を検討していく。

●事業5-3：バスターミナル等の整備のあり方の検討【中井町、バス事業者】

町内を運行中の民間バス路線や、中井町オンデマンドバスの運行事業者であるバス運行事業者の営業所は秦野市内にあるため、中井町まで回送運行が必要で非効率となっている。

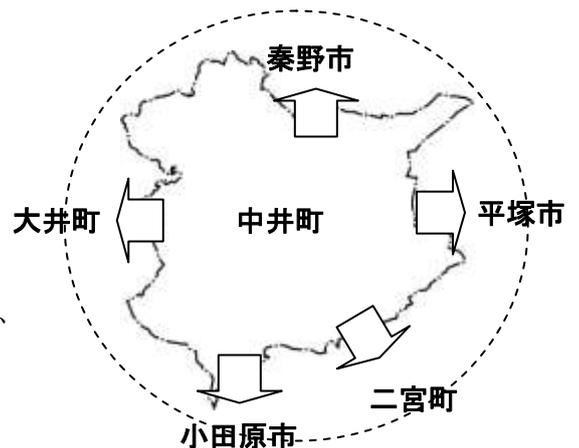
このため、運行の効率化や利便性（運行サービス）等の観点から、バス相互の乗継等が可能な拠点（待機場、休憩所等）や、駐車場や駐輪場等の整備などのあり方について検討する。

■バスターミナルの整備イメージ



●事業5-4：地域連携方策の検討【中井町、周辺市町、バス事業者】

町内のバス路線は、JR東海道線二宮駅と小田急線秦野駅を主な起終点に運行している。また、秦野市と二宮町に中井町オンデマンドバスの町外目的地を設けるなど、公共交通体系は中井町だけで改善されるものでない。さらに周辺市町では公共交通が無い又は不便な地区も存在している。このため、中井町オンデマンドバスや不採算路線のあり方を検討するにあたっては、周辺市町と連携を図りながら、デマンドバスの運行エリアの拡大など今後のあり方を検討する。



【計画期間】

	H25	H26	H27	H28	H29
事業5-1：福祉有償運送サービスとの連携方策の検討			協議・調整		
事業5-2：不採算路線の今後のあり方の検討	協議・調整		検討・実施		
事業5-3：バスターミナル等の整備のあり方の検討		協議・調整		検討・実施	
事業5-4：地域連携方策の検討	協議・調整		検討・実施		

7-3 事業一覧

中井町における実施すべき事業については、次のように整理される。

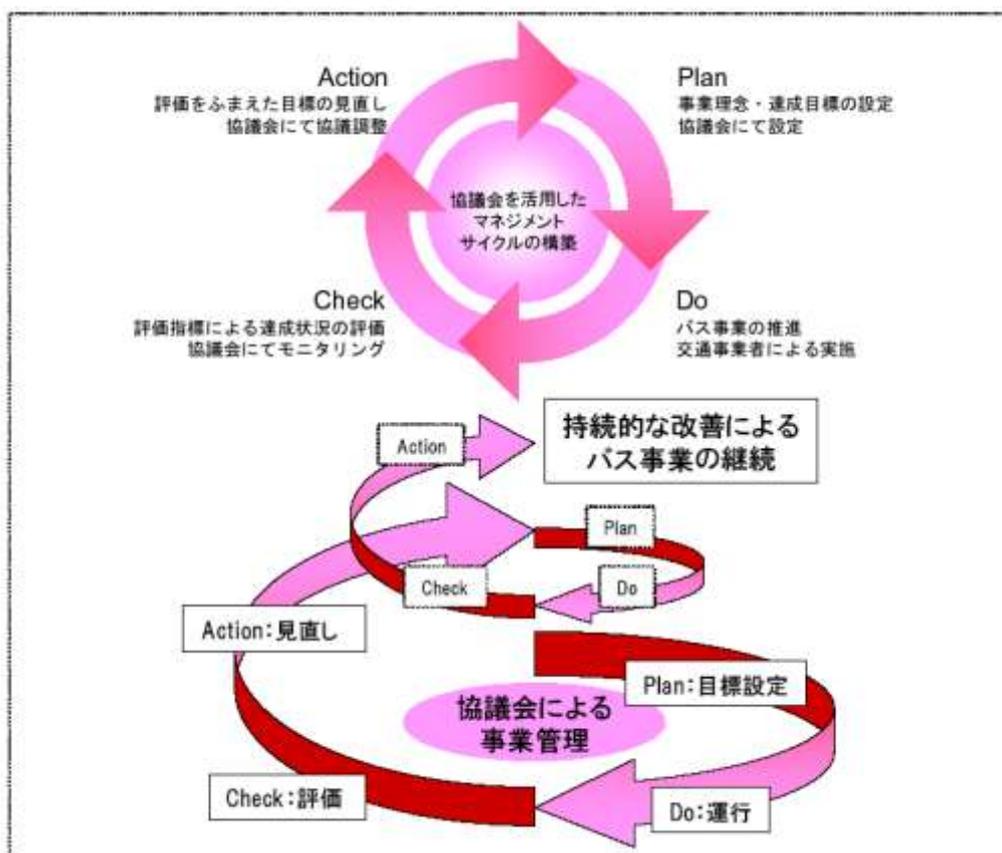
事業名		実施主体	H25	H26	H27	H28	H29
事業1：中井町オンデマンドバスの実証運行及び検証		中井町、バス事業者、町民	実証実験（適時運行サービスの見直し）				
事業2：中井町オンデマンドバスの利用促進策及び収入確保策の導入	継続的な地域住民等への広報・周知	中井町、バス事業者	継続的实施				
	車体の外装デザイン等の工夫	中井町、バス事業者	協議・調整		検討・実施		
	多様な割引運賃制度の導入検討	中井町、バス事業者	協議・調整	検討・実施	継続的实施		
	オンデマンドバスと路線バスが一体となった公共交通マップの作成・配布	中井町、バス事業者	協議・調整	作成・配布	継続的实施		
	地元企業や社会福祉協議会等のHP等への掲載	中井町、企業等	協議・調整		検討・実施		
	運賃収入以外の収入確保方策の検討	中井町、バス事業者、町民等	協議・調整		検討・実施		
	事業3：民間バス路線・オンデマンドバス等の公共交通機関相互が連携するための環境整備	乗継拠点の整備	中井町、バス事業者	協議・調整		順次整備	
乗継運賃割引の導入検討		中井町、バス事業者	協議・調整	検討・実施			
事業4：モビリティ・マネジメントの実施	企業と連携したエコ通勤の推進	中井町、バス事業者、企業	協議・調整				
事業5：公共交通対策の充実	福祉有償運送サービスとの連携方策の検討	中井町、社協、バス事業者	協議・調整				
	不採算路線の今後のあり方の検討	中井町、バス事業者	協議・調整	検討・実施			
	バスターミナル等の整備のあり方の検討	中井町、バス事業者	協議・調整		検討・実施		
	地域連携方策の検討	中井町、周辺市町、バス事業者	協議・調整	検討・実施			

7-4 PDCAサイクルに基づく事業評価の実施

事業の実施にあたっては、数値目標の達成度を評価し事業継続の判断や利用者ニーズに応じた改善などを行うため、「中井町地域公共交通会議」を継続的に運営し、PDCAサイクルに基づく評価・検証を行い、効率性と利便性を高めつつ進化する路線バスや中井町オンデマンドバスの実現を目指す。具体的には、次に示す指標と数値目標を目指して継続的に検証する。

- 目標1：公共交通に対する満足度向上…現状：18.8%→平成29年度：25%
- 目標2：オンデマンドバスの利用者数及び登録者数の増加
 - 1日当り利用者数…現状（実績）：約10.6人/日→平成29年度：40人/日
 - 登録者数……………現状（H25.2末現在）1,429人→平成29年度：約3,000人以上
- 目標3：日常の交通行動の不便さを感じる人の減少…現状：52.0%→平成29年度：40%

■PDCAサイクルの概念



資料：コミュニティバスの事業評価の手引き（国土交通省中部運輸局、平成21年3月）

※概念図で示されている協議会は、中井町の場合は中井町地域公共交通会議となる。

■PDCAサイクルに基づく評価・見直しスケジュール

	H25	H26	H27	H28	H29
中井町地域公共交通会議の開催	○	○	○	○	○
中井町オンデマンドバス実証運行		実証実験	(適時運行サービスの見直し)		
評価・検証	→				

資料編 1 : 中井町地域公共交通総合連携計画の策定経緯

	開催日時	報告事項及び協議事項等
第 1 回 地域公共交通 会議	平成 24 年 4 月 27 日 (金) 午前 10 時 00 分～	①正副会長、監事の選出 ②中井町地域公共交通会議財務規約（案）及び中井町地域公共交通会議事務局規約（案）について ③中井町の公共交通の現状と課題について ④地域公共交通総合連携計画及び生活交通ネットワーク計画の策定について ⑤今後の会議の進め方について
第 2 回 地域公共交通 会議	平成 24 年 6 月 29 日 (金) 午後 2 時 00 分～	①持続可能な生活交通のあり方について ②新たな公共交通システム運行計画（素案）について ※先進的な取組み導入事例、コンビニクル～オンデマンド交通システムの紹介
第 3 回 地域公共交通 会議	平成 24 年 9 月 18 日 (火) 午後 1 時 30 分～	①平成 24 年度中井町地域公共交通会議予算（案） ②平成 24 年度中井町地域公共交通体系再編計画業務委託について ③新たな公共交通システム運行計画について
第 4 回 地域公共交通 会議	平成 24 年 12 月 20 日 (木) 午前 10 時 00 分～	①中井町オンデマンドバス実証実験へ向けてこれまでの取組み状況等について ②中井町オンデマンドバスの愛称の決定について ③中井町地域公共交通総合連携計画（素案）について ④中井町オンデマンドバス実験運行開始式典について
第 5 回 地域公共交通 会議	平成 25 年 3 月 29 日 (金) 午前 10 時 00 分～	①中井町オンデマンドバス実証実験及び利用登録者アンケート調査結果について ②中井町地域公共交通総合連携計画（案）について ③中井町生活交通ネットワーク計画（案）について

資料編 2 : 中井町地域公共交通会議設置規約・中井町地域公共交通会議財務規約及び 中井町地域公共交通会議事務局規約

中井町地域公共交通会議設置規約

(目的)

第1条 中井町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第6条第1項の規定に基づく地域公共交通総合連携計画（以下「連携計画」という。）の作成に関する協議等及び地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第2条第1項第1号の規定に基づく生活交通ネットワーク計画（以下「ネットワーク計画」という。）の作成に関する協議等、並びに道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づく地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進に必要となる事項の協議等を行うために設置する。

(事務所)

第2条 交通会議は、事務所を神奈川県足柄上郡中井町比奈窪56番地に置く。

(協議事項)

第3条 交通会議は、次に掲げる事項を協議し、関係する事業を実施する。

- (1) 中井町（以下「町」という。）における公共交通のあり方に関する事項
- (2) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃、料金等に関する事項
- (3) 町が運営する有償輸送の必要性及び利用者から収受する対価に関する事項
- (4) 連携計画及びネットワーク計画の策定及び変更の協議に関する事項
- (5) 連携計画及びネットワーク計画の実施に係る連絡調整に関する事項
- (6) 連携計画及びネットワーク計画に位置付けられた事業の実施に関する事項
- (7) 前各号に掲げるもののほか、交通会議の目的を達成するために必要な事項

(交通会議の構成員)

第4条 交通会議は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱又は任命する委員をもって組織する。

- (1) 町民又は公共交通利用者の代表
- (2) 学識経験者
- (3) 関東運輸局神奈川運輸支局
- (4) 神奈川県の関係行政機関
- (5) 交通事業者
- (6) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体
- (7) 副町長及び町長が指名する職員
- (8) 前各号に掲げる者のほか、町長が特に必要と認める者

2 委員の任期は2年とし再任を妨げない。ただし、特定の職により委嘱又は任命された委員の任期は、当該職にある期間とする。

3 前項の規定にかかわらず、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長、副会長及び監事)

第5条 交通会議に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監 事 2名

- 2 会長は、委員の互選により選任する。
- 3 会長は、会務を総理し、交通会議を代表する。
- 4 副会長及び監事は、会長が構成員のうちから指名する。
- 5 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 6 監事は、この交通会議の会計を監査する。

(会議)

第6条 交通会議の会議（以下「会議」という。）は会長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 委員は、やむを得ない理由により会議を欠席する場合、代理の者を出席させることができることとし、あらかじめ会長に代理の氏名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該構成員の出席とみなす。
- 4 会議の議決は出席委員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会議は原則公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。
- 6 会長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者に対して、資料を提供させ、又は会議への出席を依頼し、説明及び意見を聞くことができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(作業部会)

第7条 交通会議に提案する事項について、協議又は調整をするため、必要に応じて交通会議に作業部会を置くことができる。

- 2 作業部会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(協議結果の取扱い)

第8条 交通会議において協議が整った事項について、関係者はその結果を尊重し当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(事務局)

第9条 交通会議の事務を処理するため、交通会議に事務局を置く。

- 2 事務局は、中井町企画課に置く。
- 3 事務局に事務局長及び事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
- 4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第10条 交通会議の運営に要する経費は、補助金その他の収入をもって充てる。

(財務に関する事項)

第11条 交通会議の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(交通会議が解散した場合の措置)

第12条 交通会議が解散した場合には、交通会議の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(補則)

第13条 この規約に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

- 1 この規約は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 交通会議の設立した年度に委嘱又は任命された委員の任期については、第4条第2項の規定にかかわらず、委嘱又は任命の日から平成26年3月31日までとする。

中井町地域公共交通会議委員

区 分	団体・職名等	氏 名
第1号 町民又は公共交通利用者の代表	中井町自治会連合会長	小 林 敏 男
	境地区バス利用対策委員長	桜 井 岑 生
	公募委員	廣 澤 瀧 男
	公募委員	原 礼 子
第2号 学識経験者	東洋大学国際地域学部教授	岡 村 敏 之
第3号 関東運輸局神奈川運輸支局	神奈川運輸支局首席運輸企画専門官	中 澤 延 夫
第4号 県の関係行政機関	神奈川県環境共生都市部交通企画課長	三 枝 薫
	神奈川県県西土木事務所長	河 原 正 幸
	神奈川県松田警察署長	伊 藤 正 道
第5号 交通事業者	(社) 神奈川県バス協会	山 崎 利 通
	神奈川中央交通(株)	三 木 健 明
	神奈川県タクシー協会小田原支部	鈴 木 要
第6号 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	川 上 一 男
第7号 副町長及び町長の指名する職員	中井町副町長	早 野 茂
	中井町地域支援課長	曾 我 裕 之
	中井町福祉課長	金 子 豊
	中井町まち整備課長	加 藤 幸 一 郎
	中井町教育課長	山 本 清 和
第8号 前各号に掲げる者のほか町長が特に必要と認める者	中井町老人クラブ連合会長	小 清 水 正 臣
	中井町社会福祉協議会長	植 木 年 男
	中井町商工振興会長	加 藤 正 人
	中井町PTA連絡会長	小 宮 邦 俊
	グリーンテクなかい企業連絡協議会長	久 保 田 一 宏
事務局	中井町企画課長	星 野 武 夫
	中井町企画課政策班長	天 野 泰
	中井町企画課政策班	寺 澤 康 隆

中井町地域公共交通会議財務規約

(趣旨)

第1条 この規約は、中井町地域公共交通会議設置規約（以下「規約」という。）第11条の規定に基づき、中井町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）の財務について必要な事項を定める。

(予算)

第2条 交通会議の予算は、国からの補助金、中井町からの負担金、繰越金及びその他の収入をもって歳入とし、交通会議の運営及び事業に係る経費を歳出とする。

2 交通会議の会長（以下「会長」という。）は、毎会計年度予算を調製し、交通会議に諮るものとする。

3 交通会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。

4 会長は、第2項の規定により、予算が交通会議の承認を得たときは、その予算書の写しを速やかに中井町長に送付しなければならない。

(予算の補正)

第3条 会長は、会計年度の途中において、既定予算に補正の必要が生じたときは、これを調製し、速やかに交通会議に諮るものとする。

2 前条第4項の規定は、前項の規定により補正予算が交通会議の承認を得たときにおいて準用する。

(予算の区分)

第4条 歳入予算の款、項及び目の区分は、別表第1のとおりとする。

2 歳出予算の款、項及び目の区分は、別表第2のとおりとする。

3 その年度において臨時かつ特別な理由があるときは、別表第1及び別表第2に定める以外の項及び目を定めることができる。

(予算の流用及び予備費の充用)

第5条 歳出予算の流用及び予備費の充用は、中井町の例によるものとする。

2 会長は、前項の規定により歳出予算の流用又は予備費の充用をしたときは、交通会議に報告しなければならない。

(出納及び現金の保管)

第6条 交通会議の出納は、会長が行う。

2 交通会議に属する現金等は、銀行その他の金融機関に預け入れなければならない。

(交通会議出納員)

第7条 会長は、交通会議の事務局職員のうちから交通会議出納員を命じることができる。

2 交通会議出納員は、会長の命を受けて、交通会議の出納その他会計事務をつかさどる。

(収入及び支出の手続)

第8条 交通会議の予算に係る収入及び支出の手続は、中井町の例によるものとする。

2 交通会議出納員は、次に掲げる簿冊を備え、出納の管理を行うものとする。

(1) 予算整理簿

(2) 前号に掲げるもののほか、必要な簿冊

(決算等)

第9条 会長は、毎会計年度終了後、遅滞なく、交通会議の決算を調製し、交通会議の承認を得るものとする。

2 会長は、前項の承認を得るにあたっては、監事の監査を受け、その結果を添えなければならない。

3 会長は、第1項の規定により交通会議の承認を得たときは、その決算書の写しを速やかに中井町長に送付しなければならない。

(委任)

第10条 この規約に定めるもののほか、この規約の実施に関する必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1 (第4条関係)

歳入予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 補助金	1 補助金	1 補助金
2 負担金	1 負担金	1 負担金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入

別表第2 (第4条関係)

歳出予算の款、項及び目の区分

款	項	目
1 運営費	1 会議費	1 会議費
	2 事務費	1 事務費
2 事業費	1 事業費	1 事業費
3 予備費	1 予備費	1 予備費

中井町地域公共交通会議事務局規約

(趣旨)

第1条 この規約は、中井町地域公共交通会議設置規約第9条に規定する中井町地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）の事務局の組織、運営等について、必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 事務局は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 交通会議の会議に関すること。
- (2) 交通会議の資料作成に関すること。
- (3) 交通会議の庶務に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、交通会議の運営に関し必要な事務

(職員)

第3条 事務局に事務局長及び事務局員を置く。

- 2 事務局長は、中井町企画課長をもって充てる。
- 3 事務局員は、中井町企画課職員をもって充てる。

(専決事項)

第4条 事務局長は、次に掲げる事項を専決することができる。ただし、異例又は重要と認められる事項については、この限りでない。

- (1) 事務局の運営に関すること。
- (2) 物品の購入その他交通会議の運営に必要な契約の締結に関すること。
- (3) 物品及び現金の出納に関すること。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、軽易な事項に関すること。

(文書の取扱い)

第5条 事務局における文書の收受、配布、処理編集、保存その他文書に関し必要な事項は、中井町において定められている文書の取扱いの例による。

(公印の取扱い)

第6条 交通会議の公印の種類は会長印とし、公印の名称、形状、書体、寸法、用途、個数及び管理者は、別表のとおりとする。

- 2 交通会議の公印の保管、取扱い等については、中井町において定められている公印の取扱いの例による。

(委任)

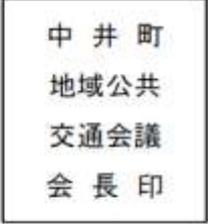
第7条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

別表（第6条関係）

名称	形状	書体	寸法	用途	個数	管理者
中井町地域公共交通会議会長印		てん書	22 ^{mm} × 22 ^{mm}	会長名をもって発する文書	1	事務局長

資料編3：町民意見（パブリックコメント）の概要

「中井町地域公共交通総合連携計画（素案）」について町ホームページや企画課、農村環境改善センター図書室、井ノ口公民館図書室、境コミュニティセンターでの閲覧により公開し、意見募集した。

- 募集期間 平成25年2月4日（月）～2月25日（月）
- 公表方法 閲覧（企画課、農村環境改善センター図書室、井ノ口公民館図書室、境コミュニティセンター）及び町ホームページへの掲載
- 提出方法 郵便、電子メール、FAX、持参のいずれかの方法で企画課へ提出
- 募集件数等 無

資料編4：中井町オンデマンドバスの周知・PR

①ご利用ポケットガイド（A4版両面・三折り）

※利用登録者に対して、登録証の郵送と合わせて配布（外出時の携帯用）

登録制 予約型 乗り合い 中井町 オンデマンドバス



みんなでつくり、まもり、育てよう!

ご利用ポケットガイド

平成25年1月10日(木)
実証運行開始!

※予約受付は12月27日(木)から開始します。



利用条件

利用登録をいただければ、どなたでもご利用可能です。ただし、一人で乗降が可能なお方に限らせていただきます。一人で乗降ができない場合は、付添人が同伴すればご利用いただけます。（付添人も料金ががかかります。）なお、下記に該当する方は利用できません。

- ・就学前の子どもだけの利用
- ・バットを運ぶ利用（介助犬等は可）
- ・車いすでの乗車

※車内は飲食・飲酒・喫煙禁止

利用方法



0465-81-1120へ電話（ご利用は必ず予約登録が必要です。）

こちらはオンデマンドバス予約システムです。お名前、登録番号をお伝えください。

名前は〇〇です。登録番号は△△です。今日、午前10時に乗降システム××の工断際まで行きたいのですが...

〇〇さん、午前9時30分の車の予約おとれました。この白を返すの乗降ポイント××でお待ちください。

利用料金

対象者	町内～町内	町内～町外
大人	200円	300円
小人	100円	150円

※未就学児は、2人まで無料（保護者同伴）

予約受付時間

●午前8時30分から午後5時までは予約受付可能で、利用希望時間の1時間前までに予約システムへ電話してください。
インターネットでは24時間予約が可能です。

運行区域

- 町内全線（12カ所所）
- 町外（4カ所所）
 - ・養老寺十字病院 ・ヨークマート西木竹店
 - ・マックスバリュ二宮店 ・西友二宮店

※乗降場所については乗降案内をご覧ください。

運行日・時間帯

●毎日運行 ●午前7時から午後8時まで

その他

- 「お出かけ」の予約の際に、「乗りの便番同時に予約すること」もできます。
- 「乗車前席、乗車場所」をメモしておいてください。
- 予約は先着順です。車両の定員があるため、予約が希望どおりに取れない場合もあります。
- ご希望の時間が満員の場合は、オペレータが乗車可能な別の時間をご案内しますので、その時間であれば予約してください。
- オンデマンドバスは乗客の人の乗り合いでの利用となります。目的地への到着時間については余裕をもってご利用ください。
- 予約時間に間に合わないなど、利用を取りやめる（キャンセル）場合は、利用予定の1週間前までにご連絡ください。

0465-81-1120

予約専用電話番号 受付時間：午前3時30分～午後5時

オンデマンドバスとは?

★自宅の近くや指定の場所から目的地まで乗り合いです。
★予約をして乗車する新しいタイプの公共交通です。

※記載の内容は利用実績、ニーズ等も随時変更する場合がございます。

中井町オプトマドバス・乗降場所一覧



【中井地区】

番号	乗降場所の名称	乗降場所の詳細情報
1	中井町役場	正面玄関
2	保健福祉センター	正面玄関
63	中井中学校	中学校前バス停
26	中井保育園	保育園駐車場
29	中井中央公園緑地場	野球場駐車場内
30	なかみ園や車庫形所	車や車庫前所前入口
64	比奈園バス停	比奈園バス停
85	比奈園GS(1-2)	ゴミ収集ステーション
9	初本自治会館	会館前
43	初本下公園	公園入口
66	初本下GS(2-2)	ゴミ収集ステーション
87	初本下GS(2-4)	ゴミ収集ステーション
19	グレースビル南南	正面玄関前
22	ひれあひれ南南	役対面側
35	中井パーキングより入口	パーキングより入口
88	初本上GS(3-1)	ゴミ収集ステーション
89	初本上GS(3-2)	ゴミ収集ステーション
90	初本上GS(3-3)	ゴミ収集ステーション
91	初本上GS(3-4)	ゴミ収集ステーション
6	中井美化センター	美化センター正門前
10	初本自治会館	会館前
33	橋のあひれ南南	駐車場入口
34	中井パーキングより入口	パーキングより入口
92	初本GS(4-2)	ゴミ収集ステーション
5	桜根駅前中井分団前	正面南側前
21	ぼたの家の	ぼたの家の家入口
79	緑色バス停	緑色バス停
93	緑色GS(5-6)	ゴミ収集ステーション
75	大上バス停	大上バス停
76	橋沢バス停	橋沢バス停
77	鴨沢バス停	鴨沢バス停
78	下園バス停	下園バス停
11	古歌田自治会館	会館前(向い側南側)
94	古歌田GS(7-2)	ゴミ収集ステーション

【井ノ口地区】

番号	乗降場所の名称	乗降場所の詳細情報
15	下井ノ口自治会館	八幡神社前
90	下井ノ口バス停	下井ノ口バス停
23	ピースハウス病院	正面玄関前
38	関ノ上小公園	テルモ北公園入口
40	中井のいい広場	北園香取側
40	関楽池公園	北園駐車場
49	北園入口公園	北園入口バス停
60	上ノ原バス停	上ノ原バス停
107	北園GS(19-3)	ゴミ収集ステーション
108	北園GS(19-7)	ゴミ収集ステーション
3	井ノ口公園	公民館北側道路
25	井ノ口小学校	小学校南側駐車場入口
54	井ノ口小西バス停	井ノ口小西バス停
109	宮在GS(20-1)	ゴミ収集ステーション
20	富士白雲	正面玄関前
27	井ノ口手洗センター	アール・ランド駐車場前
48	井ノ口(中井)バス停	井ノ口小西駅前バス停
53	橋入口バス停	橋入口バス停
110	宮前GS(21-7)	ゴミ収集ステーション
111	宮前GS(21-16)	ゴミ収集ステーション
8	井ノ口上児童館	児童館前(橋入口)
47	上井ノ口バス停	上井ノ口バス停
112	宮上GS(22-1)	ゴミ収集ステーション
113	宮上GS(22-2)	ゴミ収集ステーション
36	宮前児童公園	公園北側
37	井ノ口第一青少年広場	広場南側(防火水槽前)
44	宮前児童センター	宮前児童センター
45	橋分バス停	橋分バス停
46	橋バス停	橋バス停
52	井ノ口北井町バス停	井ノ口北井町前バス停
56	グリーンテック東バス停	グリーンテック東バス停
57	砂川入口バス停	砂川入口バス停
114	宮前GS(23-4)	ゴミ収集ステーション
115	宮前GS(23-8)	ゴミ収集ステーション

番号	乗降場所の名称	乗降場所の詳細情報
116	高島GS(23-12)	ゴミ収集ステーション
117	高島GS(24-1)	ゴミ収集ステーション
16	砂川公民館	会館下側(橋側)
17	道徳新自治会館	会館前
118	道徳新GS(26-1)	ゴミ収集ステーション
18	五分一自治会館	会館前
51	五分一バス停	五分一バス停
55	久保入口バス停	久保入口バス停
119	五分一GS(27-3)	ゴミ収集ステーション
120	五分一GS(27-4)	ゴミ収集ステーション

【橋地区】

番号	乗降場所の名称	乗降場所の詳細情報
41	橋のグリーンテックパーク	駐車場内
59	グリーンテック中央バス停	グリーンテック中央バス停
59	ホテル公園前バス停	ホテル公園前バス停
61	オパールバス停	オパールバス停
71	原中バス停	原中バス停
72	原下バス停	原下バス停
73	大原バス停	大原バス停
74	ゆきゆり園前バス停	ゆきゆり園前バス停
105	橋前GS(15-5)	ゴミ収集ステーション
4	車コミュニティセンター	正面入口前
70	本郷バス停	本郷バス停
106	本郷GS(16-1)	ゴミ収集ステーション
67	後津バス停	後津バス停
63	水野バス停	水野バス停
69	本別所バス停	本別所バス停

※GS→ゴミ収集ステーション

お問合せ先

中井町企画課

TEL 0465-81-1112 FAX 0465-81-1443
<http://www.town.nakai.kanagawa.jp>

【町外】

番号	乗降場所の名称	乗降場所の詳細情報
121	津野赤十字病院	正面タワシター側(西)
122	ヨークマート西大台店	駐車場北側入口前
123	マックス/リュウコ商店	駅前駐車場南側入口
124	西大台二商店	防衛西駐車場入口

②ご利用ガイド（A 4版 16頁）

※全戸配布（同時に利用者登録を増やすため、「中井町オンデマンドバス利用者登録票」を同封）

オンデマンドバス利用のルール

- ★利用するときは下記予約専用電話番号に電話して登録番号・氏名・利用する日時・乗降場所・利用人数を伝えて予約してください。（インターネットからも予約することができます。）
- ★電話予約の受付時間は、月曜から金曜の午前8時30分から午後5時までです。
- ★利用したい日の2週間前から予約することができます。
- ★利用日の当日に予約する場合は、利用希望の1時間前までに予約してください。
- ★朝8時30分以前の予約は、前日までに済ませるかインターネットで予約してください。
- ★乗車定員は12人までです。定員を超えた場合は予約を受け付けられません。
- ★オンデマンドバスは予約に応じて運行します。都合により利用できなくなった場合や予約宛先に遅れるときは必ず連絡してください。（予約デスクまたはインターネット）
- ★交通状況や予約人数によっては、到着時刻が前後する場合があります。時間に余裕を持ってお出かけください。なるべく到着時刻の5分前には乗降場所でお待ちください。
- ★オンデマンドバスは、予約のあった地点を結んで走行しますので、常に最短ルートで運行するとは限りません。
- ★オンデマンドバスを利用するときは、利用者登録カードを携帯してください。

予約専用電話番号（予約デスク）

0465-81-1120

受付時間：午前8時30分～午後8時
（土日・夜間・年末年始は休み）
（予約内容の変更や取り消しの場合はこちらにお願いします。）
運行事業者：㈱ 新緑神交バス

■ インターネット予約
https://www.town.nakai.kanagawa.jp/forms/info/info.aspx?info_id=28099

利用者登録、オンデマンドバスに関するお問い合わせ、ご意見などは下記へ

中井町地域公共交通会議事務局（中井町役場企画課内）

〒259-0197 群馬県中井町比治原50番地
TEL 0465-81-1112 FAX 0465-81-1443
E-mail kikoku@town.nakai.kanagawa.jp

中井町ホームページ
<https://www.town.nakai.kanagawa.jp>



平成34年12月16日現在



ご利用ガイド

中井町 オンデマンドバス利用ガイド・目次

- 地域公共交通の充実に向けて……P1
- オンデマンドバス概要……P2
- 利用者登録のしかた……P3
- 利用者登録記録例……P4
- 電話予約の手順……P5
- 主な施設での乗降場所……P6
- 主な利用目的地……P7
- オンデマンドバス乗降ポイント……P8～P9
- オンデマンドバス利用のQ&A……P10～P13



中井町
オンデマンドバス

地域公共交通の充実に向けて

コンセプト

- 住民ニーズに応じた移動手段の確保
- 交通空白地域の解消

まちづくりが第一

町民意識……水と緑、人がきらめく住んでみたいまち
基本目標……にせむいと活びあるまち
基本方針……定住定業を高める公共交通の充実
都市再生……住む人が誇りを有する、若いと活力あるまち
まちづくり目標……住環境、利便性のあるまちづくり

住民のニーズ

- バス路線の利用件数向上
- 朝・晩間・スーパーなどへのアクセス強化
- 乗り換えが楽になったときの利便性の向上

公共交通の課題

● 都市部の過密による公共交通に頼らない生活

● 両利便の減少による地域公共交通の弱体化

● 確保する車を運転できない高齢者等への対応

● 公共交通の利便性向上

● 朝・晩間・スーパーなどへのアクセス強化

● 乗り換えが楽になったときの利便性の向上

公共交通の種別

● 定住定業を高めるまちづくり
● 高齢者や子どもにやさしいまちづくり
● にぎわいのあるまちづくり
● 環境負荷を軽減するまちづくり
● 地域の安全・安心を高めるまちづくり
● 地域の一体性を醸成するまちづくり

■ バス乗降画デザイン



■ 利用者登録カード





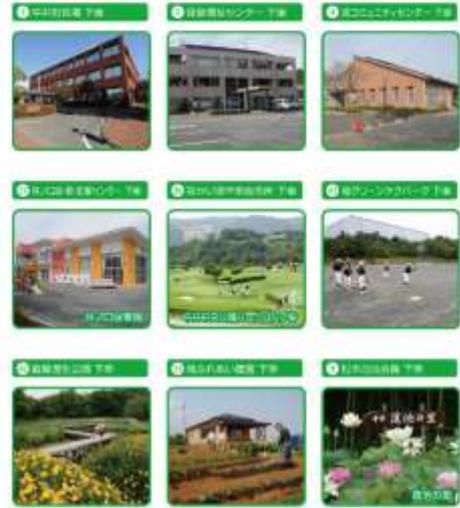
主な施設での乗降場所

主な施設の乗降場所は下記の場所となります。



主な利用目的地

オンデマンドバスはいろいろな利用目的に対応した乗降場所が設定されています。



乗降ポイント一覧

Table listing drop-off/pick-up points categorized by area: 中井町中心部 (Central Nagai), 中井町東部 (Eastern Nagai), 中井町西部 (Western Nagai), 中井町南部 (Southern Nagai), 中井町北部 (Northern Nagai), 中井町東北部 (Northeastern Nagai), 中井町西部北部 (Northwestern Nagai), 中井町南部北部 (Northern Nagai), 中井町東部南部 (Southern Nagai), 中井町西部南部 (Southern Nagai), 中井町東部西部 (Western Nagai), 中井町西部西部 (Western Nagai).

オンデマンドバス 乗降ポイント



③周知用ポスター（A1版片面）・チラシ（A4版両面）

※オンデマンドバスの乗降ポイントとなっている公共施設（役場、児童館、自治会館・公民館等）や介護施設、企業等に掲示及び留置き配布



いよいよ 運行開始!

中井町の
新たな公共交通 **オンデマンド**
中井ふれあいバス
平成25年1月10日(木)から
実証運行が開始されます!

登録制・予約型・乗り合い
カンタン予約で行きたいときに
行きたいところへ!

オンデマンドバスとは?

オンデマンドバスとは、利用者が事前に乗りたい場所や時間を予約して、乗り合いによってそれぞれの目的地まで移動する新しい公共交通システムです。
13人乗りワゴン車2台により、町内120ヶ所と町外4ヶ所の乗降場所を結んで運行します。



オンデマンドバスのメリット!

- 1 利用登録すればどなたでもご利用いただけます。
- 2 買い物、通院など何にでもご利用いただけます。
- 3 自宅の近くで乗り降りすることができます。
- 4 高齢者の外出のきっかけをお手伝いします。
- 5 自動車に依存しないまちづくりに貢献します。
- 6 生活圏の地域間交流を活発にします。

更に詳しくは役場に設置のチラシ、ご利用ガイドをご覧ください。携帯はこちらから→
<http://www.town.nakai.kanagawa.jp>



お問合せ **0465-81-1112** 中井町地域公共交通会議事務局(中井町役場企画課内)
足柄上郡中井町比奈窪56番地 / E-mail kikaku@town.nakai.kanagawa.jp

オンデマンドバスの運行開始により 町の暮らしはこう変わる!



すべての地区に乗降場所が設定されます!

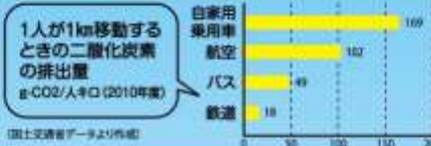
これまで路線バスのバス停がなかった地区でも、オンデマンドバスの乗降場所が設定されるので公共交通空白地域が解消されます。

生活道路の中までオンデマンドバスが乗り入れます!

今まで路線バスが走れなかったような生活道路でも走行することができ、より自宅の近くで乗り降りができるようになります。

交通手段が増えることでマイカー利用の抑制につながります!

路線バスとオンデマンドバスを上手に活用することで、マイカーの利用を控えることができ、排出ガスの低減や環境にやさしい暮らしにつながります。



高齢者などの自動車運転免許の返上のきっかけになります!

自動車を持たない方も、自分で運転しない方も外出しやすくなることで、高齢者などの運転免許返上のきっかけになります。

オンデマンドバスを利用して今までのライフスタイルをチェンジ!!

- 自動車の1人利用による町内のちょい乗りをチェンジ
- 家族に頼んでいた病院・診療所への通院に
- バス停のなかった中央公園や介護施設などに
- 部活動、テストなど路線バスのない時刻の下校に
- 酒席の予定があるときの通勤や移動に
- バスがない=「家族に迎えを頼む」前に
- マイカー維持管理費用の抑制に
- いつでも、どこでも、何にでもという自動車依存生活からの脱却に

■1年間にかかる車の維持費用
(例:1500cc~2000ccクラス/トヨタ/ウィッシュの場合)

ガソリン代	レギュラー—862/138円 (実燃費12.0km/ℓで計算)	※1 115,000円
オイル交換代	3,000円×2回	※2 6,000円
自動車税	1500cc~2000cc	39,500円
任意保険料	年齢制限なし	※3 218,700円
12カ月点検	基本料金	※4 13,000円
車検代金	車検費用(2年車検分)	※5 46,000円
高速料金	東名高速東野中井—東京環 1,000km+50.1km=20回×1,650円	※6 33,000円
タイヤ代	1本9,900円×4本÷3	※7 13,200円
駐車場代	5,000円×12ヶ月	60,000円
年間合計		544,400円

※1: 神奈川県レギュラーガソリン平均価格(2012年12月18日現在)年間走行距離10,000kmで計算
 ※2: 5000ℓごと交換 ※3: B等級(新車) ※4: 部品代含まず
 ※5: 2年車検代金92,000円+2-年車検代金 ※6: 年間1,000km走行と仮定 ※7: 3年ごとに交換



資料編 5 : 利用登録者アンケート調査の自由意見

性別	年齢	自由意見
男性	40 歳代	あった方がよい。利用しやすかった。
男性	50 歳代	3月の運休をやめてもらいたい。
女性	70 歳代	今までの不便な生活に、住民が良く耐えたものと思います。13年前、古怒田の古家を手に入れましたが、そこに住んでいた御夫婦も、車が運転できないからと、二宮のバス停の近い所に住み替えました。三世大家族が多いから生活できたのですね。中井町民には本当に、こんな便利なシステムの交通機関ができて良かったですね。大磯も、交通不便な地域がありますので、中井町のケースも参考にしながら提案して行きたいと思っております。ただ大きな違いは、希望する地域が偏在していること。道路事情（狭い）に難があることの様です。
男性	60 歳代	運行を実用化するには、多くの問題点が残されます。試行などにより、利用される方が少ない結果となっても、どこに問題があるのか、検証される必要もあるかと思えます。高齢化に伴い、運転免許をやむなく返上される方々が増えていきます。必要な事業なので、長い目で捉えて下さい。
女性	70 歳代	町の為にも色々協力したいと思います。
男性	60 歳代	2台あるのだから3月も実験しながら運行した方がよい。久所（滝ノ前）から秦野日赤に行く場合、のりかえなければいけないが、バスができたことにより便利になった。3月の通院は時間が1時間早くおこななければならない。
女性	60 歳代	知人に乗ってみませんか？と誘われて乗ってみて、よく分かりました。いろいろな方とオンデマンドバスの話しをするけど、漠然としている人が多数いると思います。もっと多くの方に知ってもらいたいです。気楽に登録できて、利用のメリット等。（多くの方が申込み、反面、希望の日時が取れなくなる不安もある）
男性	30 歳代	広域行政の観点で運行してみたらどうか？（秦野市、平塚市（土屋・金目地区）、二宮町から一定の負担金を拠出してもらい、運行内容を充実させる）アピールが足りない。事前周知PRは、バス停に掲出、広報のみ。やる気が見えない。バスとの乗り継ぎをアピールできていない。このようにしたら利用しやすいといった手引き。小学生・中学生の通学に広く使って欲しい。
男性	70 歳代	バス停が決まっているので、お年寄りや足腰の弱い方、又荷物を持った方々にケースバイケースで、バス停とバス停の間に停まれる様な工夫が出来ればと思います。実車中次の予約の運行経路の改善。
女性	60 歳代	これから長く利用したいと思います。
男性	70 歳代	すぐに完全なものにはならないでしょう。多様なニーズがあるでしょう。将来絶対に必要な施策ですから、始めはなかなか難しいかもしれませんが息長く続けていって下さい。
男性	40 歳代	まだ使用したことがありませんが、是非利用したいと考えています。未永く続けることが大事だと思いますので、頑張ってください。
女性	60 歳代	町民の足として便利に使えるように、アンケート内容を考慮して、続けて欲しいと思います。年齢的にも、もう少し先になったら利用したいという思いです。それまでに、なくならないようにと願っています。近所に行くには歩きで、雨天時、遠くへはオンデマンドでという思いです。
男性	70 歳代	乗車する所が家から（路線バスより）遠くなり不便である。運賃が高い。手続が面倒です。簡便性に欠けています。

女性	60 歳代	大変（利用の仕方によって…）便利だと思います。色々な活動の際に、交通手段として是非利用させていきたいと思っています。今迄は、何人かの一人として、会員の方の送迎等で負担を感じてきましたが、その部分がなくなると、もっと会の活動も楽しい内容に出来るのではと、期待しています。又将来、自分が老いて車の運転も諦めた時、自分の事は出来る限り人を頼らずという前向きな考え方を望める、一つの大きな手助けとなるとと思います。
男性	70 歳代	現在、自家用車運転使用して、ふれあいバスの利用はまだないが、この先、利用させて頂くようになると思うので、町外の乗降場所を増やして欲しい。
女性	60 歳代	バスの色柄をもう少し変化して欲しい。乗降場所を多くして欲しい。（町外に）
女性	60 歳代	平石整形、南が丘クリニック病院、井上整形外科等、医者を増やして欲しい。
女性	40 歳代	予約運行も良いが、それ以外に定期運行は出来ないものか？
男性	30 歳代	中井町の将来の為、ふれあいバスは素晴らしい案だと思います。継続していく事で利用者は拡大でき、町内外に根付くと思います。
男性	30 歳代	子供の通学に利用したいのですが、中村小学校に連絡しましたが、返事がきません。利用したいのですが、駄目なのでしょうか？中学生はいいみたいな話ですが…。おかしくないでしょうか！
女性	70 歳代	病院利用の場合、行きは何時で予約は良いのですが、帰りはいつ終わるかわかりません。その場合は、どうすれば良いか。
男性	20 歳代	やはり、町に魅力のある建物があまりないから、町内だけでは使いづらいので、何とかして下さい。
男性	70 歳代	中井町でノーマイカーデーを毎週設けて、ふれあいバスの使用を推進したらどうですか。（中村、井ノ口地区で相互に実施する）バスの運行ルートについて、使用者はわかりません。目的地までの時間を明確に表示して欲しい。目的地に行くのに、乗らない地区のルートは通らないで、直行での運行は出来ないか。使用者は所要時間が短縮でき、便利です。
男性	70 歳代	登録制は必要なのか（もし、登録していない人が必要な場合は、どの対策）。1月10日～2月28日の間の利用状況を知りたい。
女性	40 歳代	とても良い制度だと思います。もっと広がるといいと思う。学生を駅まで運んで欲しい。お年寄りを色々な所へ連れて行ってあげて欲しい。
男性	60 歳代	乗降場所が分かり難いので、近くの目標物を（ ）内に書く。商店等の名前を入れ、商店等から広告料を頂く（交渉）。一度利用したとき（乗り合）近い人から順番に乗せて行けば良いのに、コンピュータの指示なのか、行ったり来たり、無駄な運行を行った。特に1人乗車のときは、近い道を通れば良い。
男性	30 歳代	このアンケートに際し、現在の乗降場所を同封しないと、答えづらくありませんか？
男性	60 歳代	路線バスの本数が少ないので、最寄り駅（JR、小田急）までの路線が無いのはあまり利用がないのではないかと？路線バスの運行が無い時間帯しか希望する人はいないと思うので、神奈中バスさんへの影響は全く無いと思います。
女性	70 歳代	中井ふれあいバスで出掛けてみよう精神で、中井町の知らない地域へ降りたり、又、日常生活がマイカーを使用せずとも便利になるように、自分にあった利用作戦を作ると面白いと思います。これからは時折利用させていただきますので、継続を心より期待致しております。
男性	70 歳代	中井町内→秦野赤十字病院→イトーヨーカドー（5分位）→秦野駅までを計画して下さい。
女性	70 歳代	イトーヨーカドーから→秦野駅も計画してください。
女性	70 歳代	運行コースを作成し、定期的に運行。足が悪い為、乗降する階段が高すぎるので、もっと低くして欲しい。

女性	50 歳代	目的地まで時間のムダがなくて最短でいけるので便利。もっと乗降場所がふえれば良い。駅にとまれなくても近くで、歩いていけるところにとまれる場所があれば、もっと利用範囲が広がる。これから老人が多くなるので、自宅近くで手を上げて乗れたらいい！
女性	50 歳代	老人家庭などにもっと知ってもらうために広告だけでなく、集会を開いたり、民生委員の方の個別訪問をする。
男性	60 歳代	砂口ー秦野赤十字病院の 300 円は高いと思います。運行距離に応じた運賃の検討をお願いします。(難しいとは思いますが！)
女性	40 歳代	とても助かるので今後も利用したく運行を続けて頂きたい。
女性	60 歳代	タクシー、バスに次ぐみんなの足となるデマンドバスとなることを願います。
女性	60 歳代	二宮駅⇄南が丘・秦野赤十字病院⇄秦野駅の周辺の交通便をもっと活発にするため、ふれあいバスを多に宣伝して、利用しやすくしてほしい。
女性	60 歳代	バスの停まる所や秦野駅に停まってくると、とても助かります。
男性	60 歳代	老人を対象とした町内の移動も無意味ではないが、「住み良い町中井町」を目指すのであれば、住環境の素晴らしさとともに通勤・通学にも便利な町としてアピールできるようにすべき。それには、既存のバス路線とデマンドバスとの円滑な連携等も含め、中井町の地理的な特性を生かせるような、他の市町村との交通体系のあり方等を同時に検討していただきたい。
女性	50 歳代	最初から変だと思っていましたが、何故小田急やJRの駅までいかないのでしょうか。料金は路線バスと同じでも利用はあると思います。塾や習い事をして夜遅く帰る子供達が（特に女の子）1人でも安心して乗れるようなバスにしていきたい。路線バスの空白をうめるなら、早朝から夜中まで運行してほしい。町内間の利用はあまりないのでは？
女性	60 歳代	将来高齢化が進むにつれ、ふれあいバスが出来た事自体、まだ利用していませんが、ただあるというだけでとても心が安心致しました。まだ意見というところまでわかりませんが、ありがとうございました。利用させていただきます。
女性	70 歳代	運転出来る娘が二宮までお勤めに行くのに、雪との予報で利用しました。とても良かったと言っていた。是非続けて欲しい。これから利用出来ることを楽しみにしています。
女性	60 歳代	携帯電話で申込みすると待つ時間がかかり、電源がなくなりそう。これからもお願いしますので頑張って頂きたいです。
男性	70 歳代	これからの高齢化社会に対応出来る交通手段として、頑張って下さい。
女性	60 歳代	町外の方の利用はおかしいのではないのでしょうか？
女性	50 歳代	皆さんが便利に利用できるよう改善をお願いします。二宮町や秦野市のコミュニティバスを参考にしては？
女性	60 歳代	全く思いがけない夢のような企画にびっくり、ただただ感謝、感謝です。今まで、いつも私一人の乗車の為、申し訳なく、もっと皆様の利用が増え、時間調整などをして乗り合いができれば良いと思います。
女性	70 歳代	利用して行っただが（目的地）、帰りがどうしたら良いか具体的に教えて欲しい。
女性	50 歳代	「ふれあいバス」と言う名称がダサすぎます。今さら変えられないでしょうけど、わざわざ募集して決めた意味がない呼び名でしたね。ドライバーの方々は皆さん感じが良くて良かったです。
女性	60 歳代	求められているのは、駅までの運行です。様々な要因のため不可能とあきらめずに、特区申請や、秦野駅近くまで（歩いて秦野駅へいける（5分位））の運行を考えて頂きたい。（中村→二宮駅のバスはあるので）
女性	70 歳代	町外の場合はバスの循環が欲しいです。買物してからいちいち電話は携帯を持っている人もあればない人もあります。又年をとればとるほどかけるのが苦痛です。循環していれば追加する時間を覚えておけば、それまで用事を終らせれ

		ばよいのですから。
男性	60 歳代	秦野駅行を入れてもらいたと思います。～500 円でも良いかと。
男性	30 歳代	中井町は、駅のない町として、又、生活のかかりのウェイトを近くの市町に依存しています。中井町としての存在を維持する計画ならば、医療費無料化も、小学6年までを早く打ち出したようにインパクトのある誰もが使いたいと思うような施策が必要だと思う。若い人が住みつかないと将来的打撃は大だと思う。特に免許が取る事のできない小・中・高生にもっと目を向けるべきではないだろうか？今の中高生は習い事で帰宅が 22 時を過ぎる事は普通である。中学校も一校しかない中で、親の送迎が普通との声もある。そういったことも検討課題として欲しい。
女性	30 歳代	町外の学校等に子供が通学用として利用できれば、助かる。バス停はあっても本数も無く、希望の時間がないので、結局本数のある所まで自家用車で送り迎えしないとイケない。車を運転できないこの地区の住民は、上病院等の松田方面に出るのに、一度、比奈窪まで出て、秦野駅から電車に乗って迂回しないとイケない。
女性	60 歳代	予約及び、キャンセル方法の改善を希望します。
男性	60 歳代	是非継続充実させて欲しい。将来は路線バス会社と協力で、ターミナル駅まで拡大して下さい。NTTの電話回線は、各社が乗り入れて回線の利用効率を上げ、急激に普及してきました。バス路線も同様で、一社独占では無く、知恵を絞り、ビジネスモデルを構築して下さい。
男性	20 歳代	予約が必要ということで、もっと面倒なイメージがあったが、実際に利用してみると簡単だった。体験会を開くとか、町民全員に利用者カードを配るとか、まず利用してもらおうきっかけを作ると良いと思う。乗った感想としては、ずっと私一人だったので、わずか 200 円で運転してもらうなんて、ちょっと申し訳なかった。後は、路線バスと乗り継ぐ際、バスが遅れていて、予約時刻に間に合うかハラハラした。やはり駅まで直通の方が良い。回数券が良いと思う。PASMO と違って中井町専用になるので、継続的な利用が期待できる。あるいは定期券。1ヶ月 3,000～5,000 円ぐらいで。定額で乗り放題ならば利用者だけでなく、町にとっても収入が安定して良い。利用が増えて困ることはないと思う。
男性	19 歳以下	中井ふれあいバスは便利でした。
女性	50 歳代	現在、自分で運転しておりますが、将来的・利便性を考慮して登録しました。まずは、東名バスを利用して、墓参りに出掛け様と思っていましたが、3月は運休との事、残念です。
男性	60 歳代	バス路線では利用出来ない、町内の自治会から自治会等の乗降場所を利用すれば、バス路線の運行にはない利用方法があります。また、二宮、秦野地区の駅を利用するには、法による制限がありますので、付近の施設に乗降場所の追加をおこなえば、うまく利用出来ることと、行政側からPRを行い、デマンドバスの普及を促してもらいたい。ただPRするのではなく例題を上げて町民の関心がむく、おもしろおかしく、ひきつけるPRをお願いすることだと思います。
女性	60 歳代	バス停がどのG・S（ゴミ集収場）が何番なのか、解かるまでは年齢が高い人には大変です。急な利用な時にもスムーズに予約乗降が出来たら良いと思います。障害者、身体の不自由な方々が乗り易いバスであって欲しいと思います。今後は小田急秦野駅やJR二宮駅、国府津駅までエリアを伸ばして欲しいと思います。
男性	50 歳代	1月11日に秦野日赤病院から遠藤（中村下児童館）まで乗車しました。満足・感心した点は以下の通りです。不満な点はゼロでした。予約窓口の対応。日赤に予定時刻通りに来てくださった。バスがきれいで快適。ドライバーさんの感じが大変良かった。家近くまで直行してもらえ、短時間で帰宅できました。
女性	70 歳代	中井町にふれあいバスが運行されるようになり本当にうれしいです。今はかな

		ちゃん手形を利用していますが、いつかお世話になると思います。その時は宜しくお願い致します。
女性	30 歳代	サラリーマンにも、もう少し気をつけて欲しい。(例えば、夜 8 時 (9 時) 以降に秦野・二宮駅から比奈窪行きを 30 分毎定時運行とか。1 時間に 1 本でも！！) 昼間に使う人には便利かもしれないけど、中井町のサラリーマンにはあまり良さがわからない。子どもでも安心して利用できるのではと期待しています。中井町 (井ノ口) に引っ越してきて、中学生はバスや家庭送迎が主流と知りました。義務教育なので、定期代の控除か無料バスがあるといいのに。みんながふれあえるようなバスであって欲しい。
女性	60 歳代	県外から来た人で登録してない場合は、登録した人が一緒に乗り、町内の利用はできますか。
男性	60 歳代	ふれあいバスを利用する最大の目的は、町内の所ではなく二宮駅や秦野駅に行くのが最も多く、駅までの頻度を増やして欲しい。
男性	40 歳代	持続可能な公共交通となることを願います。
男性	70 歳代	バスの乗降場所が少し高いから、年寄りには大変です。もう一段下につけてもらえませんか。
女性	50 歳代	先日、電話で乗場所の番号をまちがえてしまい (予約 2 分前) 予約デスクに急いで電話したら、メールして下さり助かりました。ありがとうございました。
女性	60 歳代	「中井ふれあいバス」というすばらしい名称を活かす為にも、まだまだ中井町全域を知りたいという人達と楽しくバスで片道ウォーキングしながら利用をしたいと思っています。4 月からの運行を待っています。
男性	70 歳代	中村地区から秦野駅への便が不便のため、秦野駅南口への運行を希望。
女性	70 歳代	いちいち予約電話しなくて路線のバスの様に時間が決まって運行されたいいな、と思っています。
女性	50 歳代	予約せず気軽に乗れるように、運行時刻を決めて欲しい。町外へもっと運行して欲しい。
男性	30 歳代	地域の交通として定着することを期待します。
女性	60 歳代	買物をして、帰りはいっぱい荷物があるから、希望する自宅近くで降りられるように出来たら…。
女性	70 歳代	先日、バスの時間が (秦野行) 間があるので比奈窪まで利用したく申込みました。時間が希望通りに行かずキャンセルしました。せっかく利用したくても、余りにも時間が早すぎて歩いて行きました。早目 (何日も前) なら希望の時間に来てもらえるのでしょうか？せっかくバスを通すならぜひ、秦野駅、二宮駅は是非お願いしたいです。
男性	60 歳代	町外、病院方面。
女性	60 歳代	現在は、もう少しの間、自力で買物に行けますが、その内、家の近くからオンデマンドバスを利用させていただけたら良いなあと思いましたので、申し込みました。明日かも知れませんが、先の事はどうなるかはわかりませんので、宜しくお願い致します。
女性	40 歳代	予約方法：電話での予約やキャンセルの時間帯を長くしていただきたいです。朝早い時間に予約したバスをキャンセルする際、電話が繋がらないのは不便です。インターネットが使えない方も多いと思います。電話でやりとりする部分のサービスの拡大をお願いしたいです。土・日も。バス：バスに乗った際、乗り合わせだったため、次どこに停まるのか分からなかったので、「次は〇〇に向います」と教えて欲しい。(運転手さんによるのかもしれませんが…)
男性	60 歳代	13 人乗りではなく一人でも気軽に利用出来る、もう少し小さい車はどうですか。
女性	70 歳代	まだ一度だけの利用でしたが、とても助かりました。
女性	70 歳代	駅まで行って欲しい。病院に行く時は良いのですが、帰りの時間がわからない

		ので予約が出来ない。電話をして何分位で来てくれるのですか？
男性	50 歳代	実証実験期間が実質一月程度しかなく、実際に乗ることができなかったのが残念です。関心ある人は多いと思うので、長い目で少しずつでも改善していけば、実績は上がっていくように感じました。困難とは思いますが、できれば秦野駅かその周辺まで行ければ、かなり便利になると思います。
女性	40 歳代	車の運転をしない人にとっては、とても便利な交通手段になると思います。バスは何台で運行するのでしょうか。予約が重なった場合、希望通りに利用出来るか、不安です。
男性	40 歳代	非常に良いサービスだと思います。是非一層サービスを充実させて欲しいと考えます。
男性	60 歳代	更に充実した取り組みを願います。
女性	60 歳代	バス停が解りやすい場所、もっと目立つ方が良いと思う。ある程度時間割があると良いと思います。その予定で動けますし、予定も立てやすいと思うから。その他は予約で動く、二つの方法は無理かな。
男性	60 歳代	実施してから2ヶ月でのアンケートは早い気がする。「登録したものの乗る機会がなかった」そんな人達が多いのでは無いか。1年とはいわないが、6ヶ月ぐらい過ぎてからのアンケートの方が正確な回答が得られたのではないかと思う。あと5年もすれば、運転が出来なくなる（個人的に）そんな高齢者の為にも、ふれあいバスの運行はありがたい事だと思っている。そして、いつまでも続けていただきたいとも、思っています。
女性	30 歳代	土・日に急に利用したいと思うのですが、金曜の時点で予定が決まらず、いつも受付がなくて残念ながら一度も利用できませんでした。子供も乗りたいと言っていたのですが…。3月が終わったら、是非利用したいので、土日の受付、駅の乗り入れご検討をお願いします。駅が入れば平日も利用したいです。
女性	40 歳代	中井ふれあいバスをご利用させていただきまして思った事は、できれば駅まで行って下さればいいかなあと思いました。
女性	50 歳代	最寄駅まで行ってくれば使いたいが、乗り継ぎで利用するには運賃が高くなってしまいます。
女性	70 歳代	自宅の近くにバス停はありますが、バスの本数が少なくとても不便です。もしお願い出来るなら新雑色トンネルの所位で乗車できれば幸いです。
男性	50 歳代	交通過疎地住民（交通弱者）にとって今回のバス導入は画期的であり、これまで要望していたスクールバスなどの代用になると思いますので、まずはこのバス運行に尽力して頂いた行政、議員、関係各位に感謝申し上げます。但し、便利になったと思って利用したら、非常に不便さを感じました。今の運行（運用）なら利用者は少なく、継続は無理と推定されるため、ここではあえて利用者を増やすための提案をします。まず今回のバスはどのようなコンセプト（目的）で導入されたのでしょうか？①町全体のお年寄りの買物、通院？②小中高生の通学や車のない通勤者
男性	50 歳代	パンフレットについて①予約から利用までのフロー、②バスの運行イメージの2点を追加してはどうでしょうか。
女性	60 歳代	将来、住民の高齢化、又資源の枯渇、環境問題を考え、オンデマンドバスの移動手段は必要不可欠。バスの運行は、町内（短距離）は公の道路での乗降自由の巡回バス。町外（長距離）の乗降場所の増設を希望する。
男性	60 歳代	交通不便な町ですので利用者がいる限り、また利用者が少なくても長く続けて頂きたい。町民の足にまちがいなくなると思う。
女性	70 歳代	学生割引とかあると良いと思う。回数券があれば良い。それにはプレミアがついて。まだ利用していませんが年をとりましたらお願いします。
女性	60 歳代	できればもっと早く通して欲しかった。

女性	30 歳代	本当は、駅まで乗車できるのが1番良いのですが、路線バスとの関係で、そうできないので仕方ありません。そのため、路線バスを利用して駅まで行くのに便利な、団地中央や南が丘センターで乗降できれば良いと思います。子どもの習い事の送迎には、安心なので今後利用したいと考えています。検討よろしくをお願いします。
男性	19 歳以下	習い事の行き帰りにとても便利だと思います。今後も是非利用したいので、もう少し町外の乗降場所を増やして欲しいです。予約の時、到着時間を設定して予約したが、予定より早く着きすぎてしまったので、もう少し改善してくれると良いです。
女性	40 歳代	料金が安くてありがたい。車の台数が増えれば、断る回数が減るのでは？私が、子供の送迎できない時など、とても有り難いです。
女性	60 歳代	今は、自分で車の運転が出来るので、特に利用のつもりはないですが、後数年後には、買物や病院通いに是非利用したいと思います。現在も眼科や病院への検査には、是非使いたいと思っています。駅への利用は、おでかけだけでなく、伊勢原の東海大とかにも使える便利です。(駐車場が駅には少ないので)
男性	60 歳代	ふれあいバスの目的は住民の年齢で大きく違い、難しいが。理想は自家用車生活からの脱却し、自由に町内・町外への行動範囲の拡大となり、生活路線(バス)となること。あまりに不便である町内の交通であるため。利用者が自家用車以外の利便をあきらめている。出かけることを抑制し、入ってくる人の行動を抑制されていることの自覚することが事の始まり。あのバスであそこに行きたい等の利用目的メニューの整備を町内外と連携して育てていくべきだと思う。町のトータル開発計画の一貫で考えないと、路線バスと同じで無乗者便の危険あると思います。
女性	60 歳代	バス停はふれあいバス停と分かりやすいが、誰でも利用できないのが町外の人、登録していないと利用できないのが不満。金額も高い。予約するのは面倒。
男性	60 歳代	今は自分で車を運転することができるが、将来は利用したい。
男性	60 歳代	神奈中に補助金を出してまで、お願いする必要がないのでは。高齢化でバス運転手等の運転者シニアの活用により、オンデマンドバスを現状バス会社に替り運行する。収支等は十分可能と考える。シニアだけの経営にすれば、十分と考える。学生、通勤に対応した時間帯調査をすべき。買物先、病院、駅乗入れも行なう必要有り。中・長期の計画により、順次サービス拡大する。将来の理想在る形を先に見せる事により、自家用車の個人対応計画へも反映させる必要と考える。
女性	60 歳代	いつもは車で買い物に行くので、利用しませんでした。秦野市のイトーヨーカドーまで行ってくれば、車で駐車場料金を払わなくて 600 円で電車にも安心して乗れます。ヨークマート・秦野赤十字病院からは距離があります。二宮方面は西友しかないの、仕方ないかな。歩け歩きのウォーキングや、自治会での中井町散策には片道歩いて、帰りはバスを利用すれば良いと思う。これからは買い物以外では利用したいと思います。
女性	60 歳代	この先利用する事があると思うので、大いに期待しています。利用した人に聞いたのが、希望した時間が合わず、利用できなかったそうです。とても残念です。もう少しきめ細かい運行をお願いします。
女性	30 歳代	自分は車があるので、それほど利用する機会はないと思いますが、高齢の方や子供や一時的に怪我や病気で運転できない方、短期間で企画に研修・出向でいらっしゃる方など、幅広いニーズがあるのではと感じています。既にしていらっしゃるかも知れませんが、バスが停まる施設(秦野赤十字病院やヨークマート、役所等)に利用パンフレットを置いてはいかがでしょうか。

男性	30 歳代	公共交通機関の補完という意味では、鉄道との乗継も重要な位置付けになると思います。町内だけの移動にわざわざ予約して乗車する人は数多くないと思います。バスも減便が続いていることから、乗車チャンスの拡大で、利用率向上を目指してみてもいいでしょうか？二宮駅・秦野駅への乗入れは必要と思います。
女性	50 歳代	近い将来を考えて、このサービスを切望していました。今はまだ利用できていませんが、活用させてもらいます。是非存続して下さい。
女性	60 歳代	利用出来るのも元気な時だけ。
男性	70 歳代	旅行は、マイカーを駅周辺に預けて、電車を利用しております。このたび、中井町オンデマンドバスが運行することになり、高齢になり自動車免許証を返上したいと考えておりましたが、ふれあいバスの町外乗降場所に駅がないため、高齢になってもマイカーを運転しなければならないのは、不安です。
女性	60 歳代	直近での利用は少ないと思いますが、将来に向けては利用が増えると思いますので、続けて欲しいと思います。
男性	60 歳代	町内の乗降場所は充実しているが、行き先を町内とすることは殆んどない。町外の設定場所が少なすぎる。勤め人等、日々駅を利用している人が、通勤のためにオンデマンドバスを利用することはない。従って町外のターミナル等を増やしても路線バスへの影響はない。トータルとして増収となると思う。
女性	50 歳代	土・日も電話予約受け付けて欲しい。
男性	60 歳代	町内一周→秦野方面、町内一周→二宮方面、各午前・午後 2 往復、時間決めて、ルートも。価格一律 100 円。公共交通では通らないルート・地域を通れば、棲み分けは出来るはずです。
男性	60 歳代	バスの車内に黒いフィルムがはってあるが、外から車内がみえるようにしたほうが、乗客は安心するのではないか。(特に若い女性等) ゴミ収集ステーションが乗降場所になっているが、イメージが悪い。ゴミ箱に直接標識をはるのではなく、せめてゴミ箱の近くに標識を設置されたい。
女性	40 歳代	“神奈中バスがなくなるかも”というウワサを数年前から耳にしています。もしそうなったら、子供の通学(町立小・中学校)とお年寄りの通院(日赤・りゅう医院等)だけは、巡回という形でサポートして欲しいです。若い人は殆どの人が自分の車で移動していると思います。車に乗れない子供やお年寄りの自立の気持ちを支えて守ってくれる様なバスになる事を願っています。
女性	60 歳代	インターネットを使いこなせばいいのですが、電話での予約だと時間が制約されて、つい予約をのがしてしまいます。1 時間前まで、許容範囲ですが、混んでいると 90 分しないと利用できないこともありました。TV で見た町ではお年寄りがタブレットの端末を持たされ、これから出かけたい旨通知するとすぐ利用でき、おつかいが済んですぐ通知するとまたオンデマンドバスが迎えに来てもらっていました。そこまで便利だとワイワイおしゃべりしながら利用できるようになるのかなあとと思います。1 人でずっと乗っていると、申しわけないような気がします。でもこういうシステムを導入していただけると本当に有難いです。
男性	60 歳代	路線コースの中で、自宅の一番近くで乗りおりができれば、より利用が増えると思われる。(バス停から 2~3 kg の荷物をもって 300m・500m は歩けない)
無回答	70 歳代	本数は少なくとも、循環方式にして欲しい。
男性	70 歳代	良い事なので、改善しながら継続して下さい。
女性	70 歳代	まだ 1 回も利用した事がないのですが、用事が出来ればお願いする事があると思いますので、宜しくお願いします。
男性	70 歳代	走行ルートをもっと PR すべきだと思います。自治会の中心、例えば自治会館を経由する。急行バスがあれば時間短縮が出来、より便利になります。当面は利

		用のつもりはないが、将来お世話になるつもりです。
女性	30 歳代	秦野駅や二宮駅まで行ってくれたら、利用出来るのでよろしくをお願いします。
女性	60 歳代	電話を掛けて予約する時に空きの有る時はすぐに乗せて欲しい。
女性	50 歳代	バスが通っていない地区は優先的に時間を決めて巡回したらどうでしょう。
女性	40 歳代	将来必ず必要になってくることだと思うので、是非続けてもらいたいです。二宮、秦野、新松田などへの直通（バスより短いルート）の交通が充実すれば生活がずいぶんしやすくなります。既存の交通機関との競合があると思いますが、もう少し隣り合わせた市町との行き来が楽になるようにお願いしたいです。乗用車で 15 分のところバスで 30 分では、自家用車に頼らざるをえないです。
女性	70 歳代	中井町に住む様になって一番感じた事は、交通の便の悪さでした。でもそれにも慣れ生活して参りました。中央公園が出来、ウォーキングしながらお花を見たり散策したりして楽しんで居りましたが、足が悪くなり、人に頼めば連れて行って戴けますが、自分の気持だけでは動く事が出来ないの、半ば諦めて居りました。でも今回「中井ふれあいバス」が始まり、あちこち動く事が出来、又重たい物も運ぶ事が出来ると思うと、とても嬉しいのです。2回利用させて戴きましたが、車内もとても綺麗だし、あちこちに書かれた文字が大きく、とても見やすく、人にやさしい心遣いを感じました。
女性	70 歳代	秦野行きのバスの乗車はバス停まで徒歩 20 分かかります。二宮駅にはバス停まで 5 分ですので簡単ですが、バスが国道へ出て回るのでバスで 25 分～30 分必要です。駅まで短時間で行くことが必要です。中井地区内も広域ですから、このふれあい号でうまく移動出来るか気になります。病院行きは、しらさぎ送迎車をお願いしてとても有り難いのですが（土・日）が利用出来ません。ふれあい車は休みなしで午後 8 時頃までと聞いていて大変嬉しく思いますが、使い方がよくわかりません。急用が多いので前からの予約は不可能です。2月中、バスが 2 台止まっていることが多いようで利用はしたいが、面倒ということになってはいないでしょうか？方法について利用しやすい最善を検討する必要あり。バスについては相当の費用も掛ること、考えられるので、バス利用よりもその費用でタクシーの割引券など考えられないでしょうか？
女性	70 歳代	買物、通院に利用したいのですが。二宮駅、秦野駅、東海大大磯病院、足柄上病院へ通院しているが、現在は行けないため、是非運行をお願いします。
女性	70 歳代	1 度利用しました。路線バスが無い所ですので大変助かりました。又、重い荷物も家の近くまで来るので買物も便利。少子・高齢の時代必要。老人にやさしいふれあいバスにしてもらいたい。
男性	70 歳代	非常に有難い制度を良く開発してくれたと感謝しています。制度が衆知されるにつれて、利用者も多くなってくると思う。町外の者との交流の輪が広がり、密になり、町の活性化に大いに役立つと思う。町の発展を目指して、制度の更なる充実化を図られるよう期待しています。
女性	60 歳代	長い間お願い続けて参りましたので、始めて下さったことに大変に嬉しく有り難く感謝しております。最初は利用者が少ないようにみえても、時間と共に町内・町外共に広まり、利用者数も増えていくと思います。友人・知人を招くことも、とてもたやすくなります。そのために登録外の人でも登録者と共になら利用可能にお願い出来れば、大変に有り難いです。オンデマンドバスの運行が充実することで、町の活性化が図られるという良い循環になっていくことと思います。
男性	70 歳代	交通の不便な地域の人に積極的に利用を PR すべき。これを理解してもらわないと、存続出来ない。公共交通の通っている地域も同様、境地区は特に必要。
女性	70 歳代	二宮駅、秦野駅に車を利用する事が多いが、駐車場の問題もあり、乗り入れが出来ればぜひ利用したい。バスも日中の本数が少なく、時間のロスも少なくてすむ「ふれあいバス」が利用出来れば、とても良いと思うのだが…。将来、車の運転が出来なくなれば、スーパー等の買物にも利用したいので、住民の意見

		をまとめ、良い方向に行く事を願っています。
男性	70 歳代	交通の便の悪い当町にとって「中井町ふれあいバス」の発想は大変すばらしく期待大ですが、利用者の利便性を考慮しない考えでは、その価値が全くなくなってしまうと思う。特に二宮駅、秦野駅への乗り入れは最も必要な事と思う。はじめから神奈中との関係でダメ…ではなく、何とか知恵がないものか。これに係わる関係者は、もっともっと考えてもらいたいと思う。
女性	19 歳以下	「もっと運賃が安ければ乗れるのに」と友達が言っていました。あと、秦野駅をよく利用するので、オンデマンドバスに乗っていきたいです。オンデマンドバスは、1人で乗った時などは目的地にまっすぐいけるので時間かからなくてうれしいです。だからまた再開してください！
男性	40 歳代	本当にありがたい。役場のみなさんの努力に感謝したい。運転手はとてもよい。
男性	70 歳代	オンデマンドバスは年老いてからの、又弱者の為の交通手段と思って居りました、私だけでなく町民も多いと思います。愛称について、もっと町民の身近で親しみやすいと思い応募しましたが、残念ですが苦しい名称になってしまいましたね。私達の地域から神奈中バスがいずれ廃止になるようですが、子供達や孫の為にも非常に残念です。益々中井町から離れてしまいます。少子高齢化でしかたないと思いますが…。色々と私達も責任の痛感致します。
女性	70 歳代	現在は自分で車の運転が出来るので、将来利用したいと思い利用登録いたしました。境地区ですので、万が一神奈中バスが廃線になったら子供達は通学出来ません。車の運転の出来ない人は外出出来ません。町外に出た子供に住みづらい中井にもどってくれるようなのむ事は出来ません。中井町は衰退していくばかりです。中井ふれあいバスが救世主となってくれる事を切実に願っております。
女性	60 歳代	五分一に住んでいますが、結婚しても若い人が同居していませんので、老人ばかりになってきています。これから不安を感じます。
女性	60 歳代	秦野駅、二宮駅にも運行して欲しいのですが、路線バスの事も考えつつ、より良い方法で継続して頂きたいと思います。